

WKD 992.06.D 70 22

911 GT3



911 GT3

Good to know – 取扱説明書



WKD 992 06 D **7022**

01/2022

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。
車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

装備品

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストおよび記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。 装備品は、標準または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

取扱説明書のレイアウト

この取扱説明書について



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ P. 2

目次



概要を把握し、確認したいテーマを探することができます。

トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

▷ P. 25

安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ P. 4

テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ P. 220

概要



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ P. 18

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

この取扱説明書について

警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

情報

車両が損傷する可能性

「通知」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。
- ▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

2. 従う必要のある手順がセントラルディスプレイに表示されます。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

詳細情報

車両、コネクテッド サービス、および充電機器の詳細情報については、車両に関する車載の取扱説明書およびデジタルポルシェチャンネルをご覧ください。デジタルチャンネルの詳細情報については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

車載



取扱説明書は下記のポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) で確認できます。

▶  ▶ 取扱説明書

免責事項

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。iOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple によりライセンスに基づいて使用されています。Android、Android Auto、Google Play、Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

目次

安全性とドライビングプレジャー.....	4	車両の始動、走行、駐車.....	75	荷物および運搬	
概要図		トランスミッション.....	76	収納スペース.....	166
フィラーキャップ.....	19	スポイラー.....	82	ドリンクホルダー.....	167
運転席.....	20	ライト.....	83	ラゲッジコンパートメント.....	169
運転席.....	21	フロントアクスルリフトシステム.....	88	スモーカーズパッケージ.....	172
コントロールパネル.....	22	パークアシスト.....	90	電気ソケット.....	173
スイッチ用ストリップ.....	23	ボルシェ アクティブサスペンションマネーজে ント (PASM).....	92	モビリティおよび軽修理	
ルーフコンソール.....	24	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	93	12V バッテリー.....	174
トピック.....	25	フロント ウィンドウワイパー.....	96	けん引.....	178
開閉操作とロック		クルーズコントロール.....	99	ブレーキフルード.....	181
警報システム.....	26	ディスプレイ.....	101	クーラント.....	182
キー.....	27	表示および入力		エンジンオイル.....	184
ウィンドウ.....	29	インストールメント パネル.....	102	緊急電話システム.....	187
ラゲッジコンパートメントリッド.....	31	ボルシェ コミュニケーション マネジメント シス テム (PCM).....	113	車両のお手入れ.....	187
エンジンコンパートメントリッド (サービスフ ラップ).....	33	ボイス コントロール.....	119	テストスタンドでの測定.....	193
セントラルロック.....	34	警告および情報メッセージ.....	122	タイヤおよびホイール.....	194
エアコンおよび人間工学		操作および使用		パンク.....	209
エアバッグ.....	40	Android Auto.....	138	ヒューズ.....	212
インテリアライト.....	42	Apple CarPlay.....	140	補給.....	215
チャイルドシート.....	43	通知.....	142	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム.....	217
エアコンシステム (2ゾーンエアコン).....	52	車両設定.....	143	ウォッシュャー液.....	218
ステアリングホイール.....	57	ファンクション オン デマンド (FoD) の購入.....	144	テクニカルデータ	
パーソナル設定.....	58	デバイス マネージャー.....	145	テクニカルデータ.....	220
シートベルト.....	59	ホーム画面および個人画面.....	147	無線機器 (EU 地域外).....	232
シート.....	61	メディア.....	148	索引.....	241
サンバイザー.....	64	メッセージ.....	150		
ミラー.....	64	ナビゲーション.....	151		
運転 / ドライバー アシスタンス		オンライン ソフトウェア アップデート.....	155		
発進アシスタント.....	68	ボルシェ コネクト.....	156		
オートスタート / ストップ機能.....	68	スマートサービス.....	160		
ブレーキ.....	71	クロノストップウォッチ.....	161		
走行プログラム.....	73	電話.....	164		

安全性とドライビングプレジャー

あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は不適正な作動により、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し(少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
 - エアロパーツに損傷がない
 - ワイパー ブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドアミラーおよびルームミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
 - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
 - クーリングエアダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない(フィルム、ストーンガードまたはライセンスプレートホルダーなど)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト(破裂)する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、エネルギー消費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。

- ▶ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
- ▶ 194 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
- ▶ 194 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ インストルメントパネルに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 209 ページの「パンク」の章を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロパーツの点検



エアロパーツ (リヤスポイラー、スポイラーまたはアンダーボディパネルなど) が損傷または紛失している、ハンドルの操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。
- ▶ リヤスポイラーまたはスポイラーを持って車両を動かさないでください。

車両下回りのプラスチックフィンに損傷がないか点検してください。摩擦の場合は、大きな問題はありません。

- ▶ フィンの一部や全体が紛失している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まりません。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー ブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントガラスに筋が残るようなら交換します。▶ 96 ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずボルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

イグニッションをOFFにした状態で、外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、バッテリーが完全に消耗して損傷したりする（完全に上がる）可能性があります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ボルシェのスペアパーツ



- ▶ ボルシェ純正スペアパーツ、またはボルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペアパーツのみを車両にはご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ テクニクメント シリーズのアクセサリ、またはボルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ボルシェ テクニクメントに関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

他社製のスペアパーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペアパーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ボルシェ社の承認していないスペアパーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

車室内の騒音レベル

ロシア、ベラルーシ、カザフスタンの場合：車両は、加速時に客室内の騒音レベル 77 dBA を超えることにより、関税同盟 No.018 / 2011 「車輪付き車両の安全性について」の技術規則の要件に準拠しています。車両を公共交通機関（タクシーなど）として使用することはできません。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ボルシェドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合のみ、乗員を怪我から守ります。

i インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合のみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服（例：冬物コート）は脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください（例：メガネやボールペン）。
- ▶ シートベルトがぬじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。

- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
 - ▷ 59ページの「シートベルト」の章を参照してください。

エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合のみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。

- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください（例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り）。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
 - ▷ 40ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

i インフォメーション

例えば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大50倍の力で前方に投げ出される可能性があります。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75 kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 例えばラゲッジコンパートメント内で、荷物は必ず固定して積載してください。

- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください(引き裂き強度は最低 700 kg)。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 166 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 169 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

狭み込み防止



図 1: 狭み込み防止

以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式フロントシート。
- ドア。
- ウィンドウ。

- フラップおよびリッド。
- 小物入れのリッド。
- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定(座席調整など)を作動させて怪我する可能性があります。お父さまは緊急時(車内の過熱状態など)に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- ▶ 高温部品(排気タールパイプなど)や作動中の部品に子供が近づかないようにしてください。
- ▶ 有毒物質(タイヤシーラントやエンジンオイルなど)は子供の手の届かないところに置いてください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルドシートシステムを安全に使用



チャイルドシートは、正しく装備された場合にのみ効果を発揮します。

- ▶ ポルシェによって承認されているチャイルドシートを常に使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルドシートシステムのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
 - ▶ 43 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロール機能から緊急ブレーキ機能まで - この車で走り出せば、すべてが可能になります。しかしながら、その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

注意力の低下を防ぐ



走行中にPCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。シートやステアリング ホイールが思った以上に動く場合があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、ステアリング ホイールの位置調整は運転前に行ってください。
- ▶ マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリング ホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 194 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

スポーツ タイヤでの走行

特別なスポーツ タイヤ (パフォーマンス タイヤ) がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。入手状況に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレース サーキット (安全運転トレーニング コース、スポーツ ドライビング スクール、クラブ スポーツ イベント) での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩擦の面で優れた特徴を備えています。スポーツ タイヤは、約 -7°C 未満の非常に低い温度になると硬化します。このような状態は、タイヤのひび割れや摩耗につながります。

- ▶ 外気温度が約 -7°C を下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッド パターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。これらのスポーツ タイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります：

- スポーツ タイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、特に濡れた路面、特にハイドロブレーキング現象が発生しやすい状況 (冠水路、水たまり、轍など) に十分に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。

- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が增大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

公道走行認可済みレースサーキットタイヤ

特にパフォーマンスを重視したサーキット走行の場合、ボルシェが承認した特別なサーキットタイヤを利用できます。

サーキットタイヤに関する情報：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ タイヤメーカーが提供する各タイヤの特性に関する顧客情報に従ってください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200 kmは、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメントパネルで最高許容速度を制限速度として設定します。
▷ 102ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

サマータイヤでの走行

外気温が15℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が7℃を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

アシスタンスシステムおよびその制限

ボルシェ車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。


- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

緊急ブレーキ機能



通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合は急制動をかけ、停車させることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時のみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、 ボタンを引いたままにしてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。

▶ 71 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

▶ 76 ページの「Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行」の章を参照してください。

- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください(特に夜間)。

警告音への適切な反応



システムが故障または不良部品を検知すると、インストルメントパネルまたはから警告灯の点灯またはメッセージによりドライバーに警告が行われます。PCM 車両の警告信号を無視すると、事故、怪我および車両の損傷の恐れが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるように、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要であれば停車してください。
 - ▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
 - ▶ 102 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
 - ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
 - ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▶ 215 ページの「補給」の章を参照してください。

事故の際、燃料キャップが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害なフルード



図. 2: 有害なフルードの安全に関する情報

燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お客様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

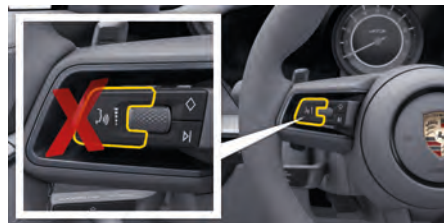
- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ PDK 装備車：セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。
インストルメントパネルのセレクターレバー位置 **P** が点滅している場合、パーキングロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクターレバーを **R** の位置に動かしてから **P** の位置に入れ直してください。
- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾーストシステムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様はテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

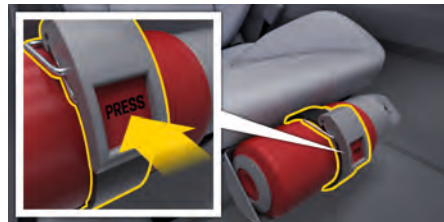
緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

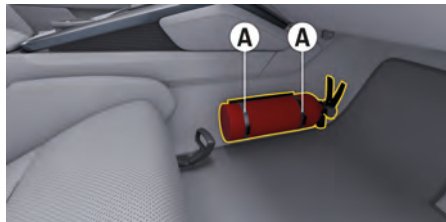
消火器を取り外す



車両に消火器がある場合、助手席の下にあります。

- ▶ 片手で消火器を持ち、もう片方の手で消火器ホルダーの [PRESS] ボタンを押します。

クラブスポーツパッケージ装備車



クラブスポーツパッケージ装備車では、助手席側フロントシートの足元に消火器があります。

この消火器は、サーキットでの使用のみを意図しており、車両に乗せて一般道を走行しないでください。

- ▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの両方のロック **A** をもう片方の手で解除してください。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点を守ってください：

- 消火器を車両に乗せて一般道を走行しないでください。
 - 消火器の安全に関する指示と取扱説明書に従ってください。
 - 消火器のサービス インターバルを遵守してください。少なくとも消火器のメンテナンス日に達した後に、修理工場による消火器のメンテナンスを受けてください。
- 消火器がメンテナンス日を超過して使用される場合、もはやその機能は保証されません。
- 使用後は、修理工場で消火器のメンテナンスと充填を受けてください。

車両への作業に関する注意事項



エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバーには圧力がかかっています。

ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラント リザーバー タンクを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷防止用の手袋など) を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。

ジャンプ スタートを提供または受ける前に：

- ▶ 176 ページの「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワーステアリング機能が作動しないため、ハンドル操作が難しくなります。ブレーキブースターが作動しない場合は、ブレーキペダルを踏むのに大きな力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワーステアリング機能またはブレーキブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低い場合、けん引時または他の車両にけん引される場合は十分に注意してください。
- ▶ 178 ページの「けん引」の章を参照してください。

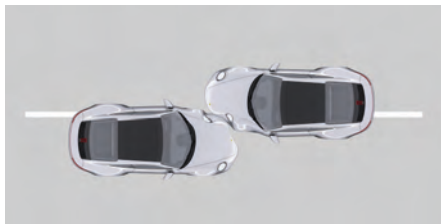
パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで**走行しない**でください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
 - ▶ 209 ページの「パンク」の章を参照してください。

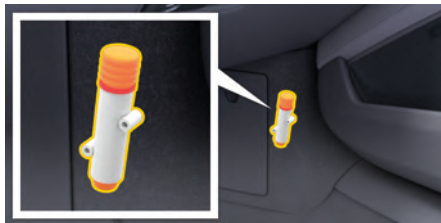
衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルトプリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けてたり、顔や体の近くに持ったりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒を緩めます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。



インフォメーション

発煙筒は約5分間燃えます。

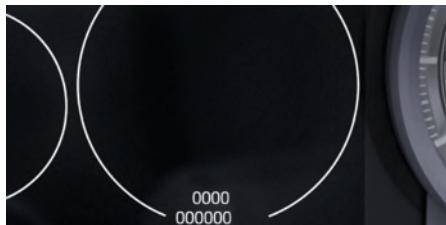
発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限内に、発煙筒を交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。

お出かけの前に：車両に関する重要 な情報

シート

この車両は2シーターです。シート後部エリアに乗員は乗車しないでください。

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が1,500 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください：

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ モータースポーツイベント、スポーツドライビングスクールなどに参加しない。
- ▶ エンジン回転数が7,000 rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

新しいブレーキパッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

多少ブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して走行してください：
 - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行する場合
 - 縁石

- 凹凸のある路面を走行するとき
- リフティングプラットフォーム

フロントアクスルリフトシステムを搭載した車両：本体は前部で約40 mm上げることができます（フロントスポイラーの前端）。

- ▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側を水に浸さないようにしてください。

サーキット走行



図.3: サーキット走行

公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのボルシェ正規販売店にご確認ください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ 別冊の「サーキット走行の前に」を参照してください。

海外での走行の前に



図. 4: 海外での走行の前に

すべてのポルシェ モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スベアパーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください：

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▷ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能 (ドライバー アシスタンス システム) を提供します。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ メモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例：給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例：ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータス メッセージ
- 重要なシステム構成部品の故障 (例：ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例：エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因 (例：温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メ

モリーに保存されます。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカルデータの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのポルシェに義務付けられる場合があります (例：犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービス ネットワーク作業 (例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー) は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されません。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためポルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベント メモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス(例：携帯電話、USBスティック、MP3プレイヤー)に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンラインサービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディアシステムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは、装備品のタイプに応じ、たとえば一般的な車両情報または位置データを含みます。これにより、たとえばナビゲーションシステムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの有効なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティングシステムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

オンラインサービスの使用

車両にワイヤレスネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器(携帯電話など)により、ワイヤレスネットワークに接続可能です。このワイヤレスネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはボルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ボルシェ オンラインサービスでは、様々な機能が適切な場所(例：ボルシェ コネクト ウェブサイト)にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。オンラインサービスの提供のため個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます(例：この目的のためのボルシェ IT システム設定)。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

通常、(料金ベース) サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンラインサービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ボルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービスプロバイダーから入手してください。

概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

フィルター キャップ

- A ブレーキフルード
 B ウォッシャー液
 C クーラント
 D えんじん油

- ▷ P. 181
 ▷ P. 218
 ▷ P. 182
 ▷ P. 184

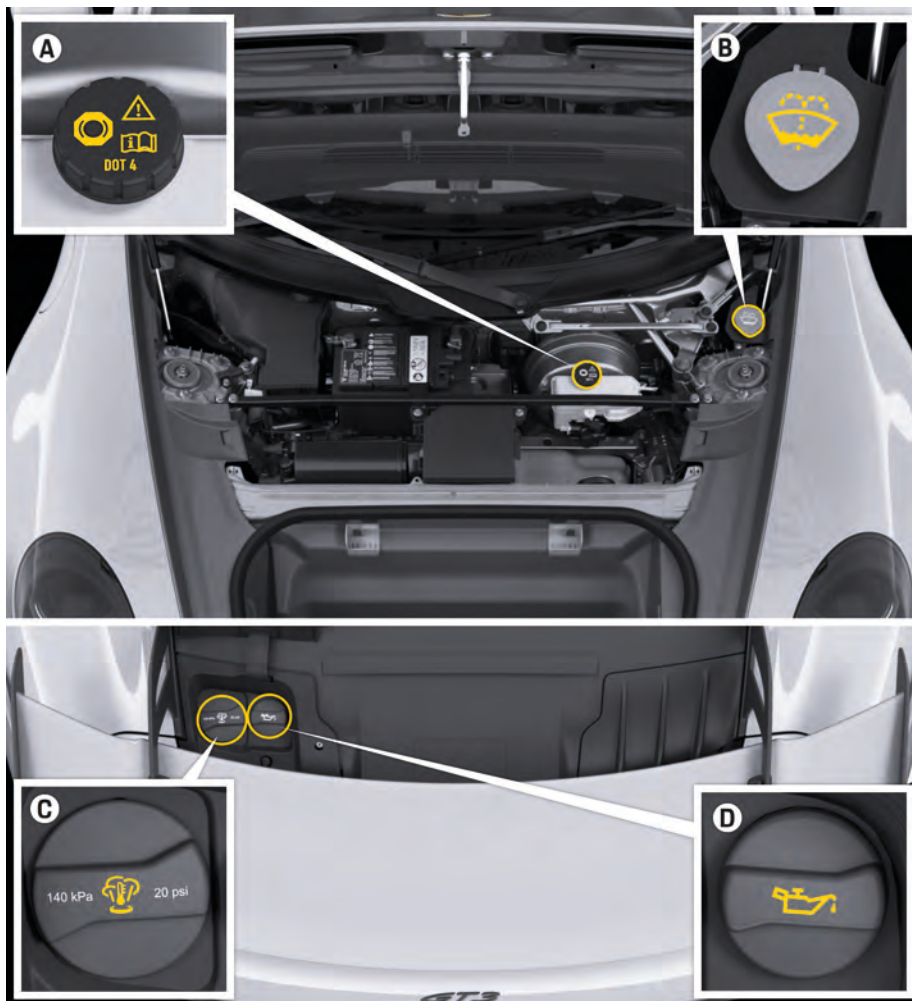


図 5: フィラーキャップ



運転席

- A インナードアハンドル ▶ P. 34
- B セントラルロックボタン ▶ P. 34
- C パワーウィンドウ ▶ P. 29
- D ライトボタン ▶ P. 83
- E ルーフコンソール ▶ P. 24
- F ドアミラーの調節 ▶ P. 64
- G イグニッションロック ▶ P. 34
- H ステアリングホイール調節 ▶ P. 57
- I エンジンコンパートメントリッドのロック解除 (サービスフラップ)
ラゲッジコンパートメントリッドのロック解除 ▶ P. 33
- J シート調節 ▶ P. 31

図. 6: 運転席

運転席

- A** 方向指示灯およびハイビームヘッドライト ▶ P. 83
- B** シフト・パドル ▶ P. 76
- C** インストルメントパネル ▶ P. 102
- D** フロント ウィンドウワイパー ▶ P. 96
- E** クロノストップウォッチ ▶ P. 161
- F** ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) ▶ P. 113
- G** えあべんと ▶ P. 54
- H** グローブ ボックスロック ▶ P. 166
- I** クルーズコントロール ▶ P. 99
- J** ボイスコントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 102
- K** 電話コントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 102
- L** モードスイッチ ▶ P. 73
- M** スイッチ用ストリップ ▶ P. 23
- N** エアコン アッパー コントロールパネル ▶ P. 54
- O** ロア コントロールパネル ▶ P. 22
- P** 灰皿 ▶ P. 172
ドリンクホルダー ▶ P. 167
- Q** アームレスト、小物入れ ▶ P. 166
- R** エレクトリック パーキング ブレーキ ▶ P. 72

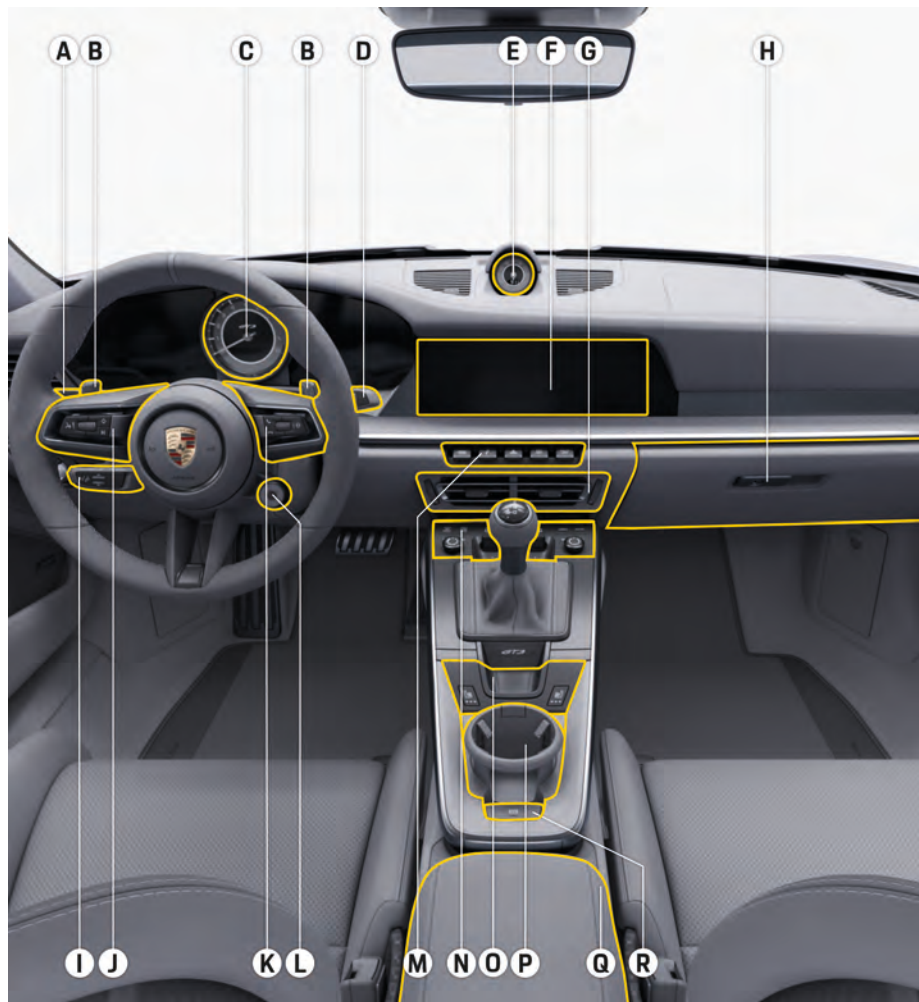


図. 7: 運転席



コントロールパネル

- A** PCMのON/OFFの切り替え
音量を調節する ▷ P. 113
- B** エアコンコントロールパネル ▷ P. 52
- C** ロータリー プッシュ ボタン (PCMの操作
用) ▷ P. 113
- D** シート ヒーター ▷ P. 63

図 8: コントロールパネル

スイッチ用ストリップ

- A** スポーツエキゾーストシステム ▶ P. 73
- B** ポルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM) ▶ P. 92
- C** ハザードライト ▶ P. 87
- D** エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) ▶ P. 93
- E** エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) およびトラクションコントロール (TC) ▶ P. 93
- F** フロントアクスルリフトシステム ▶ P. 88



図. 9: スイッチ用ストリップ



ルーフコンソール

- A 読書灯 ▶ P. 42
- B インテリアライト / 読書灯用ボタン ▶ P. 42
- C インテリアライト (コントロールパネルのライト) ▶ P. 42
- D ルームミラーの自動減光ボタン ▶ P. 66
- E 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 ▶ P. 40

図. 10: ルーフコンソール

トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する内容を見つけることができます。

開閉操作とロック

警報システム

作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、ボンネット、エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)の警報接点。
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内への侵入(例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき)。
- 傾斜センサー：車両の傾き(例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき)。
- 故障診断用ソケット。

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトが約300秒間点滅します。

5秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します(国により異なる)。

警報システム機能表示

ロック状態はドアとハザードライトスイッチのインジケータライト点滅速度で確認できます。

警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケータライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。ハザードライトが2回点滅します。

警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチOFF

車両をロックするときにインジケータライトが素早く点滅した後、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。

セントラルロッキングシステムおよび警報システムの故障



車両をロックするときに、インジケータライトは素早く点滅し、28秒間点灯し続けて、その後はノーマルモードで点滅します。

ハザードライトがゆっくり1回点滅します。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、約30秒後に警報システムが有効になります。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

PCMでは、次回車両をロックするときに車室内モニタリングシステムと傾斜センサーを無効のままにするかどうかを指定することもできます。


▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ 室内モニタリングシステム

インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
- または -
イグニッションをONにします。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

人や動物が車内に残っている場合は、車両をロックする際に室内モニタリングシステムと傾斜センサーを無効にすることができます。

▶ 34ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウを閉じてください。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶ セレクターレバーをPの位置にして、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドアおよびラゲッジコンパートメントリッドを閉じます。
- ▶ エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を閉じます。
- ▶ 車両をロックします。

イモビライザー

すべてのキーに、コードが保存されたトランスポンダー(電装部品)が内蔵されています。

イモビライザーを停止してエンジンを始動するのに、認定されたキーが必要です。

ステアリング ホイールのロック解除およびロック

ステアリング ロックは一部の国別仕様ではご利用いただけません。

ステアリング ホイールの自動ロック解除

- ▶ 車両に乗って、運転席ドアを閉じます (キーは車内になければなりません)。
 - または -
 - イグニッションを ON にしてください。

ステアリング ホイールの自動ロック

- ▶ イグニッションを OFF にした状態で、運転席ドアを開いてください。
 - または -
 - 車両をロックします。

キー キーの使用

情報

キーが損傷する恐れがあります。

- ▶ キーを湿気から保護してください。
- ▶ キーに汚れやゴミが付着しないようにし、鋭利な物体に近付けないでください。

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

ボタンを押すと、キーのポルシェ クレストが点灯します。また走行中には、キーが作動してなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため走行中には、キーが作動してなくてもキーのポルシェ クレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモート コントロールが機能しない場合があります。

- データ伝送中 (コンフォート アクセス装備車両の場合、キーと車両間の無線通信中) に電磁波が干渉している場合。
- 故障のためにリモート コントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。
- ▶ キーが作動中の電子機器 (電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。

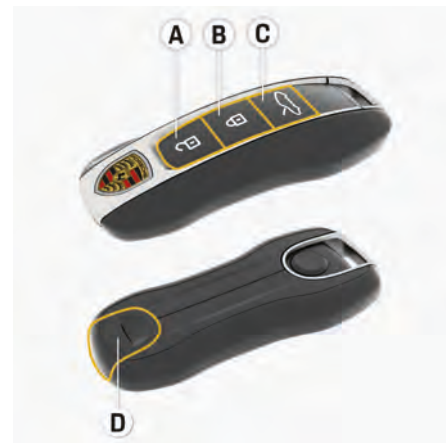


図. 11: キー

- A** 車両のロック解除
- B** 車両のロック
- C** ラグジュアリーコンパートメント リッドのロック解除
- D** エマージェンシー キー

すべてのキーにエマージェンシー キー **D** (図. 11) が内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いに注意し、特別の場合を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

キーのバッテリー交換

⚠ 警告

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2 時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

ⓘ インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要があるときに、メッセージがインストール クラスタに表示されます。キーが作動しても、キーのポルシェ クレストが点灯しなくなります。



図. 12: バッテリーの交換

バッテリーの交換は、(CR 2032、3 V)を使用してください。

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キーハウジングの左右 2 箇所のクリップを外します。
3. バッテリーカバーを反時計回りに緩めて取り外します。
4. バッテリーの交換(極性の確認)
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー キーを元に戻してください。

キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動。

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーの電池が切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この状態で車両を始動する場合は、以下を順守してください：

1. センター コンソール アームレストの小物入れを開きます。
▶ 166 ページの「グローブボックスの開閉」の章を参照してください。
2. センター コンソールにキーを置きます – ロア コントロール パネルとアームレストの小物入れの間の部分。
3. コントロールユニットをイグニッションロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
4. コントロールユニットを再度イグニッションロック位置 2 まで回します。
▶ 75 ページの「エンジンの始動」の章を参照してください。

エマージェンシー キーの使用 エマージェンシー キーを取り出す



図. 13: エマージェンシー キーを取り出す

- ▶ エマージェンシーキーを押し上げ、キーから取り出してください。

エマージェンシーキーを元に戻す

- ▶ しっかりとハマるまで、エマージェンシーキーをキーに挿入します。

スペアキーの注文と登録

車両のスペアキーは、ボルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペアキーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペアキーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

i インフォメーション

合計8個のドライバーキーについて登録することができます。

i インフォメーション

- ▶ ドライバーキーが紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェ正規販売店に依頼し、車両のドライバーのキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ 運転者の鍵の紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用の鍵を作成したことを知らせます。

ウィンドウ

ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれてしまうことがあります。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ボルシェコンフォートアクセス装備車は、直ちにドアハンドルのタッチセンサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイドウィンドウを手動で閉じると、このウィンドウは最大力で閉じられます。そのため、動くサイドウィンドウと車両の固定部品の間で身体の一部が挟まされると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

① インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉

- ✓ 作動待機がONになっています。
 - または-
 - イグニッションをOFFにしてから10分以内
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。



図. 14: パワーウィンドウ、運転席ドア

- A パワーウィンドウ、運転席側
- B パワーウィンドウ、助手席側

ロッカースイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

第1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目 - ワンタッチ操作

- ▶ ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図. 15: キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動しています。
 - ▶ 108ページの「どらいびんぐで一たのひょうじ [とりつぶじょうほう]」の章を参照してください。
 - ▶ 143ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。
- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーのロック / ロック解除ボタンを押し続けてください。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消えてしまいます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の手順を行ってください:

1. スイッチを2段階目まで引いて、一回完全にウィンドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く2段階目まで引いてください。
3. ロッカースイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

ラゲッジコンパートメント リッド ラゲッジコンパートメント リッドの開閉

車内のボタンでラゲッジコンパートメント リッドを開く

情報

ラゲッジコンパートメント リッドまたはフロント ウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメント リッドを開くときは、フロント ウィンドウワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。

▶ 96 ページの「フロント ウィンドウワイパー」の章を参照してください。

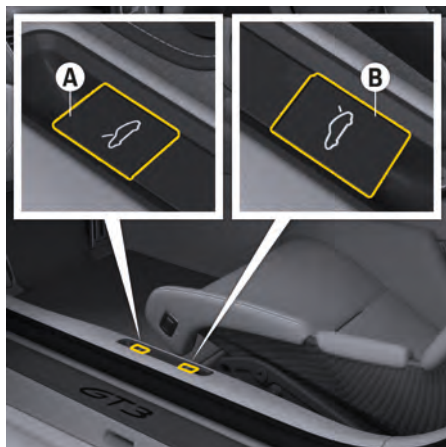


図. 16: ラゲッジコンパートメント リッドを開く

- A** ラゲッジコンパートメント リッド ボタン
B エンジンコンパートメント リッド (サービス フラップ) ボタン

1. ボタン **A**(図. 16) を引いてください。
➔ リッドがロック解除されます。




図. 17: ラゲッジコンパートメント リッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ ラッチ (矢印) を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
➔ ラゲッジコンパートメント リッドを開くと、ラゲッジコンパートメント内のライトが点灯します。

キーでラゲッジコンパートメント リッドを開く



図. 18: キーでラゲッジコンパートメント リッドを開く

1.  ボタンを押してください。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
➔ ラゲッジコンパートメント リッドを開くと、ラゲッジコンパートメント内のライトが点灯します。

i インフォメーション

キーを使用してラゲッジコンパートメント リッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

ラゲッジコンパートメントリッドを閉じる



注意

重いラゲッジコンパートメントリッド

半分開いた状態のラゲッジコンパートメントリッドを閉じるとき、それ自体の重さが原因でロックされます。

▶ 可動部品 (ヒンジ) 付近やラゲッジコンパートメントリッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドをロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
 - ➔ リッドが正しく閉じていない場合、車両が動いている間インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

ラゲッジコンパートメントリッドの緊急ロック解除

バッテリー上がりの場合、ラゲッジコンパートメントリッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

▶ 176 ページの「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

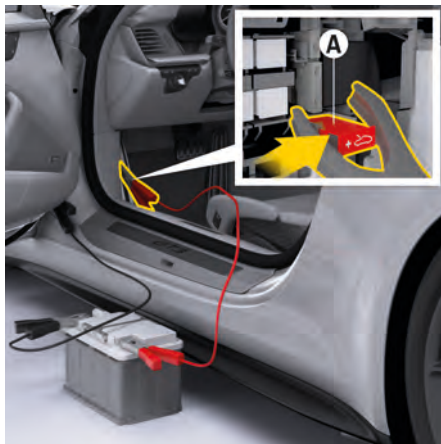


図. 19: ラゲッジコンパートメントリッドの緊急ロック解除 – プラス端子の接続

1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロックを解除してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り外してください。
3. ヒューズボックスのプラス端子 A (図. 19) (赤色) を引き出してください。
4. 赤いブースターケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子とヒューズボックスのプラス端子 A (図. 19) を接続します。
5. ⓘ インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

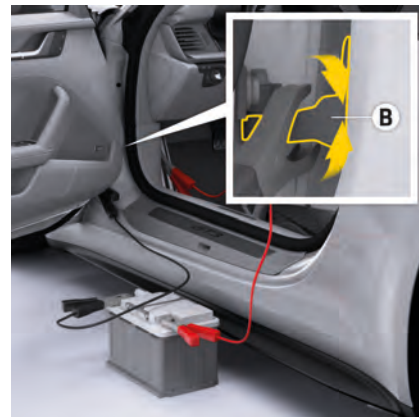



図. 20: ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 – マイナス端子の接続

- 黒色のブースターケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子とドアストッパーのジョイント B (図. 20) を接続してください。
6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。ラゲッジコンパートメントリッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。
 7. マイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。
 8. プラス端子 A (図. 19) をヒューズボックスに押し込み、ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り付けてください。

エンジンコンパートメントリッド (サービスフラップ)

エンジンコンパートメントリッド(サー ビスフラップ)の開閉

エンジンコンパートメントリッド(サービ スフラップ)を開く

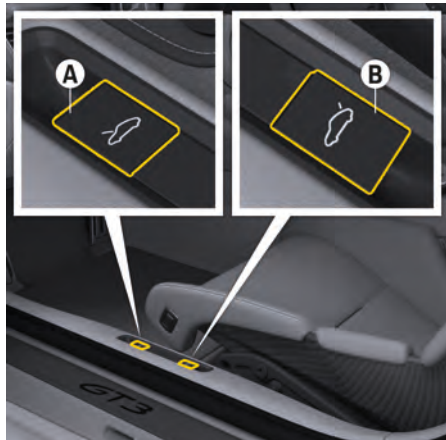


図 21: エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を開く

- A ラゲッジコンパートメントリッド ボタン
- B エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ) ボタン

- ▶ ボタン B(図 21) を引いてください。
 - ➡ エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)のロックが解除され、引き上げることができます。

エンジンコンパートメントリッドを閉じる

1. エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を下げます。ロック部分を手のひらで押し、エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を閉じてください。
2. エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)が確実にロックされていることを確認してください。
 - ➡ エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)が正しく閉じていない場合、車両の発進時にインストルメントクラスターにメッセージが表示されます。



セントラルロック



概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラルロック」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 22: キー

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 	ハザード ライトが1 回点滅します。 車両は設定に従ってロック解除され、ドアハンドルが展開します。 ドアを開くことができます。	▶ P. 35
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 	ハザード ライトが2 回点滅します。 ドアハンドルが格納します。 ドアがロックされ、インナー ドアハンドルを引いて車内からドアを開くことができなくなります (セーフロック)。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。	▶ P. 35

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
<p>人/動物を車両に残してロックする</p> <p>▶ セーフロックと警報システムの車内モニタリングシステムを OFF にします。</p>	<p>キーを使用する：</p> <p>▶ キーの  ボタンを 2 回押してください (約 2 秒以内)。</p>	<p>ハザードライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。</p> <p>ドアハンドルが格納します。</p> <p>ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引いて車内からドアを開くことができます。</p> <p>車内からドアハンドルを引くと、警報システムが作動します。</p>	▶ P. 35
警告システムの警告音を OFF にする	▶ キーの  ボタンを押してください。 -または- イグニッションを ON にしてください。	警告音が OFF になります。	▶ P. 26

セントラルロックシステムの使用

インフォメーション


- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

キーを使用して、車両のロック / ロック解除ができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアおよびフィラーフラップのみを解除するか、助手席ドアも含めて解除するか設定できます。

- ▶  ▶  ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ ドアのロック解除

選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します。

- ▶ キーのボタン  を 5 秒以内に 2 回押してください。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

ドアのロック解除とロック

インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを 45 秒以内に開かなかつた場合、車両は自動的に再ロックされます。

インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

キーによるドアのロック解除

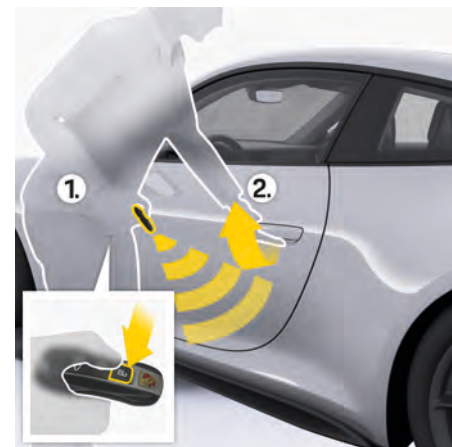


図. 23: キーによるドアのロック解除

1. ㊦ ボタンを押してください。
➡ ハザードライトが1回点滅します。
車両は設定に従ってロック解除され、ドアハンドルが展開します。
2. ドアハンドルを引いてください。

車内からのドアのロック解除



図 24: ドアパネルのセントラルロックボタン

- ▶ ドアパネルの㊦ ボタンを押してください。
-または-
インナー ドアハンドルを引いてください。
- ➡ **すべてのドアがロック解除されます。** ドアハンドルが展開します。
ボタンのインジケーターライトが消灯します。

① インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシーキーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

① インフォメーション

バッテリーが上がっているなどで車両の電源が入っていない、またはドアハンドルを引っ張るのが速すぎた場合には、ドアハンドルを2回引っ張る必要があります。

- ▶ ドアハンドルから手を放し、もう一度引きます。

▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両の自動ロック解除

運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

バッテリーが切り離された状態でのロック解除

すでにロックされているドアは、バッテリーを切り離した後、エマージェンシーキーを使って車外からのみ開くことができます。

既にロック解除されていたドアは、バッテリーを切り離した後に、エマージェンシーキーで車外からのみ開くことができます。

- ▶ バッテリーの切り離し前にウィンドウを開きます。
インナー ドアハンドルを2回引っ張ると、ドアは車内外から開くことができます。そのためには、インナー ドアハンドルを静止位置からいっぱいに停止する位置まで完全に引きます。

ドアをロックする

情報

展開中のドアハンドルは、洗車機にかけると損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機にかける前に、車両をロックしてください。

セーフロックの使用 (国別仕様による)

⚠ 警告

車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック (国別仕様による) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドアハンドルとセントラルロック ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

セーフロックが作動：インナー ドアハンドルを引いて、**ドアを車内側から開くことはできません。** 内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

キーでドアをロックする

- ✓ セレクターレバーが **P** の位置になっていること。
- ✓ すべてのドアが閉じられていること。
- ▶ ㊦ ボタンを1回押してください。
➡ ハザードライトが2回点滅します。
ドアハンドルが格納します。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ㊦ ボタンを2秒以内に2回押してください。
 - ➡ ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。
 - ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いたら警告システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

📌 インフォメーション

ドアまたはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックすることはできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。

📌 インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、ハザードライトが4回点滅します。ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを約45秒以内に開けなかった場合、車両がロックされ、スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

車内からドアをロックする



図. 25: ドアパネルのセントラルロックボタン

- ✓ ドアが閉じられていること。
- ▶ ドアパネルの㊦ ボタンを押してください。
 - ➡ すべてのドアがロックされます。フィラーフラップはロックされません。
 - ドアハンドルが格納します。
 - ボタンのインジケータールイトが点灯します。
 - インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

自動ロック

- ✓ 機能が作動していること。
- 1. 108 ページの「どらいびんぐでーたのひょうじ(とりっぶじょうほう)」の章を参照してください。
 - ▶ 143 ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

セントラルロックの設定

セントラルロックシステム動作に関する設定は、PCM で行うことができます。例：

- ドアのロック解除 (運転席ドアのみ、すべてのドア)
- 速度が約 15 km/h を超えると、ドアが自動的にロックされます。
- ドアミラーが自動的に格納され、復帰します。

▶ 🏠 ▶ 設定 ⚙ ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

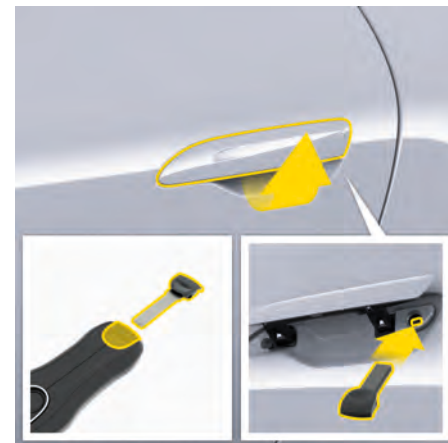



図. 26: 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

緊急ドアロック解除の実行

- ▶ フロントウィンドウの中央上部にキーを置き、 ボタンを押します。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
▶ 27ページの「キー」の章を参照してください。
2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシーキーをラウンドエッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します(右ハンドル車ではラウンドエッジが下を向きます)。
4. エマージェンシーキーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 警報システムが作動しないように、15秒以内にイグニッションをONにしてください。

インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドアロックの実行

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
▶ 28ページの「エマージェンシーキーの使用」の章を参照してください。
2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。

3. エマージェンシーキーをラウンドエッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します(右ハンドル車ではラウンドエッジが下を向きます)。
4. 運転席ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。

インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムのすべてのファンクションロックは運転席のドアロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルロックシステムが故障した状態で助手席ドアの緊急ロックを実施



図. 27: 助手席ドアの緊急ロック

1. ドアを開けます。
2. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
3. エマージェンシーキーを使用して、キースイッチを車両の外側方向に回してください。
4. ドアを閉じてください。
5. すべてのドアがロックしているか確認してください。
➔ 助手席ドアは車内でドアハンドルを引いて開くことができます。

① インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

装備によってはラジオアンテナ **A** (図. 28) の数が異なる場合があります。

- ▶ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

ラジオ アンテナの取り付け位置

⚠ 警告

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。



図. 28: ラジオ アンテナの取り付け位置

エアコンおよび人間工学

エアバッグ

一般的な安全に関する指示



危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動します。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグシステムの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

フロントエアバッグは、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュボードの中に取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**はシートボルトの側面に取り付けられています。

ヘッドエアバッグはサイドルーフレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取り替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

助手席エアバッグをOFFにする



図. 29: PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター

⚠ 危険**助手席エアバッグ OFF**

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。

⚠ 危険**助手席エアバッグの故障と作動不良**

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。




図. 30: 助手席エアバッグを OFF にする

助手席エアバッグは、グローブボックス内のキースイッチで OFF にできます。キースイッチはエマーゼンシーキーで操作できます。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ 43 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

故障の認識

エアバッグシステムが故障すると、赤いエアバッグ警告灯が  インストルメントパネルに表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない
- または -
- イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない
- または -
- 走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インテリアライト

インテリアライトのON/OFFの切り替え



インテリアライト / 読書灯のON/OFFの切り替え

- ▶ 該当するライトのボタンを押してください。

明るさを調節する(減光)

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

インテリアライトのON/OFFの自動切り替え

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ドアを開いている間作動させる。



暗い場合、インテリアライトは以下の状況でONになります。

- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合。
- イグニッションをOFFにした後で、運転席シートベルトが着用されていない場合。

インテリアライトは以下の状況では、再びOFFになります。

- すべてのドアを閉じた後。
- イグニッションをONにした直後。
- 車両をロックした直後。
- ONになってから約10分後自動で。

インテリアライトの遅延消灯が設定できます。



- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ライト遅延時間を設定

インテリアライトの調節

明るさの調節



- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ 明るさ

遅延消灯の設定

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ライト遅延時間を設定



アンビエントライトの調節

アンビエントライトのON/OFFの切り替え

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. ライトONを選択する。



- アンビエントライトがONになっている。
 アンビエントライトがOFFになっている。

アンビエントライトの色の設定



1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. 色を選択する。
3. 希望のライトの色を設定してください。

アンビエントライトの明るさ調節

車室内全体の明るさ設定

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. 全体の明るさを選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

車内の各エリアの明るさの設定

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. ドア、センターコンソール、フットウェルまたはリヤを選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

チャイルドシート

一般的な安全に関する指示

▲ 危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フルパケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてから行ってください。

▶ 48 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

ポルシェでは、ポルシェテイクアップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▶ www.porsche.com/tequipment

▶ 46 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▲ 危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お様が致命傷または重傷を負う危険があります。
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 46 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 40 ページの「助手席エアバッグをOFFにする」の章を参照してください。

- ▶ 身長 150 cm 未満または 12 歳未満の子供は、適切なチャイルドシートがないと乗車することができません。国別の法律を遵守してください。これらは異なる場合があります。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。



図 31: エアバッグ警告ラベル



図 32: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベル A (図 32) を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

この章の説明は UN-R 14 または UN-R 145 の要件に準拠しています。

チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の3つの項目すべてを注意深くお読みください。
- 1. 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。
 - ▶ 44ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- 2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
 - ▶ 46ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- 3. チャイルドシートを正しく取り付けてください。
 - ▶ 48ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。
 - ▶ 46ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
 - ▶ 48ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

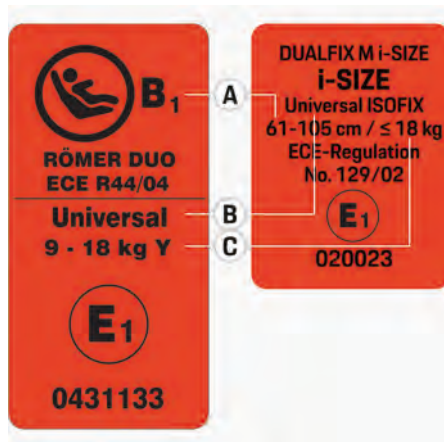


図. 33: チャイルドシートのECEラベルの例

- A** サイズグループ
 - B** 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
 - C** 体重グループ
- ▶ 準汎用(セミユニバーサル)認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

グループ0および0+のお子様：13kgまで(i-Sizeシステム、ISOFIXシステム、車両のシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIのお子様：9～18kg(i-Sizeシステム、ISOFIXシステム、または車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15～25kg(車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22～36kg(車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B2** ISO/B2：バックレスト付き前向きi-Sizeブースターシート
- C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1** ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- E** ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート

- F ISO/L1：左向きチャイルドシート〔ベビーキャリア〕
- G ISO/L2：右向きチャイルドシート〔ベビーキャリア〕

バックレスト装備または非装備のプースターシート

ISO/B2：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備

または非装備のプースターシート〕、減少幅 440 mm

ISO/B3：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備

または非装備のプースターシート〕、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループ0 0 ~ 10 kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ0+ 0 ~ 13 kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1
グループ1 9 ~ 18 kg	前向き	A/F3
		B/F2

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループII 15 ~ 25 kg	後ろ向き	B1/F2X
		C/R3
		D/R2
グループIII 22 ~ 36 kg	前向き	—
	後ろ向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2, F2X
プースターシート	前向き	-/B2, B3

チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
 - ▷ 44 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 - ▷ 48 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

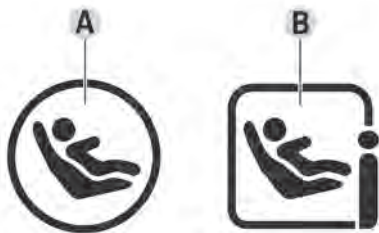


図 34: ISOFIX および i-Size のシンボル

- A** ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)
- B** i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

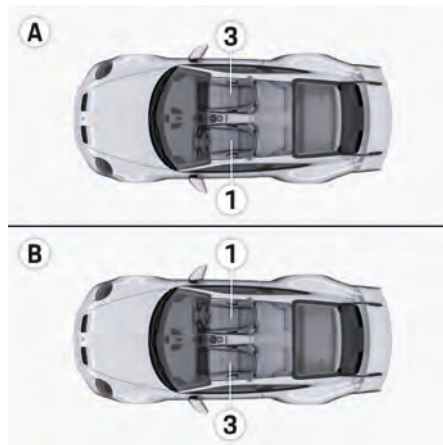


図 35: チャイルドシート取り付けのためのシート番号

- A** 左ハンドル車
- B** 右ハンドル車

	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置 ¹	3	3

1. スポーツシート プラスとアダプティブスポーツシート プラスでのみ許可されています。

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ¹
シートベルトによる固定 ²	不可	可 ³
ISOFIXの取り付け位置 ³	不可	可 ^{3,3}
i-Sizeの取り付け位置	不可	不可
横向きのチャイルドシート	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R2 ^{3,3}
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F2 ^{3,3}
適切なチャイルドシートで最大のもの(バックレスト装備または非装備のブースターシート)(B2/B3)	不可	B3 ^{3,3}

不可: シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

チャイルドシートの体重とサイズグループの説明、およびi-Sizeチャイルドシートとバックレスト装備または非装備のブースターシートの分類:

44ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

1. 助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
2. 可: 車両のシートベルトによって固定する汎用タイプと準汎用タイプのチャイルドシートに対応。準汎用タイプのチャイルドシートの取り付けが可能かは、チャイルドシートに付属しているタイプ一覧(インターネットでも入手可能)を参照してください。
3. スポーツシートプラスとアダプティブスポーツシートプラスでのみ許可されています。
4. 可: 汎用タイプと準汎用タイプのISOFIXチャイルドシートに対応。準汎用タイプのチャイルドシートの取り付けが可能かは、チャイルドシートに付属しているタイプ一覧(インターネットでも入手可能)を参照してください。

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」(L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X: シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/L: 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ0: 0 ~ 10 kg	X	U/L
グループ0+: 0 ~ 13 kg	X	U/L
グループI: 9 ~ 18 kg 後ろ向き	X	U/L
グループI: 9 ~ 18 kg 前向き	U/L	U/L
グループII:	U/L	U/L

グループ	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
15 ~ 25 kg		
グループIII: 22 ~ 36 kg	U/L	U/L

チャイルドシートの正しい取り付け

- ▶ チャイルドシートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
 - ▷ 44 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 - ▷ 46 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。

チャイルドシートの各種シートへの取り付け



図. 36: フルバケットシート

フルバケットシート (図. 36) ではチャイルドシートを決して使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

▷ 61 ページの「シート」の章を参照してください。

▷ 44 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

ベビーキャリア

サイズカテゴリー F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート (ベビーキャリアなど) は、どのシートにも使用できません。

ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします (例: Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

じょしゆせきえあばつぐのおんおふ



助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



図. 37: 助手席エアバッグを OFF にする

- ✓ イグニッションを OFF にする
- 1. グローブボックスを開いてください。
- 2. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
- ▶ 27 ページの「キー」の章を参照してください。

3. **情報**

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ず、キースイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。
キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときにのみ、ON または OFF に切り替えてください。

エマージェンシーキーをキースイッチにいっぱいまで押し込んでください。

- 4. エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグをオフ(スイッチ位置 OFF)またはオン(スイッチ位置 ON)にしてください。
- 5. 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。

- 6. グローブボックスを閉じます。

表示 PASSENGER AIR BAG OFF/ON



図. 38: 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター

助手席エアバッグ OFF/ON インジケーターは、ルーフコンソールにあります。

OFF ライト作動点検

イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーターが約 5 秒点灯します。

OFF 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にすると、イグニッションが ON のときやエンジンが作動しているときは、PASSENGER AIR BAG OFF インジケーターが継続的に点灯します。

ON 助手席エアバッグ ON

助手席エアバッグを ON にすると、イグニッションが ON のときは PASSENGER AIR BAG ON インジケーターが点灯し、約 1 分後に消灯します。

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

イグニッションをONにして、助手席エアバッグをOFFにしたときにPASSENGER AIR BAG OFFインジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルトを使用したチャイルドシートの取り付け

車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

1. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
 - ▶ 61ページの「シート」の章を参照してください。

チャイルドシートのISOFIXシステムとの取り付け

- ▶ 44ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

助手席シートへのチャイルドシートのISOFIXシステムとの取り付け



図. 39: 助手席シートのISOFIXアンカーシステム

ISOFIXチャイルドシートアンカーポイントのリテーニングラグA(図. 39)は、助手席のバックレストとシートの間にあります。

1. グローブボックス内のエマージェンシーキーで、助手席エアバッグをOFFにします。
 - ◆ ルーフコンソールの助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
 - ▶ 61ページの「シート」の章を参照してください。
3. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグA(図. 39)に固定してください。
4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

5. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

助手席へのサポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け



図. 40: サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け

1. チャイルドシートをISOFIXアンカーシステムで、リテーニングラグA(図. 39)と共に正しく取り付けます。
 - ▶ 50ページの「チャイルドシートのISOFIXシステムとの取り付け」の章を参照してください。
2. チャイルドシートメーカーの指示に従って、サポートレッグを位置決めします。
3. チャイルドシートが助手席に対して面に取り付けられているようにします。

折り畳み式助手席シートへのトップテザー付き キヤイルドシートの取り付け

▷ 48 ページの「キヤイルドシートの各種シートへの取り付け」の章を参照してください。

キヤイルドシートは、サポートレッグの代わりにトップテザーで固定することもできます。

- ▶ キヤイルドシートをトップテザーと一緒に使用する場合、トップテザーは助手席後方のリヤシェルフ上の固定位置に取り付ける必要があります。

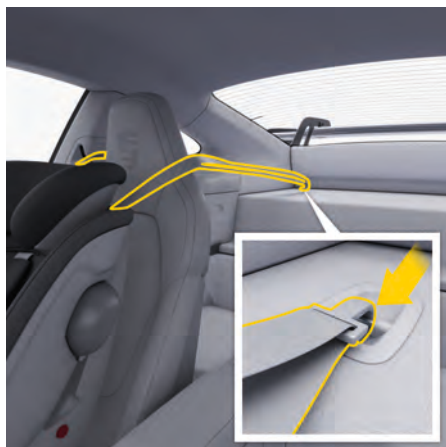


図 41: キヤイルドシートのトップテザーとの取り付け

1. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
2. 運転席シートを最後部位置に調整します。
▷ 61 ページの「シート」の章を参照してください。
3. トップテザーの長さを最大長に調整します。
4. キヤイルドシートを ISOFIX アンカーシステムで、リテーニングラグ A (図 39) と共に正しく取り付けます。

▷ 50 ページの「キヤイルドシートの ISOFIX システムとの取り付け」の章を参照してください。

5. 助手席とキヤイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
6. 運転席シートに膝をつき、助手席後方のリヤシェルフ上のアンカーポイントに届くようにします。

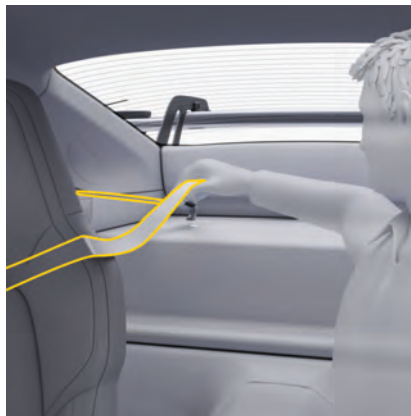


図 42: アンカーポイントへのトップテザーの固定

7. トップテザーを助手席後方のリヤシェルフ上のアンカーポイントに固定します。
8. トップテザーがねじれていないことを確認してください。
9. キヤイルドシートメーカーの指示に従って、トップテザーを締め付けます。

エアコンシステム(2ゾーンエアコン)

概要

この概要説明は、「エアコンシステム(2ゾーンエアコン)」に記載された包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

エアコンシステムは、PCMおよびセンターコンソールのボタンで調整することができます。

▶ 113ページの「ボルシェコミュニケーションマネジメントシステム(PCM)」の章を参照してください。

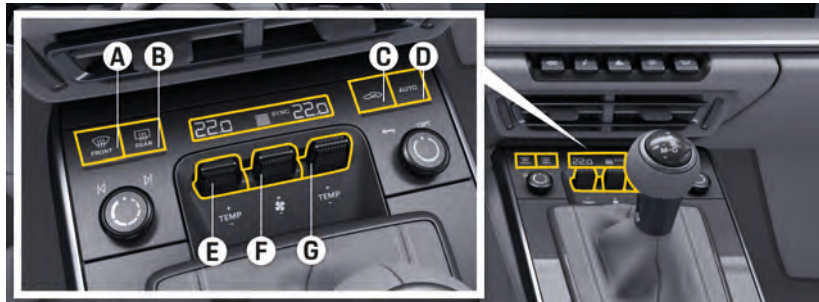

















図. 43: エアコンの概要

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロントウィンドウデフロスター	▶ ボタンA(図. 43)を押してください。	▶ P. 57
リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする	▶ ボタンB(図. 43)を押してください。	▶ P. 57
手で内気循環モードをONにする	<p>国によっては、内気循環モードはセンターコンソールのボタンまたはPCMタッチディスプレイを使用して切り替えることができます。</p> <p>▶ ボタンC(図. 43)を押してください。 -または-</p> <p>▶ ▶ エアコン ▶ 空気質 </p>	▶ P. 54

希望する操作	操作方法	操作箇所
A/C MAX モード (最大空調) を ON にする	<p>国によっては、A/C MAX モードはセンター コンソールのボタンまたはPCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタン C (図. 43) を押してください。 - または - ▶  ▶ エアコン  ▶ A/C 最大 	▶ P. 54
オート モードを ON にする	▶ ボタン D (図. 43) を押してください。	▶ P. 54
温度の設定	▶ 左側はボタン E (図. 43)、右側は G (図. 43) を、上 (温度を上げる) または下 (温度を下げる) に押してください。	▶ P. 54
送風量を手動で設定する	▶ ボタン F (図. 43) を上 (強くする) または下 (弱くする) に押してください。	▶ P. 54
オート モードで風量を設定する	▶  ▶ エアコン  	▶ P. 54
送風口を手動で切り替える	▶  ▶ エアコン  ▶  または 	▶ P. 54
フットウェル温度の設定	▶  ▶ エアコン  	▶ P. 54
アッパー換気パネルの調節	▶  ▶ エアコン  	▶ P. 54

作動原理

オートモードでは、さまざまな環境条件 (車室内の温度、日射量、空気の状態など) に応じて、エアコンシステムが温度、送風口、送風量を全自動で調節します。エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコンシステムは、センター コンソールのボタンおよび PCM タッチ ディスプレイで操作することができます。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後 OFF になります。

エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約 2 °C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

2ゾーンエアコン

温度は、**左と右のエアコンゾーン**で個別に設定できます。送風口、エアコンの種類、およびフットウェル温度は、車室内全体に対して設定できます。

エアコンのON/OFFの切り替え

エアコンは、車内全体に対してON/OFFの切り替えができます。

▶ ▶ エアコン ▶ OFF

- ▶ センターコンソールのエアコンディスプレイにA/C OFFと表示され、外気導入による送風が停止して、エアコンシステムがOFFになります。

オートモードをONにする

エアコンゾーンはオートモードに切り替えることができます。

- ▶ エアコンコントロールパネルの**AUTO**ボタンを押してください。
 - ▶ ボタンの**AUTO**シンボルが点灯します。
 - 温度、風量および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、他の機能ボタンによりオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または**AUTO**ボタンを押すまで設定が維持されます。

冷房機能のON/OFFの切り替え

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房の出力は自動制御されます。

▶ ▶ エアコン ▶ A/C

- ▶ 冷房機能はONまたはOFFに切り替えることができます。

最大冷房出力のON/OFFの切り替え - A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、最大出力で車内が冷却されます。

一部の地域では、A/C MAXモードのON/OFFをセンターコンソールのボタンおよびPCMタッチディスプレイを使用して切り替えることができます。



図. 44: 最大冷房出力

- ▶ エアコンコントロールパネルのA/C MAXボタンを押してください。
 - ▶ A/C MAXボタンが赤色に点灯するか、消灯します。
 - A/C MAXモードがONまたはOFFです。

-または-

▶ ▶ エアコン ▶ A/C MAX

- ▶ A/C MAXモードがONまたはOFFです。

エアコンシステムの操作 温度の設定

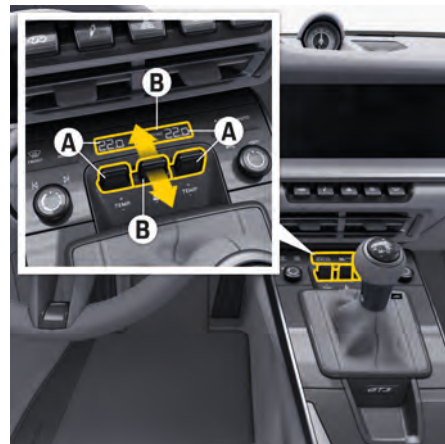


図. 45: 温度設定および送風量調節

- A** エアコンディスプレイで該当するエアコンゾーンの温度およびインジケータを調節する
- B** エアコンディスプレイで風量およびインジケータを設定する

各空調エリアの温度は16.5℃～29℃の範囲で選択できます。

推奨：冷房機能(エアコン)がONの状態での22℃。設定した温度が、センターコンソールのエアコンディスプレイに表示されます。


温度を上げる / 下げる

- ▶ 該当するエアコンゾーンのボタン **A TEMP** (図. 45) を上方向または下方向に押ししてください。


センターコンソールのエアコンディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。ボタン **AUTO** は ON のままで、ファンが調節されます。

- ▶ 56 ページの「車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード」の章を参照してください。

風量を設定する

設定した風量が、センターコンソールのエアコンディスプレイのボタン  の上部にバーディスプレイで表示されます。バーの数が多くなるほど、車室内への風量が多いことを示します。

送風量を上げる / 下げる

- ▶  ボタンを上方向または下方向に押しください。

AUTO ボタンを押すと、オートモードに戻ります。


風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。



警告

風量 OFF による視界の低下

風量設定を OFF にすると、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、 ボタンを上方向に押すか、オートモードに戻してください。

エアベントの調整



図. 46: エアベントの調整

情報

エアベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話クレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エアベントには何も挟まないでください。

エアベントの開閉

- ▶ エアベントのダイヤルを上方向または下方向に回してください。

風向の変更


- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。


送風口を調節する


フロントの送風口の調節

1. エアコン

2. 送風口の選択:

 フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。

 中央および左右エアベントからの送風を開始します。

 フットウェルへの送風を開始します。



アッパー換気パネルの調節



図. 47: アッパー換気パネルの調節

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。送風方向は手動で水平方向に調節できます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

送風の ON/OFF の切り替え

- ▶  ▶ エアコン 
- ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

風向の変更

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

エアコンの種類の設定

オート モードでは、車室内全体に対して 3 段階で風量を調節できます。

1.  ▶ エアコン 
2. 希望するエアコンのタイプを選択します。




フットウェル温度の設定

フットウェル温度は車室内全体の温度よりも低く設定できます。

1.  ▶ エアコン 
2. 希望するフットウェル温度を選択します。

自動内気循環の ON/OFF の切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約 5°C を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気質 
- ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

内気循環モードの ON/OFF の手動切り替え

警告 手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。



- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

一部の国では、内気循環モードの ON/OFF はセンターコンソールのボタンまたは PCM タッチディスプレイを使用して切り替えることができます。




手動で内気循環モードを ON にする




図. 48: ないきじゅんかんもーどのおんおふ

- ▶  ボタンを押してください。
- ➔ 内気循環モードを ON にすると、 ボタンが赤く点灯します。

-または-

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気質 
- ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

手動で内気循環モードを OFF にする



- ▶  ボタンを押してください。
- または-

AUTO ボタンを押してください。

-または-

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気質 

車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 同期
 - ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。
- SYNC モードが ON になると、助手席側エアコンゾーンの表示値が運転席の値に変わります。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、PCM で SYNC モードを ON にしてください。


フロントウィンドウ、リヤウィンドウ、ミラーヒーターの操作

フロントウィンドウデフロスター




図 49: フロントウィンドウデフロスター

デフロストモードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンがオレンジ色に点灯します。
 フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。
 フロントウィンドウの曇りや霜を素早く取り除きます。

デフロストモードをOFFにする


- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFを切り替える




図 50: リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターボタン

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンがオレンジ色に点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にリヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

ステアリングホイール ステアリングホイールの調節



警告

運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

ステアリングホイールの手動調節



図 51: ステアリングホイール調節レバー

1. レバーを下方(ドライバーから離れる方向)に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。

3. ステアリング ホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

インストルメントクラスターの操作に関する詳細情報：

▶ 103 ページの「インストルメントパネルの操作」の章を参照してください。

パーソナル設定

機能

コンフォート設定を自動的に保存して呼び出すための個別のアカウントを PCM で作成できます。

パーソナル設定の保存と呼び出し

イグニッションを OFF にすると、その時点での設定が PCM により自動的にアカウントに保存され、使用したキーと関連付けられます。ドアのロックを解除すると、設定がキーにより自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する場合、各自で別個にアカウントとキーを使用することをお勧めします。必要であれば、アカウントを手動で変更できます。

インフォメーション

車両の損傷を防ぐために、個々の機能をカスタマイズすることはできません。

コンフォート設定の保存と呼び出し

コンフォート設定の保存

- ▶ イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は自動的に PCM のアカウントに保存されます。

コンフォート設定の呼び出し

- ▶ 車両をロック解除します。
 - ➡ アカウント設定が呼び出されます。

—または—

✓ 車両が停止している状態。

1. PCM でアカウントを切り替えます。
2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

設定のロードが中断された場合：

- ▶ PCM でドライバーを有効にするを選択します。

アカウントを管理する

PCM で最大7つのアカウントを登録および管理できます。1つのゲストアカウントが利用可能です。これは削除できません。

PCM の初回起動時には**セットアップアシスタント**が表示され、PCM 設定のための重要なステップが案内されます。最初のアカウントを正しく作成するために、**セットアップアシスタント**を完全に実行することをお勧めします。アカウントを設定して使用するには、ポルシェ ID (Porsche Connect ユーザー) が必要です。▶ 156 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

イグニッションを ON にした直後、およびイグニッションが ON のときはいつでも PCM を使用して、インストルメントクラスターから登録済みアカウントを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは必ず作動中のアカウントに自動的に割り当てられます。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

シートベルト

シートベルトの正しい使用方法

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服（ジャケットなど）は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物や壊れやすい物（メガネ、ボールペン、携帯電話など）の上からシートベルトを締めないでください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのお子様に適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と腰が前方にスライドしないよう、シートベルトを身体の正しい位置に着用してください。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の後ろや腕の下にないように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るため、腰のベルトが腰の低い位置に当たるように着用してください。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。

⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト プリテンショナー システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルト プリテンショナー システムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

▶ 187 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

この章の説明は UN-R 14 と UN-R 16 の要件に準拠しています。

シートベルト プリテンショナー

シートベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト プリテンショナーの作動条件：

- 車両の前方および後方からの衝突時。
- 車両の側面からの衝突時。
- 車両が横転した場合。

① インフォメーション

シートベルト プリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルトの着用と取り外し シートベルトを着用する

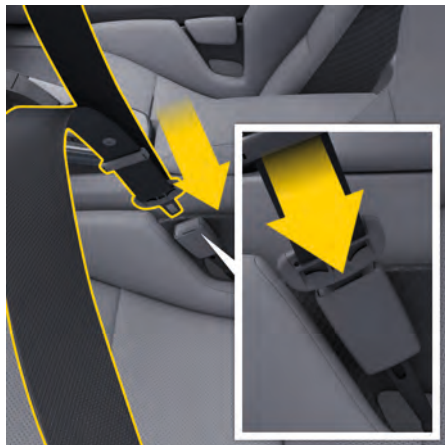


図 52: シートベルトを着用する

i インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 車両が傾いている。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調節します。
3. シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。

4. シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
 5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
 6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。
- 妊婦：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調節し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

ベルトバックルを解除してシートベルトを外す



図 53: シートベルトを外す

1. シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
2. ベルトバックルにある赤いボタンを押します。
3. シートベルトのラッチをシートベルト引き出し口の約7 cm 下に移動させ、プラスチックスライドをシートベルトのラッチの下まで押し上げます。プラスチックスライドがシートベルトラッチを手の届きやすい位置で保持します。


シートベルト警告灯および警告メッセージの確認



図 54: インstrument クラスタのシートベルトステータス表示

イグニッションを ON にすると、Instrument クラスタに赤色の警告シンボル **A** が点灯し、運転席側および助手席側(乗員が座っている場合)のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、Instrument クラスタに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシートベルトが着用されていない場合、インストルメント クラスタに赤色の警告シンボル  A が点滅し、警告音が鳴ります。

シート シートの調節

適切なシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっぱい踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリング ホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリング ホイールの位置は、肘が少し曲がる位置に調節してください (フルバケットシートを除く)。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

ヘッドレスト

この車両は 2 シーターです。運転席と助手席にはヘッドレストが装備されています。運転席と助手席のヘッドレストは調節できません。

シートの調節



警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がないことを確認してからシート位置を調節してください。

情報

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

インフォメーション

ISOFIX チャイルドシート装備車両では、チャイルドシートを助手席で使用した場合、助手席バックレストの調節範囲が制限されます。

- ▶ 43 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

スポーツシート プラスの調節

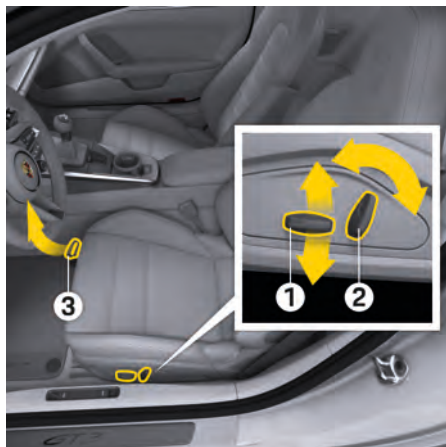


図. 55: スポーツシート プラスの調節

- 1 シートの高さ調節
- 2 バックレストの角度調節
- 3 シートの前後調節

- ▶ 各スイッチ **1** または **2** (図. 55) を矢印方向に押し、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。
- ▶ ロック レバー **3** (図. 55) を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。

フルバケット シートの調節

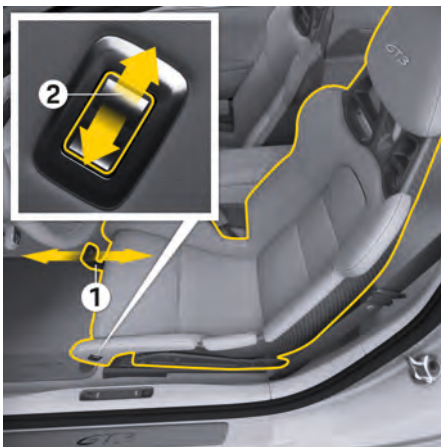


図. 56: フルバケット シートの調節

- 1 シートの前後調節
- 2 シートの高さ調節



チャイルド シートの使用

フルバケットシートでのチャイルドシートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

フルバケットシートでチャイルドシートを使用すると、事故の際に保護効果がありません。

- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ ロック レバー **1** (図. 56) を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。

シートがしっかり固定されていることを確認してください。

- ▶ スイッチ **2** (図. 56) を矢印の方向に押し、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。

アダプティブスポーツシート プラスの調節

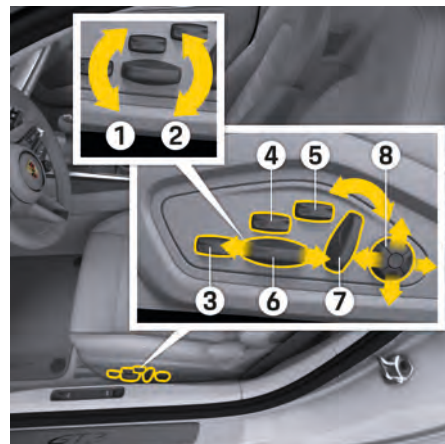


図. 57: アダプティブスポーツシート プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイ サポートの調節
- 4 シート クッションのサイド ボルスターの調節
- 5 シート バックレストのサイド ボルスターの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバー サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

バックレストを倒す

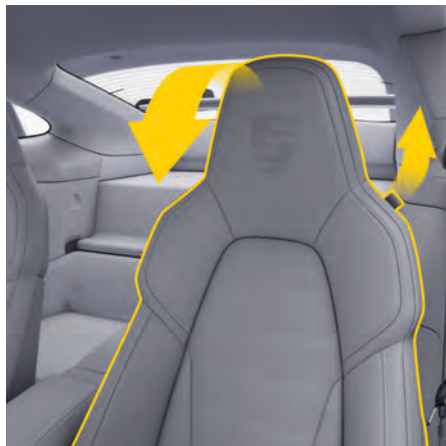


図. 58: バックレストを倒す

- ▶ バックレストの側面にあるループを引き上げて、バックレストを前方に倒してください。

バックレストを垂直位置に調節する

▲ 警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。
シートベルトを挟み込んでいないことを確認してください。

シートヒーターをON/OFFにする

シートヒーターは電気で作動します。シートヒーターは、シート表面およびバックレストのヒーターエレメントを暖めます。

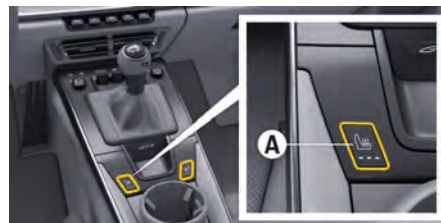


図. 59: シートヒーターをON/OFFにする

シートヒーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ ボタンA(図. 59)を必要に応じて繰り返し押しします。
 - ➡ 点灯しているインジケータライトの数によって、選択されているヒータレベルが示されます。

シートヒーターをOFFにする

- ▶ ボタンAをインジケータライトが消灯するまで(必要に応じて繰り返し)押ししてください。

ⓘ インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

シートヒーターを調節する

シートヒーターについて、シートとバックレストのバランスを設定することができます。

1. 🏠 ▶ 車両 🚗 ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席 ▶ ヒートバランス
2. バランスを設定します。

サンバイザー

サンバイザーの使用

サンバイザーの調節



図. 60: サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。
- ▶ 横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、サイドウィンドウ側にセットしてください。

バニティー ミラーを開く



図. 61: バニティー ミラーを開く

情報

バニティー ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。
- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのカバーを開きます。
 - ➡ バニティー ミラーのライトが点灯します。

ミラー

ドア ミラーの使用

▲ 警告

ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルーム ミラーと併用して行ってください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

情報

塗装、レーザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

情報

洗車機で洗車を行う場合にドア ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗濯機を使用する前にドアミラーを格納してください。

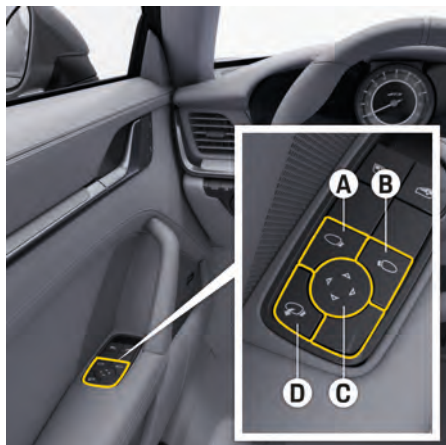



図. 62: ドアミラーの操作

- A 左ドアミラーの選択
- B 右ドアミラーの選択
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰 (装備により異なる)

ドアミラーの調節



図. 63: ドアミラーの調節

- ✓ 作動待機がONになっている。
-または-
イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。
1. 左ドアミラーはボタンA(図. 62)、右ドアミラーはボタンB(図. 62)を押します。
選択したボタンの  シンボルが赤色に点灯している間は、該当するドアミラーの角度を調節できます。
 2. 調節ボタンC(図. 63)を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

ドアミラーの格納および復帰

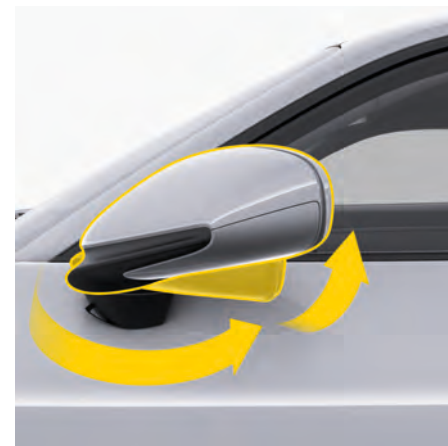


図. 64: ドアミラーの格納および復帰

ドアミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドアミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドアミラーの電動格納および復帰 (装備により異なる)


- ✓ 約 50 km/h の最高速度。
- ▶ ボタンD(図. 62)を押します。
➡ 両方のドアミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーを手で格納または復帰してください。

車外からのドアミラーの格納および復帰

車両がロックされるときに、ドアミラーを格納することが可能です。

- ▶ キーの  ボタンを少なくとも 1 秒間押し続けてください。
 - ➔ ドアミラーが格納されます。

ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にします。
 - ➔ ドアミラーが自動的に復帰します。

ドアミラーの自動格納および復帰 (装備により異なる)

ドアミラーの自動格納および復帰機能は PCM で調節可能です。

機能を作動させる

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ロック ▶ 格納ミラー


ドアミラーの自動格納

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ 車両をロックします。
 - ➔ ドアミラーが自動的に格納されます。

ドアミラーの自動復帰

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ イグニッションを ON にします。
 - ➔ ドアミラーが自動的に復帰します。

インフォメーション

ボタン **D**() を押して手動でドアミラーを格納した場合は、イグニッションを ON にした後、自動的に復帰しません。

ミラーの防眩機能


ドアミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルームミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。
▶ 66 ページの「ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF」の章を参照してください。

ルームミラーの手動防眩



図. 65: ルームミラーの手動防眩

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー **A**() を車内側に向けてください。

- ▶ 通常位置 - レバーを車内側に向けます。
- ▶ 防眩位置 - レバーをフロントウィンドウ側に向けます。

ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF

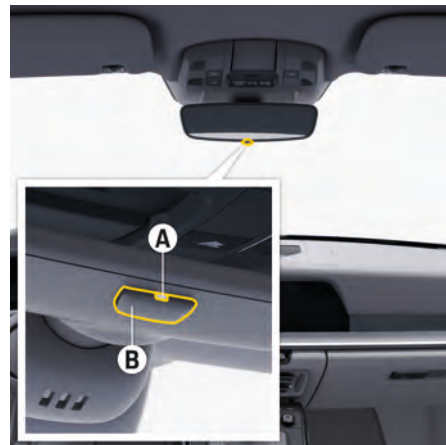




図. 66: ルームミラーの自動防眩機能

自動防眩機能を ON にする

- ▶ ボタン **B**() を押します。
 - ➔ インジケータライト **A**() が点灯します。
- 光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルームミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

インフォメーション

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能を OFF にする

- ▶ ボタン **B** を押してください。
 - ➔ インジケータライト **A** が消灯します。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
 - ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。
-

情報

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。
-

運転 / ドライバー アシスタンス 発進アシスタント

一般的な安全に関する指示



警告

車両コントロールの喪失

発進アシスタントが装備されていても、車両の物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。発進アシスタントを使用する場合でも、勾配での停止および発進の責任はドライバーにあります。

発進アシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

発進アシスタントが作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時に支援を受けられなくなります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。
- ▶ フットブレーキをかけて停車してください。

発進アシスタントを使用した発進操作

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

✓ エンジンが作動している。

1. 坂道では、フットブレーキをかけて停車してください。
2. マニュアルトランスミッション装備車：
クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。

3. マニュアルトランスミッション装備車：坂道を登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバースギヤ）。

PDK 装備車：上り坂走行の場合はセクターレバーを **D** または **R** の位置にしてください。またはセクターレバーが **M** の位置で1速にシフトしてください。

4. フットブレーキを放してください。

このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防ぎ、発進を容易にします。

5. 通常の操作で車両を発進させてください。

① インフォメーション

- 勾配で車両を保持するためにエレクトリックパーキングブレーキを使用する場合でも、通常操作で発進することができます。エレクトリックパーキングブレーキは始動要求を検出し、自動的に解除されます。
- ドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動します。

▶ 72 ページの「エレクトリックパーキングブレーキ」の章を参照してください。

① インフォメーション

次のような場合は、発進アシスタントは機能しません。

- クラッチを踏んでいないとき（マニュアルトランスミッション装備車）
- セクターレバーが **N** の位置にあるとき（PDK 装備車）
- 車両が停止していないとき
- エンジンが作動していないとき
- 坂道の勾配率が 5 % 以下のとき
- ブレーキペダルの踏力が弱すぎる時

オートスタート/ストップ機能

オートスタート/ストップ機能

たとえば、信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。これにより燃料の消費を節減します。エンジンが自動停止しているときもイグニッションは ON の状態のままで、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能が ON になっている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。

PDK 装備車

- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている
- ✓ セクターレバーが **D**、**N** の位置にある、またはトランスミッションレンジ **1** または **2** が手動選択されている。
- または -
運転席ドアが閉じている状態で、セクターレバーが **P** の位置にある。

マニュアルトランスミッション装備車

- ✓ シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている。
- ✓ シフトレバーがニュートラル位置で、クラッチペダルを踏んでいない。

エンジンの自動停止および自動始動 マニュアルトランスミッション装備車

エンジンの停止

1. フット ブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ギヤ シフト レバーをニュートラル位置に動かします。
3. クラッチ ペダルから足を放してください。
➔ エンジンが停止します。

エンジンの始動

- ✓ シートベルトを着用している。
- ✓ 運転席ドアを閉じている。
- ▶ クラッチ ペダルを踏み込んでください。
- ➔ エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合があります。シフトレバーはニュートラル位置になっている必要があります。場合により、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

降車後の作動

エンジンの自動停止中に運転席ドアを開けた場合、エンジンが**自動で始動することはありません**。エンジンの自動始動は、クラッチペダルを完全に踏み込むことで実行できます。以下の要件のうちの1つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルが踏まれており、運転席ドアが閉まっていて、運転席シートベルトが着用されている場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

エンジンが自動停止している(運転手ドアが開いていて、ペダルが踏まれていない)間に運転手が車両から降車した場合、エンジンが始動してオートスタート/ストップ機能が再開するには上記の要件が30秒以内に検出される必要があります。

車両を離れてから30秒以内にオートスタート/ストップ機能をOFFにした場合、運転席ドアを閉めて運転席シートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて30秒後にエンジンを**手動**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスタに表示されます。

▶ 75ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

PKD 装備車

エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。
- または -
停車中にセレクターレバーを**P**の位置に動かしてください。

エンジンの始動

- ✓ セレクターレバーが**P**、**D**または**N**の位置にある、あるいは**1**速または**2**速ギヤを手動で選択している。
- ▶ ブレーキペダルを放してください(セレクターレバー位置が**P**以外)。
- または -
アクセルペダルを踏み込んでください。
- または -
ステアリングホイールを動かしてください。
- または -
セレクターレバーを**R**の位置にします。
- ➔ エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合があります。場合によっては、ドライバーにブレーキペダルを踏むよう指示するメッセージがインストルメントクラスタに表示されます。

降車後の作動(セレクターレバーが**P**の位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PKDセレクターレバーを**P**位置にして、ガレージドアを開けるなどの理由で、車両から降車した場合(運転席ドアが開かれ、ブレーキペダルが踏まれていない状態)には、エンジンは**自動始**

動しません。 ドライバーが降車後 30 秒以内に運転席ドアを閉じてブレーキペダルを踏むと、オートスタート/ストップ機能が再開します。上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは**手動**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメント クラスタに表示されます。

▶ 75 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

降車後の作動 (セレクター レバーが、D、M または N の位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDK セレクター レバーが **D、M** または **N** の位置にある状態で降車した場合 (運転席ドアが開かれ、ブレーキペダルが踏まれていない状態)、エンジンが**自動的に**始動し、オートスタート/ストップ機能が ON であることを運転者に知らせます。セレクター レバーが **D** または **M** の位置にある場合、エレクトリック パーキング ブレーキも作動します。Ⓟ ボタンのインジケータ ライトとブレーキ警告灯 (ⓘ) が点灯します。

オートスタート/ストップ機能の例外

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- ESC または ESC+TC が OFF の場合。
- フロント アクスルリフト システムが有効な場合。
- 「最大冷房出力」機能が有効な場合。
- 「フロント ウィンドウ デフロスター」の機能が有効な場合。
- 高地の場合。

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が**一時的に**制限されます。


- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリー充電が少ない場合。

- 上り坂または下り坂。
- オート エンジン チェック機能など車両の内部点検を実行している場合。
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高い場合。

ⓘ インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オートスタート/ストップ機能の ON/OFF 切り替え

▶  ▶ 車両 ▶ 車両タイプを選択し、テスターを開始します。

- エンジンの自動停止が無効になります。
- 停車すると、エンジンが自動的に停止します。

SPORT および TRACK 走行プログラムは、これらの走行プログラムが選択されたときにオートスタート/ストップ機能が OFF になるように設定できます。

走行プログラムの設定と選択については、以下をご覧ください：

73 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。

オートスタート/ストップ機能の表示



自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止し、エンジンの自動始動が利用できる場合、インストルメント クラスタのインジケータ ライトが緑色に点灯します。



自動停止または再始動の準備ができていない
エンジンの自動停止が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動できない場合は、停車中にインストルメント クラスタのインジケータ ライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジン自動停止の前提条件が 1 つ以上満たされていない。
- または - オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも 1 つ以上満たされている。

▶ 69 ページの「エンジンの自動停止および自動始動」の章を参照してください。

▶ 70 ページの「オートスタート/ストップ機能の ON/OFF 切り替え」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が停止していることを示すメッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

フットマットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの機能停止

ブレーキ ブースターは、エンジン作動時に作動準備完了状態になります。エンジン停止時やブレーキ ブースターに不具合がある場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに大きな力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、必ず車両輸送専用車かトレッラーでけん引してください。

▲ 警告

ブレーキディスクの水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したときや洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

▲ 警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われてブレーキの効きが悪くなる場合があります。

車両を長時間駐車するとブレーキディスクが腐食し、結果としてブレーキが「激しく振動」することがあります。

- ▶ ブレーキ効果の低下がはっきり感じられる場合は、
ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードとブレーキフルードレベルの点検に関する情報：

- ▶ 181ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

フットブレーキ

ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。

特定の色、制動力、車両を取り巻く環境(気温、湿度など)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や同様の運転スタイルにより、車両の摩耗が進行します。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

ぼるしえせらみっくこんぼじつとぶれーき(びーしーびー)

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の色、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度など)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは停車中に車両が動き出さないよう固定するために使用します。



パーキング ブレーキの作動

- ✓ 車両が停止している状態。
- ▶ P ボタンを引いてください。
 - ➡ スイッチのインジケーター ライトおよびブレーキ警告灯 が点灯します。

パーキング ブレーキを手動で解除する

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- 1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
- 2. P ボタンを押してください。
 - ➡ ブレーキ警告灯 が消灯します。

パーキング ブレーキの自動解除

作動モード **D**、**R** または **N** を挿入すると、エレクトリック パーキング ブレーキが自動的に解除されます。

パーキング ブレーキの自動ロック

- ✓ PDK 装備車
- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されている。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ✓ 運転席シートベルトが外れている。

エレクトリック パーキング ブレーキが自動的に入り、トランスミッション パーキング ロックが挿入されます。

P ボタンのインジケーター ライトとブレーキ警告灯が点灯します。

緊急ブレーキ機能の作動

▲ 警告 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時以外作動させないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合は急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ P ボタンを引いたままにします。
 - ➡ ブレーキ警告灯と P ボタンのインジケーター ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- ▶ P ボタンを放します。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両を ON にすると、ブレーキ機能によって自動的に作動状態が点検されます。警告灯とインジケーター ライトが短時間点灯し、再び消灯します。ブレーキ警告灯が常時点灯している場合は、故障が発生しています。

- ▶ 直ちに故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリック パーキング ブレーキを完全に作動させることができない場合、P ボタンのインジケーター ライトとブレーキ警告灯が点滅します。

ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達すると、インストルメント パネルに警告メッセージが表示されます。

▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

走行プログラム

はじめに


この車両には、NORMAL 走行プログラムと、個別に設定可能な SPORT および TRACK 走行プログラムが装備されています。

走行プログラムの選択

インフォメーション

イグニッションを ON にすると、走行プログラム NORMAL が自動的に選択されます。

走行プログラムの PCM での選択

1.  ▶ ドライブ ▶ 走行モードを選択 を選択します。
2. 希望する走行プログラムを PCM で選択します。

モードスイッチでの走行モード選択



図. 67: ステアリング ホイールの走行プログラム

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
 - ➔ インストルメント クラスタに選択した走行プログラムが表示されます。

走行プログラム SPORT または TRACK の設定

走行プログラム SPORT と TRACK では、各種設定を組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを SPORT または TRACK に合わせるか PCM から呼び出すことができます。

変更可能な設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

機能	走行プログラム	
	スポーツ	TRACK
Start/Stop OFF	OFF/ON	OFF/ON
スポーツエキゾーストシステム	OFF/ON	OFF/ON
スロットルブリッピング (マニュアルトランスミッション 装備車のみ)	OFF/ON	OFF/ON
リヤスポイラー (ツアリング パッケージ 装備車のみ)	OFF/ON	OFF/ON
シャーシ TRACK	OFF/ON	OFF/ON
PDC SPORT	OFF/ON	OFF/ON
PDC TRACK	-	OFF/ON

機能	走行プログラム	
	スポーツ	TRACK
ESC off	-	OFF/ON
ESC/TC off	-	OFF/ON
タイヤ空気圧 TRACK	-	OFF/ON
TRACK ビュー	OFF/ON	OFF/ON

走行プログラムの設定と保存



図 68: 走行プログラム設定メニューのボタン

1. モード スイッチのボタンを押します。
2. 希望の走行プログラムを選択してください。
3. インストルメント パネルで希望の設定を選択します。
 - ➡ 選択した設定は、メニューを終了すると自動的に保存されます。

または、インストルメント パネルからも設定メニューを呼び出すことができます。

▶ 102 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

スポーツ エキゾースト システムを ON/OFF にする

スポーツ エキゾースト システムはイグニッションが ON のときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

スイッチ用ストリップでスポーツ エキゾースト システムを ON/OFF にする



図 69: スポーツ エキゾースト システムのボタン

- ▶ ボタンを押してください。
- ➡ スポーツ エキゾースト システムが ON になると、ボタンが赤色に点灯します。

PCM からスポーツ エキゾースト システムを ON / OFF にする

- ▶ ▶ ドライブ ▶ スポーツ エキゾースト システムを選択 を選択します。

- スポーツ エキゾースト システムが ON になっています。

- スポーツ エキゾースト システムが OFF になっています。

走行プログラムからスポーツ エキゾースト システムを ON にする

SPORT および TRACK 走行プログラムでは、該当する走行プログラムを選択したときにスポーツ エキゾースト システムが作動するように設定することができます。

走行プログラムの設定と選択に関する情報：

▶ 73 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

- ▶ 該当する走行プログラムを選択します。

車両の始動、走行、駐車

イグニッションロック

キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。必要なのはキーを携帯していることだけです。



図. 70: イグニッションロックの位置

- 0 基本設定
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジンの始動

0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のとき、エンジンとイグニッションはOFFになっています。

1-イグニッション ON

すべての電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

① インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。初めにコントロールユニットをイグニッションロック位置0(初期位置)に戻します。

2-エンジン始動

エンジン始動後、コントロールユニットが位置2から1の位置に自動的に戻ります。

エンジンの始動

1. ブレーキペダルを踏んでください。
 2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
 3. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
 4. PDK 装備車：セレクターレバーをP位置またはN位置に入れます。
 5. アクセルペダルは踏まないでください。
 6. コントロールユニットをイグニッションロック位置2に回してください。エンジンスターターは約10秒以上連続して作動させないでください。
- ▶ イグニッションロック位置2(エンジン始動)にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
 - ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。まずコントロールユニットをイグニッションロック位置0(初期位置)に戻してください。

停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

エンジンの停止



警告

作動停止状態のパワーステアリングおよびブレーキブースター

パワーステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンがOFFになると、ステアリングホイールを回すことやブレーキングに普段より大きな力が突然必要になります。

▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFFにしてください。

1. 停車してください。
 2. ブレーキペダルを踏んでください。
 3. コントロールユニットをイグニッションロック位置0に回してください。
- ▶ 車両を離れるときは、エレクトリックパーキングブレーキをかけ、PDK 装備車ではセレクターレバーをPの位置に動かし、マニュアルトランスミッション装備車ではギヤを1速またはリバースギヤに入れます。

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

7速 Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチックシフトモードとマニュアルシフトモードを備えたトランスミッションです。

オートマチックシフトモード (セレクトターレバーが**D**の位置) では、ギヤチェンジが自動的に行われます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

マニュアルシフトモード (セレクトターレバーが**M**の位置) では、セレクトターレバーまたはステアリングホイールのシフトパドルの操作でギヤチェンジできます。セレクトターレバーの**D**と**M**の位置は、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。

セレクトターレバー位置の変更



図. 71: セレクトターレバー位置の変更

イグニッションがOFFのとき、セレクトターレバーは動かないように**P**位置に固定されます。

イグニッションがONのとき、リリースボタンを押し、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、セレクトターレバーを**P**や**N**の位置から動かすことができます。

リリースボタン

セレクトターレバーのリリースボタン (図. 71) は、ギヤシフトの誤操作を防止します。**R**または**P**の位置にシフトするときは、このリリースボタンを押さなければなりません。

エンジンの始動

セレクトターレバーが**P**か**N**の位置にあり、ブレーキペダルを踏んだ状態でないと、エンジンを始動することはできません。

車両の発進

- ▶ エンジンがアイドル状態、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、希望の走行位置 (**D**、**M**、**R**) にシフトしてください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。フットブレーキを解除した直後の発進を容易にするため、ドライバーがブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替えるときに、車両が短時間その位置に保持されます。

- ▶ 68ページの「発進アシスタント」の章を参照してください。

車両の停止

- ▶ 短時間の停車時 (信号待ちなど) には、セレクトターレバーのシフトポジションを**D**または**M**にしたまま、ブレーキペダルを使って車両位置を維持します。
- ▶ 上り坂でアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、セレクトターレバーを**P**の位置にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルをやさしく踏んでください。

セクター レバー ポジションインジケータ およびギヤ ポジションインジケータを読み取る

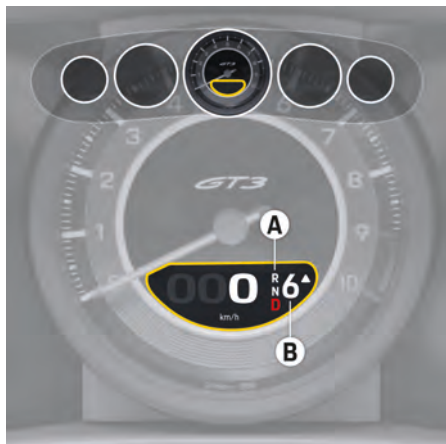


図. 72: セクター レバー ポジションインジケータおよびギヤ ポジションインジケータ

エンジン作動中に、セクター レバー位置 **A**(図. 72) および締結されているギヤ **B** が表示されます。セクター レバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセクター レバー ポジションが点滅し、インストルメント クラスタに警告が表示されます。

対策：

- ▶ フット ブレーキを踏んで、セクター レバーを正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセクター レバーが **P** または **N** 位置から動いてギヤに入ってしまった場合 (故障または誤った操作で)、そのギヤも点滅しますが、動力伝達は発生しません。

- ▶ 発進するには、ブレーキペダルを踏み、セクター レバーを再び **P** または **N** から希望のトランスミッションレンジに入れてください。

インストルメント クラスタのセクター レバー位置 **R** または **D** が点滅する

動力は伝達されません。

- フット ブレーキを踏まずにセクター レバーが切り替えられた。
- 最高許容速度以上でセクター レバーが **R** にシフトされた。
- 運転席ドアが開いた状態で車両が駐車または操作された。

法的な理由で、ブレーキペダルとアクセルペダルに動きがない場合は2秒後に、エンジンとトランスミッション間の動力伝達は遮断されます。

- ▶ ブレーキペダルを踏み、セクター レバーを **P** または **N** から再度希望するギヤに入れてください。

セクター レバー位置

P-パーキングロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキング ロックをかけてください。
セクター レバー ポジション **P** が点滅している場合、パーキング ロックはかかっています。車両が動き出す可能性があります。
- ▶ セクター レバーを再び **R** から **P** の位置に入れてください。

R-リバースギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキがかかっている状態でシフトしてください。

N-ニュートラル

けん引するときや自動洗濯機を使用するときなどは、セクター レバーを **N** の位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドリング状態の時以外には、セクター レバー位置を **N** にしないでください。
- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、希望の走行位置 (**D**、**M**、**R**) にシフトしてください。

D-オートマチックシフトモード

基本設定 基本的な設定でも PDK にはスポーティなシフトの戦略があります。ギヤシフトは常に俊敏です。

- ▶ 「ノーマル」走行には、セクター レバーを **D** 位置にします。
アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤは自動的に選択されます。
シフトシーケンスとシフトポイントは、走行スタイルに応じて調整されます。

PDK SPORT モードの ON/OFF の切り替え

PDK SPORT モードでは、PDK はさらにスポーティなギヤシフトマップに変化します。シフトアップポイントとシフトダウンポイントが、より高いエンジン回転数に変更されます。PDK SPORT モードでは、シフトシーケンスとシフトポイントは、走行スタイルに応じて適応されます。

- ✓ SPORT または TRACK 走行プログラムで設定された PDK SPORT。

- ▶ 適切な走行プログラムを選択します。

走行プログラムの設定と選択については、以下をご覧ください：

- ▶ 73 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

PKD TRACK モードの ON/OFF の切り替え

PKD TRACK モードは、レース サーキットでの走行用に設計されています。PKD SPORT モードに比べて、PKD がさらにスポーティーに反応します。シフトアップポイントとシフトダウンポイントが、より高いエンジン回転数に変更されます。PKD TRACK モードでは、シフトシーケンスとシフトポイントが走行スタイルに応じて適応されます。

- ✓ TRACK 走行プログラムで設定された PDK TRACK.
- ▶ TRACK 走行プログラムを選択します。

走行プログラムの設定と選択については、以下をご覧ください：

▶ 73 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

PKD TRACK モードでのギヤシフト コマンドの保存

エンジン回転数が高すぎるためにブレーキ中に手動でギヤチェンジを行えない場合、ブレーキペダルを踏んだ時に、これらは PDK TRACK モードに保存されます。シフトダウンは、許容されるエンジン回転数に達するとすぐに実行されます。

- ✓ セレクターレバーが **M** または **D** の位置になっている。
- ✓ PDK TRACK モードが有効である。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ ギヤチェンジをするとエンジン回転数の上限を越えそうである。
- ▶ セレクターレバーを前方に押す (数回) か、左シフトパドルを後方に引きます (数回)。
 - ➡ インストルメントクラスターで目的のギヤが点滅表示します。シフトダウンは、許容されるエンジン回転数に達するとすぐに実行されます。

保存されているギヤチェンジは、ブレーキペダルを離すと削除されます。現在締結されているギヤが維持され、インストルメントクラスターのギヤシフトインジケータに表示されます。

① インフォメーション

ステアリングホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチックシフトモード **D** からマニュアルシフトモード **M** に切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき。
- 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき。
- 急加速のためにシフトダウンしたいとき。

① インフォメーション

インストルメントクラスターのセレクターレバーディスプレイに **D** および **M** が同時に点灯します。

次の場合は、マニュアルシフトモードが維持されます。

- コーナリング時 (横方向の加速度に応じて)
- オーバーランモードのとき。
- 車両が交差点などで停車した場合
- 車両のシフトロジックが1段以上シフトダウンしたとき。

① インフォメーション

次の場合は、マニュアルシフトモードが解除されます。


- 約6秒後自動的に (コーナリング時やオーバーラン (惰性走行) 時以外)
- 発進後

M- マニュアルシフトモード

ステアリングホイールのシフトパドルまたはセレクターレバーにより、7つの前進ギヤのシフトができます。

セレクターレバーが **M** 位置にあるときは、エンジンが最高回転数に達しても自動的にシフトアップされません。

① インフォメーション

暖機フェーズでは、エンジンを保護するために最高回転数が7,000 rpm に制限されます。この間、シンボル  がインストルメントクラスターに表示されます。

最大エンジン回転数に達すると、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。警告音も鳴ります。

- ▶ セレクターレバーが **M** の位置で急加速や追い越しをする場合、エンジン回転数が制限値に達する前の適切なタイミングでシフトアップしてください。



図. 73: マニュアルシフトモード

- ▶ セレクターレバーを **D** の位置から **M** の位置に押ししてください。
 - ➔ **D** から **M** にシフトしても、現在のギヤはそのまま維持されます。
- M** から **D** に切り替えると、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図. 74: シフトパドル付きステアリングホイール

セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ セレクターレバーを前方に押ししてください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

セレクターレバーまたはシフトパドルの連続操作による素早いギヤシフト

- ▶ セレクターレバーまたはシフトパドルをすばやく繰り返し操作することで、対応するギヤ数だけシフトアップまたはシフトダウンできます。
- 変速したときにエンジンの許容回転数(最高回転数または最低回転数)を超える場合は、変速は実行されません。

シフトパドルを使用してN-ニュートラルにシフトする

- ▶ 両側のシフトパドルを同時に引いて保持してください。
 - ➔ トランスミッションは **N** - ニュートラルにシフトします。
- 車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。
- ギヤシフトインジケータの数字が点滅します。

シフトパドルを放すと、再びトランスミッションレンジに入ります。

i インフォメーション

- ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON の場合、クラッチはやさしくつな갑니다。
- エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) を OFF にすると、クラッチはしっかりとつな갑니다。これにより不安定な走行状態が発生する場合があります。

低燃費走行のためのシフトアップインジケータ

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータは、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル

ペダルの踏み込みに応じてこのシフトアップインジケータ ▲ が点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

✓ セレクターレバー ポジション **M**。

- ▶ シフトアップインジケータ ▲ が点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

ローンチコントロールを使用した発進



警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われることや、他の道路利用者に危険が及ぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールはサーキットでの使用をお勧めします。
- ▶ 公道でローンチコントロールを使用するのは、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合だけにしてください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

i インフォメーション

- 最適な機能は、乾燥した道路で、タイヤが作動温度にあるときのみ保証されます。
- 最大加速での発進の場合、通常の発進に比べて構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

ローンチコントロールは停車状態から最大加速で発進することができるシステムです。

PDK 装備車

- ✓ エンジンおよびトランスミッションが作動温度にある。
 - ✓ トラクションコントロール (TC) は ON になっている。
1. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
 2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。
 - ➔ エンジン回転数が約 6,500 rpm に維持されます。
 インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。
 3. 素早くブレーキペダルを解除してください。

i インフォメーション

PDK SPORT モードおよび PDK RACE モードでは、ローンチコントロールで発進した直後のシフトアップ中にエンジンの介入が防止され、スポーティで快適なギヤチェンジが保証されます。エンジンはシフト中もフルパワーで作動し、ギヤチェンジ時のダイナミックトルクの増加をさらに強化します。

マニュアルトランスミッションによる走行

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマット、およびその他の物により、ペダルの可動域が制限されたり、ペダル操作が妨げられたりする可能性があります。

- ▶ フロアマットやその他の物がペダルの可動を妨げることがないようにしてください。



図. 75: シフトレバーのシフトパターン

- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。
- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

i インフォメーション

ギヤチェンジの際には、エンジン回転数を理想的に調整するため、アクセルペダルを踏んだままクラッチをつなぐ/離すことができます。

トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置 **N** は 3 速と 4 速ギヤの中間にあります。

リバース (後退) に入れる

- ▶ ギヤをリバース (後退) に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- ▶ リバースギヤには、ギヤレバーを左にいっぱい動かした後、シフトすることができます。イグニッション ON でギヤレバーをリバース (後退) に入れると、リバースライトが点灯します。

締結ギヤを表示する



図. 76: ギヤばじしよんでいすぶれい

インストルメントパネルのギヤシフトインジケーター **A** (図. 76) には現在挿入されているギヤが表示されません。

シフトアップインジケーターを使用した走行

燃費重視の運転を促すインストルメントクラスターのシフトアップインジケーターは、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてシフトアップインジケータ ▲ が点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータ ▲ が点灯したときは、1段高いギヤにシフトしてください。

エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。


加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア(レッドゾーン)に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

情報

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転(オーバーレブ)が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

① インフォメーション

暖機フェーズでは、エンジンを保護するために最高回転数が7,000 rpmに制限されます。この間、インストールメントパネルには、 アイコンが表示されます。

最大エンジン回転数に達すると、インストールメントパネルに警告メッセージが表示され、さらに警報が鳴ります。

- ▶ 加速や追い越し時は、エンジンが最高回転数に達する前に1段高いギヤにシフトアップしてください。

自動スロットルブリッピング機能

スロットルブリッピング機能がONになっているときは、エンジン回転数を最適に調整するため、シフトアップ時とシフトダウン時にエンジン回転数補正が行われます。これにより、負荷変化時の車両安定性が向上します。

- ▶  ▶ 走行Auto Blipを選択します

- 機能がONになっています。
- 機能がOFFになっています。

走行プログラムからスロットルブリッピングをONにする

SPORT およびTRACK 走行プログラムでは、該当する走行プログラムを選択したときにスロットルブリッピングがONになるように設定することができます。

走行プログラムの設定と選択に関する情報：

- ▶ 73ページの「走行プログラム」の章を参照してください。
- ▶ 該当する走行プログラムを選択します。

ローンチコントロールを使用した発進



警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われることや、他の道路利用者に危険が及ぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールはサーキットでの使用をお勧めします。
- ▶ 公道でローンチコントロールを使用するのは、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合だけにしてください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

① インフォメーション

- 乾いた路面でタイヤが作動温度に達している場合のみ最適な機能が保証されます。
- 通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

ローンチコントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

マニュアル・トランスミッション搭載車

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
 - ✓ トラクションコントロール(TC)をONにする
 - ✓ 平坦な場所に駐車する
 - ✓ エレクトリックパーキングブレーキを締結しない
1. クラッチペダルをいっぱい踏み込み続けてください。
 2. 1. ギヤ。

3. 素早くアクセルペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
 - ➔ エンジン回転数が約 5,000 rpm に調整されます。
4. クラッチペダルを素早く放してください。

i インフォメーション

クラッチが過剰にスリップすると、トルクが低減されローンチコントロールは解除されます。

スポイラー 一般的な安全に関する指示

格納式リアスポイラー

- ✓ 対象：ツーリングパッケージ付きの 911 GT3



警告

展開式リアスポイラーの故障

高速走行時にリアアクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



注意

リアスポイラーの展開 / 格納

停車中にリアスポイラーを手動で展開 / 格納するとき、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リアスポイラーが動く範囲に人や物がないことを確認してください。

情報

リアスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リアスポイラーを持って車両を動かさないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、リアスポイラーを格納してください。

作動原理

リアスポイラーの展開

オートマチックモード

車速および選択した走行プログラムに応じて、リアスポイラーは自動的に展開または格納します。

自動コントロールシステムに不具合がある場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

▶ P. 122

マニュアルモード

イグニッションを ON にした場合、リアスポイラーは PCM から手動で展開および格納することができます。

リアスポイラーの展開 / 格納

手動展開 / 格納

▶ ▶ ▶ ▶ スпойラー展開済み。

- スポイラーが展開しています。
- スポイラーが収納されています。



ライト

ライトの概要説明

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 77: ライトコントロールパネル

希望する操作	操作方法	操作箇所
オートマチックヘッドライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動ボタンを押します。 自動ボタンが赤く点灯します。 自動ライトコントロールとポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) がオンになります。	▶ P. 84
パーキングライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ボタンを押してください。 ライセンス プレート ライト、インストルメント照明、およびサイド ライトが ON になります。	-
ロービームを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 作動待機が ON になっている ▶  ボタンを押してください。 ロービームが ON になります。自動ライトコントロールとデイトタイム ドライビング ライト、ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) がオフになります。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
リヤフォグライトをONにする	▶ (F) ボタンを押してください。	—
エクステリアライトを完全にOFFにする	▶ (OFF) ボタンを約2秒間押してください。 自動ボタンが消灯します。すべてのエクステリアライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには完全に消灯したままです。	▶ P. 84

一般的な安全に関する指示



警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。



警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを使用して走行するときの注意の欠如

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時はたとえば周囲の明るさ、視界、交通状況などに応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、ライトが暗い道路利用者がいる場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道
- 明かりが少ない市街地
- 道路標識などの強い反射がある場合
- カメラ部分のフロントウインドウが曇っている、汚れている、凍結している、あるいはステッカーで塞がれている場合

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。


オートマチックヘッドライト / エクステリアライトのON/OFFの切り替え

オートマチックヘッドライトをONにする

- ▶ (AUTO) ボタンを押してください。
▶ オートマチックヘッドライトがONになります。

次のような状況では、ロービームは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

ロービームがONのときは、インジケーターライトが  インストルメントパネルで点灯します。



インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧の場合には、ロービームとリヤフォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリアライトを完全にOFFにする

- ▶ (OFF) ボタンを約2秒間押してください。
▶ (OFF) ボタンのインジケーターライトが消灯します。

次のような状況では、自動ヘッドライトは再度ONになります(国により異なる)：

- 10 km/h 以上の速度。
- エクステリアライトをOFFにした後 100 m 以上走行した場合。

雨機能

ワイパーの連続作動が検出されると、ロービームが自動的に ON になります。ワイパーが一時停止すると、ロービームが OFF に戻ります。

i インフォメーション

気温と湿度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。

この曇りは十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

ライト機能を使用

オートマチックカミングホームライトの調整

- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。

一定時間、以下の車両ライトが点灯したままになり、暗闇の中で車両に乗降するときのドライバーの視認性が高まります。

- デイタイムドライビングライト
- ロービームカーテシー (PDLS Plus)
- 開いた状態の格納式ドアミラーのドアカーテシーライト
- フロントおよびリアの車幅灯
- ライセンスライト

イグニッションが ON、またはオートマチックヘッドライトが OFF になると、再度 OFF になります。

遅延消灯の時間は PCM で設定できます。

- ▶ **⚙** ▶ 設定 **🚗** ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ フェードアウト

LEDヘッドライト装備のポルシェダイナミックライトシステム (PDLS)

- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。

ダイナミックコーナリングライト

速度が約 5 km/h を超えると、走行速度とステアリングホイールの角度に応じて、ロービームまたはハイビームヘッドライトがカーブ方向に向きます。

状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (国別仕様) により、ロービームおよびハイビームヘッドライトの配光は、市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応します。

悪天候のライト

リアフォグライトが点灯した状態で速度が約 60 km/h 未満になると、ロービームの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

LEDマトリックスヘッドライト搭載のポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)

- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。

LEDマトリックスヘッドライト搭載の PDLS Plus には、LEDヘッドライト搭載の PDLS の機能も含まれています。

▶ 85 ページの「ライト機能を使用」の章を参照してください。

ダイナミックハイビーム



図. 78: フロントウィンドウカメラ

ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A (図. 78) により光源や他の通行者を検出することができます。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントを有効または無効にすることができます。車両の前方周囲のビームは低く、残りは高いままです。これにより他の通行者が眩惑することなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。

ダイナミックハイビームは、車速が 30 km/h ~ 60 km/h のとき、ナビゲーションデータに応じて ON または OFF にされます。カメラが街路灯を検出すると、フルハイビームライトからロービームに切り替わります。

i インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること:

- ▶ ルームミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
- ✓ 前走車。
- ▶ 運転中に追い越し場合、方向指示灯を作動させてください。
 - ➔ 前方走行車両の隣の領域が明るく照らされます。これにより、前方の道路が見やすくなります。

ターンシグナルがOFFになった場合または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動的に再びOFFになります。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
- ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。

走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようになります。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

交通標識の防眩機能

- ✓ ダイナミックハイビームがONになっている。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって(特にハイビームを使用して運転する際)ドライバーが眩惑する場合があります。

交通標識の防眩機能により、ヘッドライトの各LEDセグメントが短時間的確に減光されます。おかげで、ドライバーが交通標識やプレートの反射光に眩惑されにくくなります。

オートマッチックヘッドライト較正

- ✓ 車両の直ぐ近くに障害物はありません。
- ✓ 車両が壁などの照射面に対して可能な限りまっすぐ配置されていること(距離 >5 m)。
- ✓ 基準走行中の停止時にロービームは作動します。

状況が適切だと、自動ヘッドライト較正は自動的に開始します(アンビエントライト、照射対象の表面が適切)。ヘッドライトのLEDセグメントは較正中、右から左へ繰り返し自動的に作動および停止し、カメラA(図. 78)により検出されます。

較正はヘッドライトアライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

方向指示灯 / ハイビームレバーの操作

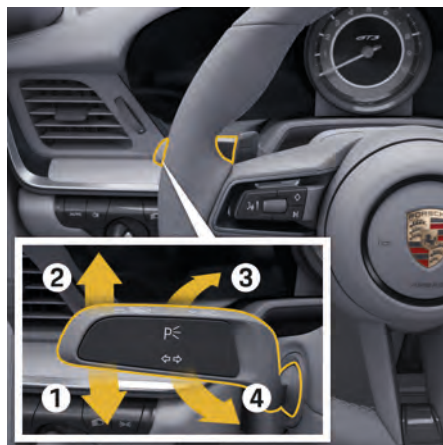


図. 79: 方向指示器、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示器 / 左側パーキングライト
- 2 方向指示器 / 右側パーキングライト
- 3 ハイビーム / ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

方向指示器の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** (図. 79) まで操作レバーを押してください。方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。


コンフォート方向指示

- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** (図. 79) まで操作レバーを1度押してください。
 - ➔ 方向指示器が3回点滅します。
- ▶ コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。


ハイビームヘッドライトの点灯/消灯

- ✓ ポルシェダイナミックライトシステムプラス(PDLS Plus) 非装備車
-または-
ハイビームアシスト / ダイナミックハイビームが停止している。

ONにする

- ▶ レバーを **3** (図. 79) 段階目まで1回動かしてください
 - ➔ インジケータライト  点灯しているときのみです。



OFFにする

- ▶ レバーを **4** (図. 79) 段階目まで1回引いてください。
 - ➔ インジケータライト  が消灯します。


ダイナミックハイビームのON/OFFの切り替え

- ✓ LEDマトリクスヘッドライト搭載のポルシェダイナミックライトシステムプラス(PDLS Plus)
- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。
- ✓ ダイナミックハイビームが作動しています。
▷ 143ページの「車両設定」の章を参照してください。

有効にする


- ▶ レバーを**3**(図. 79)段階目まで1回動かしてください
 - ➔ インジケーターライト  点灯しているときのみです。他の車両の位置、スピードなどのさまざまな要因に応じて、ハイビームヘッドライトの各LEDセグメントが点灯したり消灯したりします。
- ハイビームヘッドライトが作動している場合、インジケーターライトが点灯 .

無効にする


- ▶ レバーを**4**(図. 79)段階目まで1回動かしてください。
 - ➔ ダイナミックハイビームを無効にすることができるのは、インジケーターライトが  点灯しているときのみです。

手動でONにする


ダイナミックハイビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

- ▶ レバーを**3**(図. 79)段階目まで2回動かしてください
 - ➔ インジケーターライト  点灯しているときのみです。

手動でOFFにする

- ▶ レバーを**4**(図. 79)段階目まで1回引いてください。
 - ➔ インジケーターライト  が消灯します。

ヘッドライトパッシングを操作する

- ▶ レバーを**4**(図. 79)段階目まで軽く1回引いてください。
 - ➔ インジケーターライト  が短時間点灯します。

パーキングライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションをOFFにする
- ▶ 抵抗を感じる位置**2**(図. 79)または**1**まで操作レバーを押すと右または左側のパーキングライトが点灯します。
 - ➔ パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとインストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

ハザードライトのON/OFF

 **危険** 衝突の危険

危険な場所で停止すると衝突の危険があります。

- ▶ 安全かつ適切な場所で停車してください。
- ▶ 車両から離れてください。
- ▶ ハザードライトをオンにして、停止表示板を設置します。



図. 80: ハザードライトのON/OFF

ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのボタンを押してください。
 - ➔ すべての方向指示器とボタンが点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約70 km/h以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザードライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキライトが点滅します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。




事故後のハザードライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザードライトが自動的に作動します。

トラベルモードの作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。変更後は、イグニッションを ON にするたびにインストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

自動的に変更が行われない場合：

- ▶  ▶  ▶ **設定** ▶  ▶ **車両** ▶ **ライトと視界** ▶ **エクステリアライト** ▶ **反転**
- ▶ 帰国するときは、ヘッドライトを元の設定に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

車両のエクステリアライトおよびインテリアライトには LED が取り付けられています。LED は個別に交換できません。

ライトの取り外しおよび取り付けには、大きな労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとライトの交換または修理は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

情報

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライトにカバー (ストーン ガードやフィルムなど) を装着しないでください。

フロントアクスルリフトシステム ポジション

フロントアクスルリフトシステムによって、フロントエンド (フロントスポイラーの前端部) を約 40 mm 上昇させることができます。これにより、地下駐車場への乗り入れや減速帯を乗り越えるときなどに起こる可能性のあるボディの損傷を防ぐことができます。

作動条件および挙動

- フロントアクスルリフトシステムは、エンジンが作動している状態で停車しているとき、または車速が約 35 km/h 以下 (国によっては約 60 km/h 以下) のときにシステム制限の範囲内で作動します。
- システム制限を超える速度では、車両が自動的に再び通常のレベルに下降します。
- 車両を上昇させると、フロントアクスルのダンピング特性が変化し、ステアリングを操作する際にフロントアクスル周辺からノイズが発生することがあります。
- 気温が約 -10 °C を下回ると、車両前部を完全に上昇させるまでの時間が長くなります。ノイズも大きくなる恐れがあります。

車両前部の上昇と下降

車両前部を上昇させる

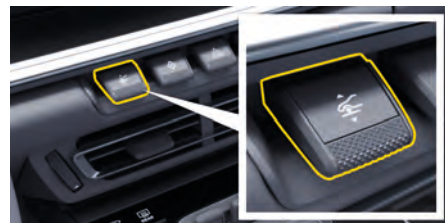


図. 81: リフトシステム用ボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 𠂇 ボタンを押してください。
- ➔ 車両前部が上昇します。
ボタンが赤色に点滅し、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に上昇すると、

- ボタンは赤色に点灯します。
- インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

情報

車両前部の意図しない下降により、損傷が起こる恐れがあります。

システムによっては、エンジンが作動していない場合、しばらくすると車両前部が自動的に下降します。

- ▶ 必ず下降させた状態で駐車してください。

車両前部を下降させる

- ✓ すべてのドアが閉じている
- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 𠂇(図. 81) ボタンを押してください。
- ➔ 車両前部が下降します。
ボタンが赤色に点滅し、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に下降すると：

- ボタンの赤色ライトは消灯します。
- インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

① インフォメーション

下降中にドアを開くと、車両前部が自動的に再び上昇します。

情報

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 障害物の上などで車両を下降させないでください。

リフト システムの故障

フロント アクスルリフト システムに故障が発生すると、インストルメント クラスターに表示されます。
▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

自動リフト機能

自動リフト機能は、場所に応じて車両前部を自動的に上昇させるために使用されます。

情報

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。適切な速度で走行するなどの安全運転に努めるのはドライバーの責任です。自動リフト機能はドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

リフトが完全に展開した状態であっても、不適切な速度で走行しているときには障害物との接触を防ぐことができません。

保存された位置が認識されず、自動リフト機能が作動しない状況が発生する可能性があります。

リフト システムに故障がある場合、自動リフト機能を作動することができません。

- ▶ 登録した位置に近づくと、車両前部が上昇していることを確認してください。
- ▶ 適切な速度で障害物乗り越えてください。

自動リフト機能の登録

障害物に初めて近づくと、フロント エンドリフト機能を手動で開始し、位置を保存する必要があります。

1. 𠂇 ボタンを押してください。

2. タッチディスプレイで**保存**をタップします。

- ➔ PCM に位置が保存されたことを示すメッセージが表示されます。

① インフォメーション

往路と復路など、障害物への接近経路が複数ある場合は、すべての接近経路で障害物に接近して位置を保存する必要があります。

① インフォメーション

自動リフト位置は、車両のすべてのユーザー プロフィールに保存されるため、すべての車両ユーザーが確認できます (個人のユーザー プロフィールにはリンクしません)。

- ▶ 車両を販売する前には、保存したリフト位置を削除してください。

自動リフト機能の実施

車両前部を自動的に上昇させる

- ✓ 自動リフト機能が作動している。
- ✓ 自動リフト機能に位置が登録されている。
- ✓ 速度がシステム制限内。

保存された位置に近づくと、車両前部が自動的に上昇します。インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

① インフォメーション

自動リフト中に 𠂇 ボタンを押すと、自動リフト機能は中断されます。PCM タッチ ディスプレイにメッセージが表示されます。

車両前部を下降させる

- ▶ 左 ボタンを押してください。
 - または -
- リフトシステムのシステム制限を超える速度での自動制御。

自動リフト機能の設定

この機能はPCMで作動/停止を切り替えることができます。保存した位置は名前の変更や削除ができます。

▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ スマートリフト

パークアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内不在であることを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

▲ 警告

センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意

不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に応じた適切な運転を心がけてください。

システム制限

外部の超音波を発する機器 (他車のエアブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出を妨げる場合があります。

システムは以下を検出できません。

- 音波を吸収する障害物 (例: 冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する障害物 (ガラス面やなめらかな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (細い支柱など)。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

機能

ドライバーが駐車操作をしているとき、パークアシストは車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

車両の後方の障害物がPCMに色別によりフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

距離測定



図. 82: 距離測定用超音波センサー

リアバンパーの超音波センサー A(図. 82) が、最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。警告音の音量は PCM で設定できます。

▶ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

パークアシストの作動および停止

パークアシストの作動

自動作動

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ✓ リバース (後退) ギヤに入っていること。
- または -
車両の後退が検出されていること。

PCM の表示



図. 83: パークアシストの表示

カラー	リア側の距離
オレンジ	< 180 cm
赤	< 40 cm
赤 + 連続音	< 30 cm

記号	意味
✗	現在の駐車操作でパークアシストを無効にします。再度トランスミッションレンジ R に挿入すると、有効な状態に戻ります。

P オーディオ再生を OFF にします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

パークアシストの停止

手動での停止

- ▶ PCM で ✗ をタップします。

自動停止

- ✓ PDK 装備車: セレクターレバーが P 位置になっていること。
- または -
リバース ギヤから前進ギヤへの変更。

パークアシストの音量調整

- ▶ ▶ 車両 ▶ アシスト ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ パークアシスト

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

一般的な安全に関する指示

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

Porsche Active Suspension Management (PASM) システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブルダンパーシステムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2 種類のシャーシ設定を選択できます。

- 「スポーツ シャーシ」
- 「トラック シャーシ」

スポーツ モードでは、シャーシは基本設定になり、一般道および「平坦ではない」レース サーキットに適しています。

トラック モードでは、特に高いドライビング ダイナミクス (平坦なレース サーキットなど) にダンパー設定が行われます。

走行状況に合わせて、マニュアル モードに加えて、PASM もショック アブソーバー設定を調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

SPORT および TRACK 走行プログラムは、これらの走行プログラムが選択されたときに「トラック シャーシ」が有効になるように設定できます。




走行プログラムの設定と選択については、以下をご覧ください：

▷ 73 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

PASM モードの選択



図. 84: スイッチ パネルの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2.  ボタンを (何度も) 押します。
 -  ボタンが赤色に点灯しない：「ノーマル シャーシ」(標準設定)。
 -  ボタンが赤色に点灯する：「スポーツ シャーシ」の選択。

インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージへの対応

PASM 故障はインストルメント クラスターに表示されます。

▷ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)

一般的な安全に関する指示



警告

車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的境界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSM の利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

機能説明

Porsche Stability Management (PSM) は、極端な条件での運転時に車両を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジン始動時に自動的に有効になります。PSM は、アンチロック ブレーキシステム (ABS)、エンジン ドラッグトルク コントロール (MSR)、トラクションコントロール (TC)、走行安定性コントロール (ESC)、油圧ブレーキ アシスト (HBA)、オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) のサブシステムで構成されます。

- ▶ PSM を「ノーマル」走行で常に ON にする必要があります。これは特に濡れた道路に当てはまりません。

以下のイベントにより、ドライバーに以下のことが知らされます PSM コントロールの作動：

- インストルメント クラスターの PSM 警告灯 が点滅します
- 油圧作動音が聞こえることがあります
- 車両が減速し、ステアリング ホイール力が PSM のブレーキ コントロールに伴って変化します
- エンジン出力が減少します。
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、ブレーキ ペダルにパルス振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD)

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

トラクション コントロール (TC)

アンチスリップコントロール システムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

エンジン ドラッグトルク コントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい状況では、エンジン ドラッグトルク コントロール システムが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

PSM の操作

PSM を OFF にする



警告

PSM アシスタンスなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況での PSM によるサポートは行われなくなります。

- ▶ 「ノーマル」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。

ただし、次の例外的な状況では、一時的に PSM を OFF にすると効果があります。

- 柔らかい路面や深い雪道を走行する場合。
- 「車両を揺らして脱出する」とき。

PSM は、以下の 2 段階で OFF にできます：

- ステージ 1： **ESC OFF**：
エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) を OFF にします。
- ステージ 2： **ESC + TC OFF**：
さらに、トラクションコントロール (TC) も OFF にします。

TRACK 走行プログラムは、走行プログラムが選択されたときに ESC または ESC + TC が OFF になるように設定できます。

走行プログラムの設定と選択については、以下をご覧ください：

- ▶ 73 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

Electronic Stability Control (ESC) を OFF にする



図 85: スイッチパネルの ESC OFF ボタン

- ✓ ESC + TC OFF ボタンのインジケータ ライトが消灯している。
- ▶ ^{ESC OFF} ボタンを押してください。
 - ➔ 若干の遅れの後 Electronic Stability Control (ESC) が OFF になります。ボタンのインジケータ ライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯が点灯します。エレクトロニックスタビリティコントロールが OFF になっていることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。警告音も鳴ります。

i インフォメーション

- Electronic Stability Control (ESC) のブレーキ介入が無効になります。
- ABS は引き続き有効です。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) を ON にする

- ▶ ^{ESC OFF} ボタンを押してください。
 - ➔ エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が直ちに有効になります。ボタンのインジケータ ライトとインストルメントクラスターの PSM OFF 警告灯が消灯します。エレクトロニックスタビリティコントロールが有効になっていることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) を OFF にする



図 86: スイッチパネルの ESC/TC OFF ボタン

- ▶ ^{ESC/TC OFF} ボタンを約 1 秒間押し続けてください。

Electronic Stability Control (ESC) および Traction Control (TC) は完全に OFF になります。

ボタンのインジケータ ライト、インストルメントクラスターの PSM OFF および TC OFF 警告灯が点灯します。

Electronic Stability Control と Traction Control が OFF であることを示す警告メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。警告音も鳴ります。

i インフォメーション

- すべての PSM 機能が無効になります。
- ABS は引き続き有効です。
- ESC+TC OFF ボタンを使用して、直接 PSM を無効にした場合、ESC OFF ボタンのインジケータ ライトも点灯します。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) およびトラクションコントロール (TC) を ON にする

- ▶ ^{ESC/TC OFF} ボタンを押してください。
 - ➔ 直ちに PSM が ON になります。ボタンのインジケータ ライトとインストルメントパネルの PSM OFF および TC OFF 警告灯が消灯します。Electronic Stability Control と Traction Control が ON であることを示す警告メッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

① インフォメーション

PSM が OFF である場合、Traction Control (TC) を個別に ON にすることができます：

- ▶ ESC OFF ボタンを押してください。
Traction Control {TC} が直ちに有効になります。
ESC ボタンのインジケータライトとインストルメントクラスターの TC OFF 警告灯が消灯します。エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) は OFF のままになります。

ABS ブレーキシステム (アンチロック ブレーキシステム)



警告

車両コントロールの喪失

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABS の特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避：タイヤのフラットスポットを回避できます。

ポジション

ABS の決定的なメリットは、危険な状況で走行安定性と車両の操作性を維持できることにあります。

ABS は、フルブレーキをかけた際に、実質的にあらゆる路面において車両が停止する直前までホイールがロックすることを防ぎます。

ホイールが 1 本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようという警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ ブレーキをかける際、ブレーキペダルが小刻みに動いても、ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関する情報：

- ▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 102 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

フロント ウィンドウワイパー

概要

この概要説明は「フロント ウィンドウワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 87: フロント ウィンドウワイパー レバー



図. 88: レインセンサー / 間欠作動感度の切り替えスイッチ A

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロント部のワイパーを自動で作動 (レインセンサー / 間欠作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置にしてください。	P. 97
レインセンサー / 間欠作動の感度設定	▶ スイッチ A を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 向きに押ししてください。	P. 97

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロントワイパー作動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 低速：操作レバーを押して2の位置にしてください。 ▶ 高速：操作レバーを押して3の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ：操作レバーを短く押して4の位置にしてください(4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。 	P. 97
フロントワイパーとウォッシャー作動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 操作レバーをステアリング ホイール方向5に引いて、保持してください。 	P. 97
フロントワイパー サービス ポジション アイスまたはサンシールドの装着とワイパー ブレードの交換	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパー レバーを4の位置に1回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約90°移動します。 	P. 97

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ワイパーの不意の作動

フロントウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レインセンサーモードでは、フロントウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロントウィンドウワイパーをOFFにしてからフロントウィンドウを清掃してください。

情報

ボンネット、フロントウィンドウ、およびワイパーシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロントウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパーブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ [レインセンサー機能により] 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロントウィンドウワイパーをOFFにしてください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 122ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

フロントワイパーの操作



図. 89: フロントウィンドウワイパーレバー

0 フロントウィンドウワイパー-OFF

フロントワイパーまたはイグニッションを OFF にすると、ワイパーアームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパーブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レインセンサー / 間欠作動、フロントワイパー

- ▶ ワイパーレバーを最初の位置にまで動かします。

2 フロントワイパー-低速

- ▶ ワイパーレバーを2番目の位置にまで動かします。

3 フロントワイパー-高速

- ▶ ワイパーレバーを3番目の位置にまで動かします。

4 フロントワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパーレバーを押下げます。フロントワイパーがワイプサイクルを1回実施します。

5 フロントワイパー / ウォッシャーシステム

- ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールの方向に引いてください。ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

① インフォメーション

- ▶ フロントウィンドウが非常に汚れている場合は、洗浄プロセスを繰り返します。
- ▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

フロントウィンドウワイパーブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

▶ 190 ページの「ワイパーブレードのお手入れ」の章を参照してください。

ワイパー作動間隔の設定



図 90: レインセンサー / 間欠作動の切り替えスイッチ A

レインセンサー非装備車では、フロントウィンドウワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます:

ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチ **A** を上方向に押してください。
 - ➔ フロントウィンドウワイパーが1回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチ **A** を下方向に押してください。

レインセンサー作動の調節

レインセンサー装備車の場合、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔を自動調節します。

フロントワイパーを ON にしているときに速度が約 4 km/h 以下になると、レインセンサーが自動的に作動します。

速度が約 8 km/h を超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

① インフォメーション

- イグニッションを ON にしたとき、ワイパーレバーがすでに **1** の位置にあった場合、速度が 4 km/h を超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションを ON にしたときに、すでにワイパーレバーが **2** または **3** の位置にある場合、フロントウィンドウワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

① インフォメーション

ラゲッジコンパートメント リッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーを ON にするには、フロントワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レインセンサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます:

- ▶ スイッチ **A** を上に押してください - センサー感度が上昇します。
 - ➔ フロントウィンドウワイパーが1回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。
- ▶ スイッチ **A** を下に押してください - センサー感度が低下します。

ワイパー ブレード

情報

ワイパーアームを誤ってフロントウィンドウに勢をつけて戻すと、フロントウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。

情報

ワイパーブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパーブレードを溶かしてください。

ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードは年に2回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。



注意

正しく取り付けられていないワイパーブレード

適切に交換しない場合、正しく取り付けられていないワイパーブレードが走行時にゆるむ可能性があります。

- ▶ ワイパーブレードはワイパーアームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

フロントウィンドウワイパーブレードの交換

ワイパーの展開

✓ イグニッションを OFF にする

1. ワイパーレバーを1回押し下げてください(位置4)。
➡ フロントウィンドウワイパーが上方に約90°移動します。
2. メーカーの取扱説明書(別冊)に従い、ワイパーブレードを交換してください。ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

✓ 作動待機が ON になっている。

- ▶ ワイパーレバーを約2秒間押し下げます(位置4)。
➡ フロントウィンドウワイパーが通常位置に戻ります。

インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズコントロール

一般的な安全に関する指示



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態(冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など)ではクルーズコントロールを使用しないでください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 122ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

クルーズコントロールを使用すると、約30 km/h – 240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

インフォメーション

- 対象：PDK 装備車：アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ介入機能は、(特に下り坂などで)設定速度を維持するため、自動的に作動します。
- 対象：マニュアルトランスミッション装備車：ギヤチェンジ中にクラッチペダルを踏み込んでもクルーズコントロールは中断されません。

ディスプレイおよびコントロール 各操作部

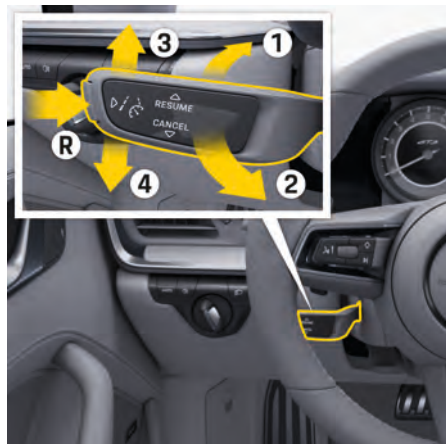


図 91: クルーズコントロール操作レバー

- R** クルーズコントロールの ON/OFF
1 設定速度の設定 / 加速
2 設定速度の減速
3 再開: コントロールの再開
4 中断: コントロールのキャンセル

ディスプレイ ステータス表示シンボル

記号	意味
	クルーズコントロールが停止中です。
	クルーズコントロールが停止中です。コントロールがキャンセルされ、目標速度が表示されます。
	クルーズコントロールは、設定目標速度で有効になります。

クルーズコントロールスタンバイを ON に切り替える

ON になった時点でクルーズコントロールは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

クルーズコントロールを ON にする

- ▶ コントロールレバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➔ アダプティブクルーズコントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

インフォメーション

イグニッションを OFF にしてから再度 ON にした後も、クルーズコントロールスタンバイが再度有効になります。

クルーズコントロールを OFF にする

- ▶ コントロールレバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➔ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

クルーズコントロールの作動

- ✓ クルーズコントロールが ON になっています。
 - ✓ 速度が 30 km/h を超過しています。
1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
 2. レバーを前方 (**1** の位置) に短く押します。
 - ➔ クルーズコントロールが**作動**します。
- ➔ 現在の速度はステータスディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

クルーズコントロールの使用

目標速度の変更

目標速度は、コントロールレバーを押すことで調整できます。

- ✓ クルーズコントロールが作動しています。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを前方 (位置 **1**) に押します。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位で速くなる

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます (位置 **2**)。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位で遅くなる
 - ➔ 新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

① インフォメーション

アクセルペダルを使用して加速することができます。こうしても保存された値は変更されません。アクセルペダルから足を離すと、保存された値がリセットされます。

クルーズコントロールのキャンセル - キャンセル

クルーズコントロールを停止するとスタンバイモードに切り替わります。手動で再度作動されるまで、スタンバイ状態のままになります。

- ▶ コントロールレバーを下方 (位置 4、CANCEL) に押します。
 - または -
 - ブレーキペダルを踏みます
 - または -
 - クラッチペダルを約 7 秒以上踏み続けます (マニュアルトランスミッション装備車)。
 - または -
 - セレクターレバーを位置 N に動かします (PDK 装備車)。
- ➔ クルーズコントロールが停止中です。目標速度の設定値は保存されたままです。ステータスディスプレイが緑色からグレーに変わります。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます。

- 車両が設定速度以上または未滿の速度で一定時間走行している。
- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) が有効。

クルーズコントロールの再開 - RESUME

- ▶ コントロールレバーを上方 (位置 3、RESUME) に押します。
 - ➔ クルーズコントロールは、設定速度になるまで加速するかブレーキをかけます。

ディスプレイ



図. 92: インstrument パネルの交通標識表示

- | | |
|----------|--------|
| A | 主要交通標識 |
| B | 補助標識 |
| C | カーブ警告 |

Instrument クラスタに、補助標識 **B** を含む主要交通標識 **A** を最大 3 個まで表示することができます。最も優先度の高い交通標識が左側に表示されます。

カーブ警告画面 **C** は急カーブの約 150 m 前で出され、そのカーブを通過するまで表示されます。

交通静音化対策地域または住宅街では、「5 km/h」と表示されます。

交通標識のない高速道路や (中央分離帯のある) 幹線道路の入口 / 出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

イグニッションを ON にすると、有効な最新の制限速度が Instrument クラスタに表示されます。速度制限が発出されないか、現在地で交通標識の認識機能を使用できない場合は、Instrument パネルに通知が表示されます。

▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

表示および入力

インストルメント パネル

インストルメント パネルの概要

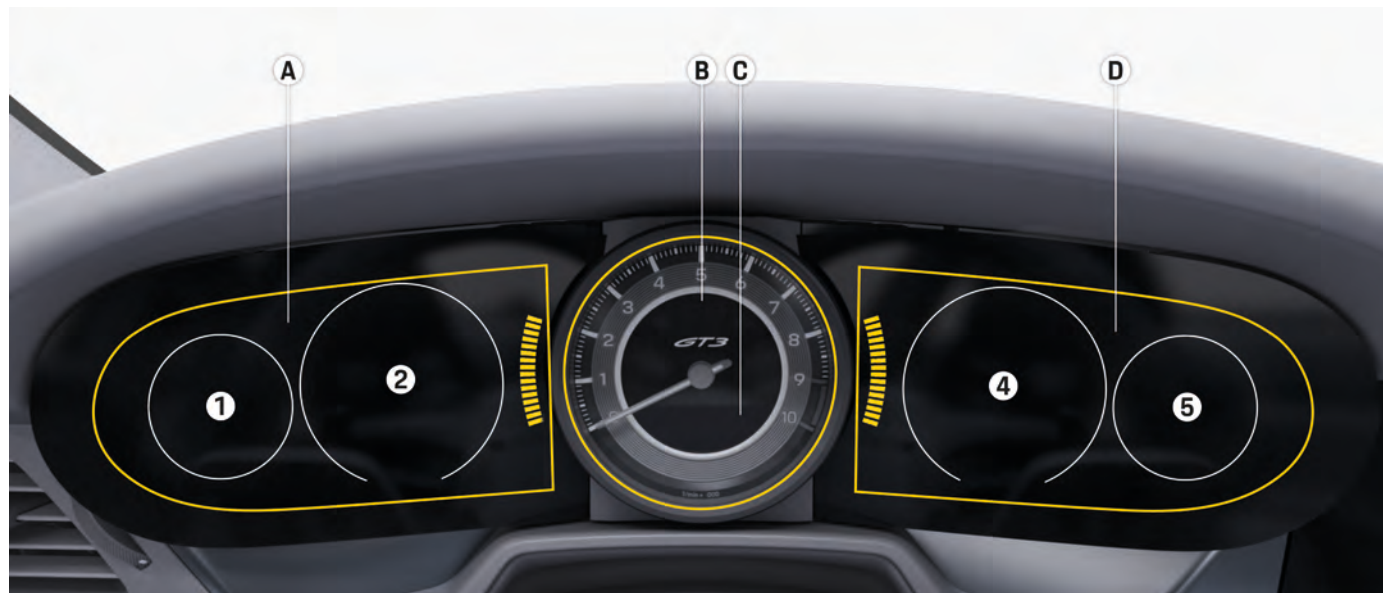


図. 93: インストルメント パネル

インストルメント パネルでは2種類の異なるビューを選択できます。広範囲の設定が可能なクラシックビューに対し、Track ビューでは重要な情報のみが表示されます。

▶ 105 ページの「インストルメント パネルの表示項目」の章を参照してください。

A – 速度 & アシスト画面

クラシック ビューでは時刻、外気温度、速度、走行距離 / 区間走行距離、ナビゲーション、アシスト走行に関する情報がチューブ 1 と 2 に表示されます。

Track ビューでは、速度 & アシスト画面にタイヤ空気圧、クーラント温度、走行距離 / 区間走行距離に関する情報が表示されます。

クラシック ビューにおける速度 & アシスト画面の設定：

▶ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

Track ビューに関する情報：

▶ 105 ページの「インストルメント パネルの表示項目」の章を参照してください。

B-タコメーター(回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

Track ビューでは、タコメーターの左右にシフトアップインジケータが表示されます(PDK 装備車ではセレクトレバー位置 **M** のみ)。

C-デジタルスピードメーター/パワー&ドライブ画面

速度、セレクトレバーの位置および締結ギヤに関する情報は、デジタルスピードメーターに表示されています。

D-車両&情報画面

クラシック ビューでは、走行プログラム、車両ステータス、ナビゲーション、アシスタンス システム、およびドライバー アシスタンスに関する情報がチューブ **4** と **5** に表示されます。

Track ビューでは、速度 & アシスト画面にオイル温度/オイルプレッシャー、フューエル レベル/ 残可走距離、走行プログラムに関する情報が表示されます。

クラシック ビューにおける車両 & 情報画面の設定：
▶ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

Track ビューに関する情報：

▶ 105 ページの「インストール パネルの表示項目」の章を参照してください。

燃料計

情報

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合(上り坂や下り坂の走行など)、表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、残燃料低下警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
▶ 215 ページの「補給」の章を参照してください。


フィルターフラップ位置の表示

- ▶ クラシック ビューの矢印はフィルターフラップがある車両の側を示しています。

水温計

情報

クーラント温度が高すぎるとエンジンが損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。インストール クラスタに警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。運転を続けしないでください。

バーが左部分にあるとき-エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき-通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンを示すことがあります。

バーがレッドゾーンにあるとき-作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。
▶ 182 ページの「クーラント」の章を参照してください。

インストールパネルの操作

▲ 警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確認できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストール クラスタは、イグニッションが ON の時のみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

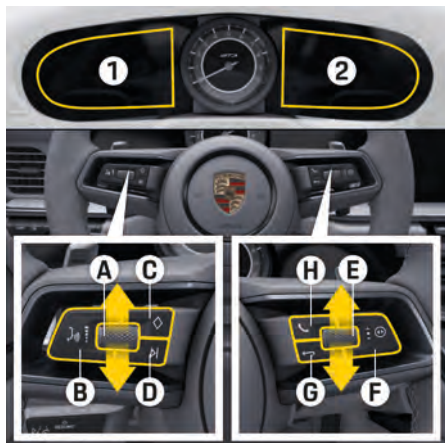


図 94: マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

A- 音量の調節またはオーディオソースのメニュー

- ▶ 音量調節：ロータリーノブ A (図. 94) を上方向または下方向に回します。
- ▶ ミュート：ロータリーノブ A (図. 94) を押します。

B- ボイスコントロールの呼び出し

- ▶ ボタン B (図. 94) を押してください。

C- 保存した機能を呼び出す

ショートカットボタンの割り当て

- ▶ C (図. 94) ボタン (◇ ボタン) を押してください。ステアリングホイールのボタンおよびスイッチパネルのボタンは個別に割り当てることができます。

▶ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

D- 次/前の放送局/トラックを再生する

- ▶ ボタン D (図. 94) を押してください。

E- 速度 & アシスト 1 と車両 & 情報 2 画面でメニューと機能をスクロールして選択

- ▶ スクロール：ロータリーノブ E (図. 94) を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択/入力：E (図. 94) ロータリーノブを押してください。

F- 速度 & アシスト 1 と車両 & 情報 2 画面の操作を切り替える

- ▶ ボタン F (図. 94) を押してください。

① インフォメーション

Track ビューでは F (図. 94) ボタンが機能しません。

G- 車両 & 情報 2 画面のディスプレイで 1 つ以上前のメニューに戻る

- ▶ ボタン G (図. 94) を押してください。

H- 着信を受ける

- ▶ ボタン H (図. 94) を押してください。

オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボルマークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

複数のオプションから 1 つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

機能の有効化および無効化

- 機能は作動しています。
- 機能が無効になっています。

インストルメントクラスターでの調整ビュー

長押しして移動させると、各種車両情報を 4 つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。

▶ ▶ 設定 ディスプレイ ▶ インストルメントパネル ▶ 情報表示設定

次に、インストルメントパネルのカスタマイズビューを選択できます。

▶ 車両 ▶ 表示 ▶ カスタム



図. 95: インストルメント パネルの表示項目

インストルメント パネルの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

クラシック ビュー

チューブ	ディスプレイ	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
1	▶ 時刻、外気温度、日付	デジタルまたはアナログ時計、外気温度、および日付を表示します。表示の選択はPCMで調節できます。	▷ P. 143
1	▶ コンパス	コンパスを表示します。	—
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	—

クラシックビュー			
チューブ	ディスプレイ	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
2	▶ 走行距離および区間走行距離	<p>オドメーター (積算距離計) およびトリップメーターを表示します。トリップメーターは、9,999 km を超えた後、「0」に戻ります。</p> <p>トリップメーターのリセット</p> <p>クラシックビューにて：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションステアリングホイールの右ロータリーノブ E (図. 94) を長押しします。トリップメーターが点滅します。3回の点滅後、トリップメーターは「0」に戻ります。 	—
2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報 (分岐メッセージなど) を表示します。	▶ P. 151
4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▶ P. 164
4	▶ 車両	車両情報を表示します (情報、メッセージ、サービスインターバル、給油レベル)。	▶ P. 108
4	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▶ P. 105
4/5	▶ マップ	地図画面を表示および調整します。	▶ P. 151
4	▶ Sport Chrono	ストップウォッチで時間を計測します。	▶ P. 161
4	▶ G-Force	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	—

クラシックビュー			
チューブ	ディスプレイ	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
4	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリングシステムを表示します。	▶ P. 194
4	▶ 実行	出力とトルクを表示します。	-
4	▶ ギヤシフトアシスト	マニュアルトランスミッション搭載車で、パフォーマンスを重視した走行のためのギヤシフトアシストを表示します。	▶ P. 80
4	▶ 走行プログラム	選択した走行プログラムを表示・設定します。	▶ P. 73
4	▶ Track	Trackビューを表示	▶ P. 107
5	▶ 燃料計と走行可能距離	燃料計と走行可能距離を表示します。	-
5	▶ 水温計	水温計を表示します。	-
5	▶ 目的地までのキロメートル	目的地までのキロメートルを表示します (ルート案内中)。	-

Track ビュー

Track ビューはスポーツモード用に設計されており、重要な情報のみが表示されるようになります。

SPORT および TRACK 走行プログラムでは、該当する走行プログラムを選択したときに Track ビューが表示されるように設定することができます。

走行プログラムの設定と選択に関する情報：

▶ 73 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。



図. 96: Track ビュー

速度 & アシスト画面 **A** (図. 96) には、タイヤ空気圧、クーラント温度、走行距離 / 区間走行距離に関する情報が表示されます。この画面は個別に調整できません。

車両 & 情報画面 **C** (図. 96) には、オイル温度 / オイルプレッシャー、フューエルレベル / 残可走距離、外気温度、走行プログラムに関する情報が表示されます。マルチファンクションステアリングホイールの右ステアリングホイールスポークにあるロータリーノブからは、クロノ、パフォーマンス、G-Force メニューに移動したり、クラシックビューに切り替えることができます。

① インフォメーション

Track ビューはイグニッションを OFF にした後も表示されたままとなります。

トリップメーターのリセット

Track ビューにて：

- ▶ インストルメントパネルでトリップメーターのリセットメニューを選択します。

ギヤシフトアシストによる走行

- ✓ Track ビューのインストルメントパネル。
- ✓ マニュアルトランスミッション装備車
-または-
PDK 装備車：セレクターレバー ポジション M。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、タコメーターの左右にシフトアップインジケータ B が表示されます。ギヤシフトアシストは、黄色のセグメントが増加するグラフィック表示により、次のギヤへとシフト操作を行うタイミングを事前にドライバーに通知します。次のギヤにシフトアップするよう指示が出されるときは、エンジンが最大回転数に到達する直前ですべてのセグメントが青色に点滅します。

ギヤシフトアシストによる走行



図 97: ギヤシフトアシスト/ギヤのシフトアップの例

- ✓ クラシックビューのインストルメントパネル。
- ✓ マニュアルトランスミッション装備車
▶ ギヤシフトアシスト
性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケータが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイ

ミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

次のギヤにシフトアップするよう指示が出されるときは、エンジンが最大回転数に到達する直前、挿入されているギヤ表示の横に + マークが現れ、すべてのセグメントが青色に点滅します。

速度警告を伴うカスタム速度制限の設定

PCM で速度警告を伴うカスタム速度制限を設定し有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、装着しているタイヤの種類に許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

PCM でカスタム速度制限を選択する

1. ▶ 設定 ▶ アシスト走行 ▶ カスタム速度制限
 2. 制限 1 か制限 2 を選択します。
速度を調整するには、 を選択して希望の速度を設定してください。
- ➔ 速度制限が有効になっているときは、インストルメントパネルの速度 & アシスト画面に選択されている速度が赤のマーカで表示されます。
- 速度制限が作動しています。
 速度制限が作動していません。

車両情報の表示

さまざまな車両情報の表示

- ▶ 車両 ▶ 表示 ▶ 車両

希望する車両情報ビューを選択してください。

メッセージの表示

- ▶ 車両 ▶ 通知

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のエリアに表示される警告メッセージは、未解決の重要な警告メッセージの数を示します。

サービスインターバルの表示

- ▶ 車両 ▶ サービス

任意のサービスインターバルを選択します。

次のサービス時期が表示されます。

どらいびんぐでーたのひょうじ (とりつぶじょうほう)

ドライビングデータの表示

PCM とインストルメントパネルには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータを表示することができます。

PCM とインストルメントパネルの操作に関する情報：

- ▶ 103 ページの「インストルメントパネルの操作」の章を参照してください。
- ▶ 117 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

インストルメントクラスターの走行データの表示

車両 & 情報画面にドライビングデータを表示


1. [トリップ]メニューを選択します。
2. リストから表示内容を選択します。

トリップデータのリセット



1. トリップ ▶ リセット
2. リストから表示内容を選択します。

PCMにドライビングデータを表示



トリップデータの表示

1.  ▶  ▶ トリップを選択します。
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

トリップ設定をカスタマイズする

1.  ▶  ▶ トリップ ▶ ... ▶ トリップのカスタマイズ
2. 長押しして移動させることで、各種ドライビングデータを4つのフィールドに割り当てることができます。走行データの1つの項目を複数のフィールドに割り当ててはできません。

トリップデータのリセット

- ▶  ▶  ▶ トリップ ▶ ... ▶ トリップデータをリセットする

警告灯およびインジケータライト

情報

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください：

- ▶ エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。
- ▶ ボルシェ社ではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケータライトが表示されます。



ハイビームのインジケータライト

ハイビームヘッドライトがONになっています。

▶ 83ページの「ライト」の章を参照してください。



ダイナミックハイビームインジケータライト

ダイナミックハイビームアシストがONになっています。

交通状況に応じて自動的にハイビームヘッドライトのONとOFFが切り替わります。

▶ 83ページの「ライト」の章を参照してください。



ロービームインジケータライト

ロービームヘッドライトがONになっています。



リヤフォグライトインジケータライト

リヤフォグライトがONになっています。

▶ 83ページの「ライト」の章を参照してください。



ボルシェダイナミックライトシステムプラス(PDLS Plus)警告灯

ボルシェダイナミックライトシステムプラス(PDLS Plus)が故障しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、すぐにボルシェ正規販売店で修理してください。¹



ライト警告灯

車両のライトが故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**クーラント温度の警告灯**

クーラント温度が高過ぎます。

- ▶ 運転を続けず、適切な場所で安全に停車してください。
- ▶ エンジンを OFF にして冷やしてください。
- ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。クーラントレベルを点検してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▶ 182 ページの「クーラント」の章を参照してください。

**エンジンコントロールシステム警告灯**

車両の走行システムまたは充電システムに不具合が検出されました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**レーストラックモードのインジケーターライト**

タイヤ空気圧モニタリングシステムのレースサーキットモードが作動しています。

公道での走行には、レースサーキットモードを使用しないでください。

**タイヤ空気圧警告灯**

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けられた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。

- ▶ 道路状況に合わせた速度と運転を心がけてください。急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車し、エンジンを停止してください。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてシーラントを追加してください。次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、直ちにポルシェ正規販売店で修理してください。¹

**エレクトリックパーキングブレーキ警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキングブレーキに故障があります。

警告灯が点滅：ブレーキシステムに不具合があります。

- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、すぐにポルシェ正規販売店で修理してください。¹
- ▶ 93 ページの「ポルシェスタビリティマネージメント (PSM)」の章を参照してください。
- ▶ 71 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

**エンジン制御システム警告灯**

車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けず、適切な場所で安全に停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ ロードサイドアシスタンスに連絡し、必要であれば車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯**

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 機能が故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
▷ 92 ページの「ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

**アンチロック ブレーキ システム警告灯**

アンチロック ブレーキ システム (ABS) またはボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しました。ブレーキ ブースターに不具合がある可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 可能な限り、急ブレーキを避けてください。制動距離が長くなることを考慮してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
- ▶ 93 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**パワー ステアリング警告灯**

パワー ステアリングは、故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**中央の警報灯**

少なくとも 1 つの警告メッセージが表示または保存されています。

▷ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**方向指示灯、左****方向指示灯、右****エアバッグ警告灯**

エアバッグ システムが故障している可能性があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。
▷ 40 ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

**シートベルト警告灯**

シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。

- ▶ シートベルトを正しく着用してください。
▷ 59 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

**ブレーキ システム警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキング ブレーキがかかっているか、ブレーキ システムが故障しています。ブレーキ フルード レベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅：パーキング ブレーキに故障があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
▷ 71 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
▷ 181 ページの「ブレーキ フルード」の章を参照してください。

**ブレーキパッドの摩耗を示す警告灯**

ブレーキパッドが摩耗しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。¹
▷ 71 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



ボルシェ スタビリティ マネージメント 警告灯
警告灯が点滅：ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) コントロール プロセス。93 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

警告灯が常時点灯：ボルシェ スタビリティ マネージメントが故障しています。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 過酷な走行条件下では急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、すぐにボルシェ正規販売店で修理してください。¹
- ▶ 93 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



PSM OFF 警告灯

エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) がボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が無効になっています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 93 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



TC OFF 警告灯

トラクション コントロール (TC) が無効になっています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 93 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



HOLD 機能インジケータ ライト

電動パーキング ブレーキが自動的に入ります。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

▶ P. 71



エンジン暖機中のインジケータ ライト

暖機フェーズでは、エンジンを保護するために最高回転数が 7,000 rpm に制限されます。

このシンボルマークはエンジン オイルの温度が約 60 °C になるとすぐに消灯します。



エミッションコントロール警告灯 (チェック エンジン)

汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

エミッションコントロール (チェック エンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション コントロール システムの不具合を解消してください。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

概要説明 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 98: ボリュームスイッチおよびロータリー プッシュ ボタン

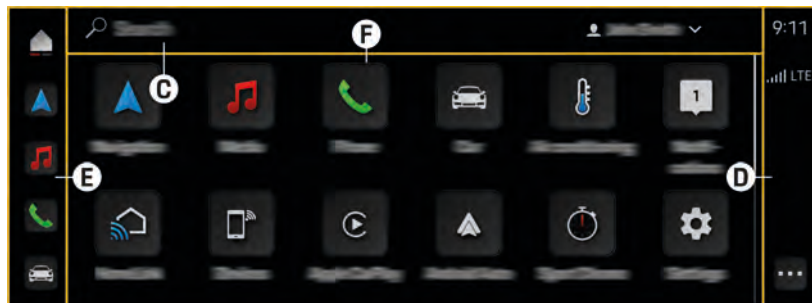














図. 99: タッチ ディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリュームスイッチ A (図. 98) を押してください。	-
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリュームスイッチ A (図. 98) を押し続けてください。	-
音量を調節する	▶ ボリュームスイッチ A (図. 98) を回してください。 - または - マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ (ロータリー ノブ) を回します。 ミュート: マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ A (図. 98) かボリュームスイッチ (ロータリー ノブ) を軽く押してください。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCMの操作	▶ ロータリー プッシュ ボタン B (図. 98) で PCM を操作します。	P. 117
グローバル検索を使用する	▶ 検索エリア C (図. 99) に検索テキストを入力するか、音声入力を使用してください。	—
時間、接続、ステータス シンボル、オプションを表示する	▶ ステータス エリア D (図. 99) を使用します。 ステータス シンボルを選択すると、該当する設定 (イオンナイザー、ガレージ ドア オープナーなど) を直接呼び出すことができます。	P. 117
アプリのカスタマイズビュー	✓  が選択されています。 ▶ ステータス エリア D (図. 99) ... で アプリの並べ替えを変更 をタップします。	P. 147
個人画面を開く	▶ ホーム画面  で左にスワイプします。 MyScreen  が表示されます。	P. 147
個人画面の設定	✓ MyScreen  が表示されます。 ▶ ステータス エリア D (図. 99) ... で MyScreen の設定 をタップします。	P. 147
メインメニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メイン メニュー E (図. 99) とコンテンツおよびインタラクション エリア F (図. 99) を使用します。	P. 116
セットアップウィザードを呼び出す	PCM の初回起動時には セットアップ アシスタント が開き、PCM 設定のための重要なステップが表示されません。 セットアップウィザードを手動で呼び出すには: -  ▶ 設定  セットアップアシスタント	—
プライベート モードを有効/無効にする (一部の国で利用可能)	-  ▶ 設定  ポルシェ コネクト設定 ▶ プライベートモード の順にタップします。	P. 156

希望する操作	操作方法	操作箇所
サービス間隔の表示	<ul style="list-style-type: none">▶  ▶ [サービス] をタップします  をタップします。 次回のサービス時期が表示されます。	-
システムおよび車両設定を変更する	<ul style="list-style-type: none">▶  ▶ 設定  ▶ システム/車両 をタップします。	P. 143
車両情報の表示	<ul style="list-style-type: none">▶  (E (図. 99)を参照) 走行 をタップします。	-
通知を表示する	<ul style="list-style-type: none">▶ コンテンツおよびインタラクション エリア F (図. 99) で  をタップします。	P. 142

セントラルディスプレイ

PCM 表示コンテンツ







ダッシュボードのタッチスクリーン

A – ホーム画面 / MyScreen

▶ 147 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

B – メインメニュー (メイン操作エリア)

メインメニューは次の3つのメインエリアに分かれています。

-  ホーム画面 /  MyScreen
-  ナビゲーション
-  メディア
-  電話
-  車両

アイコンの並び替え

1. メイン操作エリアで任意のアイコンを長押しします。
➔ **並び替えモード**はタップして選択します。
2. アイコンを任意に並び替えることができます。
3. **閉じる**をタップすると、並び替えモードが終了します。

▶ 117 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

メイン操作エリアは個別に設定することができます。

▶ 147 ページの「ホーム画面および MyScreen の設定」の章を参照してください。

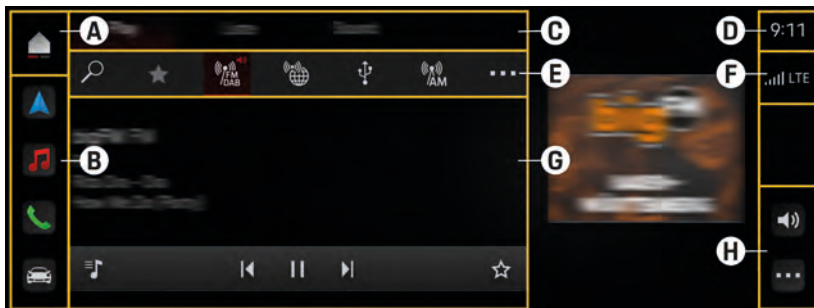


図. 100: ダッシュボードのタッチスクリーン各操作部

C – クイックフィルターバー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

選択したメニューに応じて、このエリア (クイックフィルターバー) にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

D – 時刻 / 温度

▶ 117 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

E – フィルターバー

選択したメニューに応じて、フィルターバーが表示されます。

F – 接続およびステータス シンボル

▶ 145 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

G – コンテンツおよびインタラクティブエリア

H – コンテンツとインタラクティブエリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

[オプション] で、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェコミュニケーション マネジメント システム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。車両バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

PCMの操作

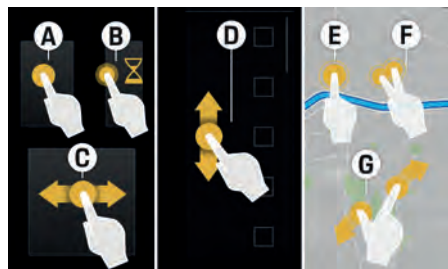


図. 101: タッチスクリーンの操作

A タップ (選択)

タッチスクリーンを指で軽くタッチします。
例: 機能をタップしたり、チェックボックスを有効 / 無効に切り替えます。

B 長押し

タッチスクリーンを指で長くタッチします。
例: マップから目的地を適用します (ナビゲーション)。

C スワイプ

- タッチスクリーン上で指を左右に動かします。
例: リストを横方向にスクロールします。
- D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)**
タッチスクリーンを 1 本の指で上下にスワイプします。例: コンテンツを上下にスクロールします。
- E 上下にスワイプ (切り替え)**
タッチスクリーンを 2 回軽くタップすると、そのセクションが拡大されます。
- F ズーム**
2 本の指をタッチスクリーン上で広げると、そのセクションが拡大されます。

ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使った PCM の操作



図. 102: ロータリー プッシュ ボタンの操作

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタン **A** (図. 102) を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタン **A** (図. 102) を押し、ハイライトされた機能を有効にします。
3. ボタン **B** (図. 102) で 1 つ前のメニューへ移動します。

4. 各メニュー項目の最も重要な設定を開くには、ボタン **OPT C** (図. 102) を使用します。

メニューを開く

メインメニューを開く

- ▶ メイン操作エリア (☰ など) のメニューをタップします。

サブメニューの呼び出し

- ▶ クイック フィルターバーのメニュー項目 (例: 連絡先) をタップします。

各メニュー項目の設定を開く

- ✓ 希望のメニューが選択されている。
- ▶ オプション... をタップします。
 - ▶ それぞれのコンテンツまたはインタラクティブエリアの設定およびその他の機能が表示されます。

時刻の表示または温度の設定

- ▶ ステータスエリアで時間 9:11 または温度をタップすると、ディスプレイを調整できます。

PCM の設定方法:

- ▶ ▶ 設定 ディスプレイ ▶ センターディスプレイ

テキストと文字の入力

テキストや文字を入力できる場合は、すぐに入力フィールドが表示されます (ナビゲーション目的地や検索ワードの入力など)。検索結果をタッチすると、検索結果リストが拡大表示されます。



図. 103: タッチスクリーンのキーボード



- A 戻る
- B 現在のカーソル位置
- C 自動訂正と提案された検索結果
- D オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)
- E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
- F 統合検索 (PCM メモリー内とオンライン コンテンツの検索)
- G スペースを挿入する
- H 検索結果リストの拡大
- I 検索エリア (国によってはご利用いただけない場合があります)
- J 入力データを削除する
- K 手書き入力 [タッチスクリーンからアルファベットや文字を入力](一部の国別仕様では使用不可)
- L 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります:

キーボードによる入力

1. 入力フィールドをタッチします。
➡ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
➡ アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望の文字または記号がハイライト表示されるまで、ロータリー / プッシュ ボタン(図. 102)を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン  を使用して、文字入力フィールドから結果リストにジャンプします。
4. ボタン  を使用して、結果リストから入力フィールドにジャンプします。

手書き入力による入力

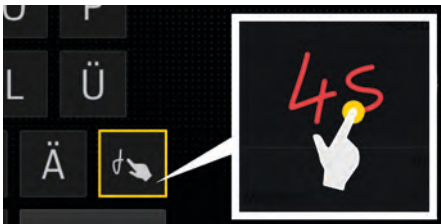



図. 104: 手書き入力

手書き入力 (一部の国別仕様では使用不可) では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. スペースを削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

音声入力による入力


ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

ボイス コントロールの使用に関する情報:

▶ 119 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

PCM でマニュアルを開く

- ✓ 車両が停止している状態。

▶  ▶ 取扱説明書

ボイスコントロール

ボイスコントロールの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

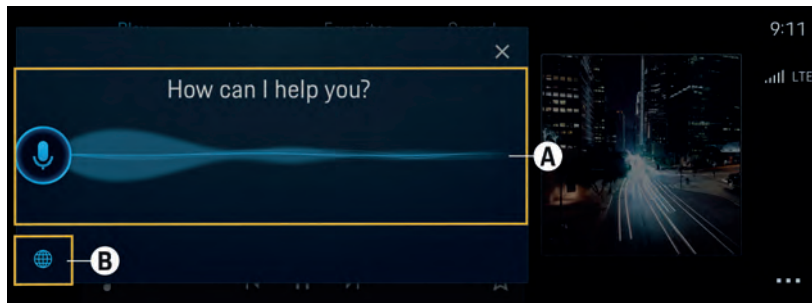







図. 105: ボイスコントロールを使用

希望する操作	操作方法	操作箇所
ボイスコントロールの起動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。 ▶ ヘイ、ポルシェと話しかけます (機能が有効になっていること)。 ▶ PCMで  ▶  ▶  をタップします。 信号音が鳴り、PCM に対応するウィンドウ (A (図. 105) を参照) が表示されます。	▶ P. 119
ボイスコントロール設定の表示	<ul style="list-style-type: none"> ▶ PCMで  (B (図. 105) を参照) をタップします。 	▶ P. 119

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。



警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。
- ▶ セントラルディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイスコントロールシステムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイスコントロールシステムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブに利用できます。ボイスコントロールは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したブレーキリング/ヒーティング機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。


ボイスコントロールはヘルプ機能も提供します。

ボイスコントロールの使用 オンラインモード

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
 - ✓ クラウドへのデータ転送が許可されていること。
 - ✓ データ接続が十分であること。
 - ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- オンラインモードでは、ボイスコントロール機能の全範囲にアクセスできます。

オンラインモードはPCMにアイコンで表示されま
す。

データ接続が不十分な場合、PCMは自動的にオフライン
モードに切り替えます。オフラインモードでは、一
部のボイスコントロール機能を限られた範囲でのみ使
用できます。

ボイスコントロールがオフラインモードになっている
場合、PCMにアイコンが表示されます。

- ✓ イグニッションがONになっていること。
- ✓ リバースギヤが選択されていないこと。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していないこと。

ステアリングホイールでボイスコントロールを開始する

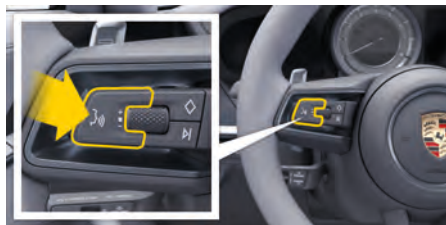







図. 106: ボイスコントロールボタンを備えたステアリングホイール



1. ステアリングホイールのボタンを押します。
➔ 信号音が鳴り、対応するウィンドウがPCMに
表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

PCMからのボイスコントロール起動


1. PCMで▶▶▶をタップします。
➔ 入力リクエストの音が鳴り、対応するウイ
ンドウがPCMに表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

検索結果は、そのとき選択されているクイックフィル
ターバーのみに限定されます。例えば、クイックフィル
ターバーの**メディア**が選択されている場合は、この
クイックフィルターバーの検索結果のみが表示されま
す。



「Hey, Porsche」と発話してボイスコントロ ールを開始する

1. ▶▶ボイスコントロール▶「Hey
Porsche」でボイスコントロール起動
2. 「Hey, Porsche」と言って、目的のボイスコマ
ンドを発話します。


ボイスコントロールの一時停止

- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ
ンド待機中であること。
- ▶ をPCMでタップします。
➔ 会話が一時停止し、もう一度タップすると
再開できます。

ボイスコントロールの終了



- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ
ンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを押します。
-または-
中断と発話します。
-または-
ウィンドウ以外の場所をタップします。
-または-
PCMでをタップします。
➔ 終了音が鳴ります。

ボタンによるボイスコントロールの中断

- ボイスコントロールの音声出力は、会話中に中断され
る場合があります。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを短く押しま
す。

音声入力によるボイスコマンドの中断


ボイスコントロールのボイスコマンドは会話中でも中
断できます。これにより、他のボイスコマンドを発話
したり、すぐの実行したりできます。PCMで機能を有
効にします：

- ▶ ▶ボイスコントロール▶ボイスコ
ントロールの**読み込みを有効にする**をタップしま
す。

外部ボイスコントロール(SiriやGoogleアシ スタントなど)の起動

- ▶ 140 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してくだ
さい。

▶ 138 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

外部ボイス コントロール (Siri や Google アシスタントなど) の終了

- ▶ 140 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
- ▶ 138 ページの「Android Auto」の章を参照してください。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイス コントロールが起動している状態で、ボイス コントロール、ロータリー / プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイス コントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイス コントロールを用いたコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 長い間をおかずにもらなくボイス コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフを閉じるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ボイス コントロールはドライバーのために最適化されています。

自然な音声コマンドを使用する

ボイス コントロール システムは、自然な音声コマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

- 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパラメント ストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
- 「寒い」、「ガソリン スタンドに行きたい」、「お腹が空いた」など、自分が希望することを伝えることができます。
- 「高速道路を避ける」、「ルート沿いのパン屋を検索」など、状況に関連する音声コマンドを使用できます。
- 「走行可能距離は?」、「東京の天気は?」など、情報を確認することができます。
- 「メディア エリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。

- 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
- マップを使った目的地設定: 希望する目的地を長押しして、「ハイ、ポルシェ、ここに連れて行って」と言ってください。

一般ボイス コマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

- 修正
- 一時停止
- キャンセル / 中断
- ヘルプ

ボイス コントロールによるリストの使用

リストをブラウズする

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **次のページ/前のページ**と発話します。

リストから項目を選択する

PCM に青色で表示されている行番号とリスト項目は、発話により選択できます。

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **1 行目**と発話します。
-または-
リスト項目を発話します。

マルチモデルマップ




マルチモデルマップにより、ナビゲーション中にボイスコントロールとマップ間の操作が可能になります。これにより、言語によるより迅速で多様な目的地の検索が可能となります。▶ 122 ページの「コマンドの例」の章を参照してください。

ボイスコントロールによるマルチモードマップの起動

ボイスコントロールを使って起動する場合、PCM で呼び出されているメニューは関係ありません。

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- ▶ **マップ上に書き込みたい**と言います。
- または -
マルチモデルマップを表示してと言います。
- ➡ マップが開き、青いフレームが表示されます。

マルチモデルマップを手動で有効にする

1.   **ナビゲーション** 
2. ボイスコントロールを起動します。
- ➡ マップに青いフレームが表示されます。

コマンドの例

以下のリストでは、ボイスコントロールシステムが対応可能な自然な音声コマンドと指示の一部のみを示しています。適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

エアコンシステム/コンフォート機能

- シートヒーターをレベル2に設定して。
- フロントガラスが曇っています。
- マッサージをして欲しい。

警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

警告灯が表示されると、さらに音響信号が鳴ります。

警告メッセージは、すべての測定条件が揃っていないと表示されません - そのため、定期的なすべてのフルードレベルを確認してください。

- アンビエントライトを赤に変更して。
- リヤの温度を 24°C に設定して。
- 助手席のシートベンチレーターをレベル2に設定して。

ナビゲーション/運転中/ファインダー

- ボルシェミュージアムに連れて行って。
- 給油が必要になるのはいつ頃?
- ルート沿い/目的地のレストランを検索。
- どれくらい時間がかかる?
- 駐車場を検索して。
- 職場まで連れて行って。
- 私は最近どこまで運転した?
- 東京都港区虎ノ門 1-23-1 まで案内して。

メディア

- Porsche Sounds で「Get a Life (例)」を再生して。
- マイケル・ジャクソンのアルバム「Bad」を再生して。
- 今聴いているのは何の曲?
- 音楽を検索したい。
- Apple Music で Nelly Furtado を再生して。
- クラシック FM を再生して。
- 次の曲をかけて。
- 別のソースを選択したい。

電話

- ✓ 通話中ではない。
- John Doe に電話して。
- 020 911 (例) をダイヤルして。
- Andreas Falk に電話をかけ直して。

- 通話履歴を表示して。
- 新しい電話を接続したい。

過去の会話に対応する

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- その他の音声コマンドを使用して、メイン機能 (電話など) の過去の会話に対応することができます。

- John Doe にもう一度電話して。

マルチモデルマップ




- ✓ 目的地が選択されている状態 (ピンがマップに配置されている)。
- そこまで案内して。
- 近くのレストランを検索して。
- 近くのパン屋を検索して。
- そこにある郵便局を検索して。

ボイスコントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。

- (一般的な) ヘルプが必要
- ボイスコントロールの仕組み
- ナビゲーションエリアで行える操作
- 何ができるか

ボイスコントロール設定の変更

- ▶   **設定**  **ボイスコントロール** 希望の設定を選択します。

次の表は、主な警告メッセージとインフォメーションメッセージの抜粋です。



安全

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>エアバッグ システム故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>エアバッグ システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	 <p>ステアリング ロックを動かしてください</p>	<p>ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	 <p>ステアリングがロックされています 要整備</p>	<p>ステアリング ロックが作動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	 <p>パワー ステアリング故障 操舵力の増大 引き続き走行可能</p>	<p>パワー ステアリングは故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
 <p>点灯</p>	 <p>ブレーキ液面低下 車両を安全な場所に停車してください</p>	<p>ブレーキフルードレベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	 <p>パワー ブレーキ故障</p>	<p>ブレーキ ブースターが故障したか、不具合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 ブレーキ力配分故障 車両を安全な場所に停車 してください	制動力配分が故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
 点灯	 ABS/PSM 故障 慎重に走行してください	ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
 点灯	 ブレーキパッド摩耗 ブレーキパッド要交換 引き続き走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	 サービスモードのパーキングブレーキ	パーキングブレーキがサービスモードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	 レイン/ライトセンサー故障 要整備	レイン/ライトセンサーが故障しています。 ▶ フロントウィンドウワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
 点滅	 例： 左スタティックコーナリングライト故障 スタティックコーナリングライトを点検	表示されたコーナリングライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
 点灯	 ドライビングライト制御エラー 一時的な状態 引き続き走行可能	ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>例： 左リヤ方向指示器故障 方向指示器を点検</p>	<p>表示されたライトが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	<p>ハイビームアシスト使用不可 引き続き走行可能 ハイビームを手動で操作</p>	<p>ハイビームアシストは一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ハイビームを手動で操作してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	<p>ハイビームアシスト使用不可 カメラ視野無 必要であればフロントウインドウを清掃</p>	<p>カメラの故障により、ハイビームアシストは一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントウインドウの清掃が必要な場合があります。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	<p>ヘッドライト範囲調整の故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>ヘッドライト高さ調整が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	<p>ワイパー故障 要整備</p>	<p>フロントウインドウワイパーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
	点灯	<p> タイヤ点検が必要</p> <p>1つ以上のタイヤに著しい空気圧の低下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 209ページの「バンク」の章を参照してください。

表示		メッセージ	意味および必要な措置
(!)	点灯	(!)	<p>最低規定圧力 1.8 bar (26 psi) を遵守</p> <p>タイヤの空気圧が最低規定圧力よりも低下しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ レース サーキットで走行する場合は、各ホイールのタイヤ空気圧を 1.8 bar (26 psi) 以上に設定してください。
(!)	点灯	(!)	<p>タイヤの空気充填が必要</p> <p>1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 209 ページの「パンク」の章を参照してください。
(!)	点滅または点灯	(!)	<p>タイヤ空気圧モニターエラー 要整備</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) が故障しています。タイヤ空気圧は監視されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
(!)	点滅または点灯	(!)	<p>システムが一時使用不可 一時的な状態 引き続き走行可能</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) が一時的に無効です (センサーのオーバーヒートや信号の干渉など)。 タイヤ空気圧は監視されていません。 エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 123
(!)	点滅または点灯	(!)	<p>タイヤ空気圧がモニターされていません システムは xx mph 以上でない」と学習しません</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。 このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
(!)	点滅または点灯	(!)	<p>タイヤ交換を検出 新しい選択</p> <p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ タイヤ設定を更新してください。 ▶ 143 ページの「車両設定」の章を参照してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯		<p>タイヤ空気圧が低すぎます または パフォーマンス空気圧が低すぎます 減速してください</p> <p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 減速してください。 ▶ 次の機会にタイヤ空気圧を点検してください。





エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		<p>オイルレベル限界 最大xxLまで補充してください</p> <p>オイルが下限レベルを下回っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 184 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
		<p>オイルレベル超過 引き続き走行可能 要整備</p> <p>オイルレベルが上限を超えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
		<p>オイルレベル測定エラー 引き続き走行可能 要整備</p> <p>オイルレベル測定が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
		<p>オイルレベル低下 最大xxLまで補充してください</p> <p>オイルが下限レベルです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ オイルを補充してください。 ▶ 184 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。




表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;">油圧低下 車両を安全な場所に停車し てください</p>	<p>油圧が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 184 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
	 <p style="text-align: center;">油圧測定エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
	 <p style="text-align: center;">油温超過 負荷を軽減してください</p>	<p>油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 184 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。
	 <p style="text-align: center;">油温表示エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>油温計が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127

表示	メッセージ	意味および必要な措置
クーラントの温度表示が最高マーク	 <p>冷却水レベル低下 安全な場所に停車して車両 を冷却してください</p>	<p>エンジンクーラント レベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ エンジンクーラント レベルを点検してください。 ▶ 182 ページの「クーラント」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
	 <p>水温計エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>水温計が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
エンジンクーラントまたはエンジンオイルの温度表示が最高マーク	 <p>エンジン温度超過 エンジン冷却のため停車し てください</p>	<p>エンジンクーラントまたは油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびオイル レベルを点検してください。 ▶ 184 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 ▶ 182 ページの「クーラント」の章を参照してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
	 <p>クーラント ポンプ故障</p>	<p>クーラント ポンプが故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127

表示		メッセージ	意味および必要な措置
	点灯		<p>エンジン出力減少 引き続き走行可能 要整備</p> <p>エンジン出力が減少します。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
	点灯		<p>エンジン制御故障 車両を安全な場所に停車し てください</p> <p>エンジン制御システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
			<p>暖機フェーズでは、エンジンを保護するために最高回転数が 7,000 rpm に制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 加速や追い越し時は、エンジンが最高回転数に達する前に適切なタイミングで 1 段高いギヤにシフトアップしてください。
			<p>1,500 km までの慣らし運転を注意深くモニターしてください</p> <p>走行距離が 1,500 km に達するまでは、エンジンを 7,000 rpm を超える高回転域まで回転させないでください。</p>
			<p>エンジン制御故障 引き続き走行可能 要整備</p> <p>エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
			<p>微粒子フィルターを確認 取扱説明書を確認してくだ さい</p> <p>微粒子フィルター (国別仕様による) がすすで目詰まりしています。 フィルターの自動クリーニングが実行される条件を満たすように運転してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スポーツ走行プログラムを選択します。 ▶ クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にします。 ▶ 最大 130 km/h (常に適用される制限速度を守り、それに応じて速度を調整) まで加速し、次にアクセルペダルから足を完全に離して減速します。 ▶ メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
 	微粒子フィルター 引き続き走行可能 要整備	微粒子フィルター (国別仕様による) がすでに目詰まりしています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 127
 	微粒子フィルター 車両を安全な場所に停車し てください	微粒子フィルター (国別仕様による) がすでに目詰まりしています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。▶ P. 127

車両



表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車両電気トリカルシステム故障 車両を安全な場所に停車し てください	車両電気トリカルシステムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	電気利用のため要エンジン 作動 車両電気トリカルシステム故障 車両を安全な場所に停車し てください	車両電気トリカルシステムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	車両電気トリカルシステム故障 または バッテリー低下 要整備	車両電気トリカルシステムが故障しているか、バッテリーが低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 スタート/ストップ故障	<p>現在スタート/ストップ機能が利用できません。</p> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 トランスミッション故障 車両を安全な場所に停車し てください	<p>PDK 装備車：トランスミッションが故障しました。</p> <p>次に停車するまでは走行が可能です。</p> <p>運転を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 178 ページの「けん引」の章を参照してください。
	 トランスミッション温度が 高すぎます トランスミッション冷却の ため安全な場所に停車して ください	<p>PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 運転席ドア接触不良 降車前にPに入れてくだ さい	<p>PDK 装備車：運転席ドアの接触不良。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 降車前にセレクターレバーを P 位置にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 トランスミッション温度超 過 負荷を軽減してください	<p>PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。</p> <p>継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルの操作で車両位置を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。




1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>トランスミッション故障 リバースギヤが使用できない可能性があります</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 リバースギヤが機能しない可能性があります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 <p>整備通知トランスミッション</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 <p>クラッチを踏んでください</p>	<p>マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルが踏まれているときのみ始動可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 始動時はクラッチペダルを踏んでください。
	 <p>緊急通話機能故障 要整備</p>	<p>緊急電話機能が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 <p>ドライバーカードが検知されません</p>	<p>ドライバーカードが検出されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要に応じてセキュリティオペレーティングセンター (SOC) に連絡してください。
	 <p>点検時期：xx 日後</p>	<p>サービスリマインダー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、保証およびメンテナンス手帳に掲載されているサービスインターバルを優先してください。


表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 または  <p>キーが見つからない、またはキーのエラー 小物入れにキーを置いてください。取扱説明書を確認してください または キーの位置を変更してください</p>	<p>キーのバッテリーが消耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を始動するには、左フロントのセンター コンソールの小物入れにキーを置きます。 ▶ バッテリーを交換してください。 ▶ 27 ページの「キー」の章を参照してください。 <p>または</p> <p>キーが故障 / 見つからない / 認識できません。 キーの位置が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 可能性がある干渉ソースのスイッチを OFF にしてください。 ▶ この操作を行うときは、キーを携行している必要があります。 - または - 車内でキーの位置を変更してください。
	 <p>スポイラー故障 減速してください</p>	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 または  <p>スポイラー故障 または スポイラー制御故障 慎重に走行してください</p>	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 <p>エンジンを再始動させた後も、エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 <p>リフトシステムエラー 要整備</p>	<p>リフトシステムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131
	 <p>リフトシステム現在使用不可 温度保護が作動中</p>	<p>リフトシステムは使用できません。 システムの温度保護またはチャイルドロック プロテクションが原因で、車両を下降または上昇させることができません。エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 131

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 下降させることができません。ドア開 ドアを閉じてください	ドアが開いた状態で車両を下降させることはできません。 ▶ ドアを閉じてください。
	 車両フロントが下がりがま せんでした 減速してください	速度制限「X km/h」を超過しています。車両は下降しません。 ▶ 「X km/h」に減速してください。
	開くには、ドアオープ ナーから手を放し、もう一度 引きます	ドア オープナーの操作が速すぎるか、車両の電源が切れています。 ▶ ドアハンドルから手を放し、もう一度引きます。



ドライビングシステム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 シャーシシステム故障 慎重に走行してください。 取扱説明書を確認してくだ さい。	シャーシシステムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
	 シャーシシステム故障 要整備 慎重に走行してください	シャーシシステムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
	 シャーシシステム故障 車両を安全な場所に停車し てください	シャーシが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 PSM 故障 要整備 慎重に走行してください	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
 点灯	 ABS/PSM 故障 慎重に走行してください	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
 点灯	 ESC が OFF です	エレクトロニック スタビリティ コントロールが OFF になっています。
 点灯	 ESC/TC が OFF です	エレクトロニック スタビリティ コントロールとトラクションコントロールが OFF になっています。
	 リヤアクスルステアリング故障 または リヤアクスルステアリング故障 慎重に走行してください	リヤアクスルステアリングが故障したか、不完全な状態です。 継続走行可能です。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
	 システムエラー 引き続き走行可能 要整備	1つまたは複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135
	 パークアシスト警告音故障 または インストルメントクラスターの音声故障 引き続き走行可能 要整備	警告音およびパーキングアシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;">リヤパークアシスト故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>パーキングアシストを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 135

PCM

メッセージ	意味および必要な措置
 <p style="text-align: center;">重大な故障 ポルシェ正規販売店にお問い合わせください</p>	<p>ソフトウェアアップデートに失敗しました。 ディスプレイおよびパーキングアシスタントなどのコンフォート機能が作動しない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を使用する前に、ディスプレイおよびコンフォート機能(パーキングアシスタントなど)が動作していることを確認してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ P. 137
 <p style="text-align: center;">アップデートを実行中 車両を使用しないでください</p>	<p>ソフトウェアアップデートをインストール中です。 ディスプレイおよびパーキングアシスタントなどのコンフォート機能が作動しない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ソフトウェアアップデート中は車両を使用しないでください。

操作および使用

Android Auto

Android Auto の呼び出し

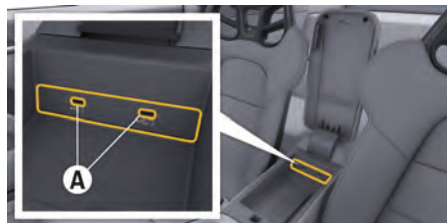




図. 107: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

i インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボルマークが付いている USB ポート  を使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ Android 6 またはそれ以降。
- ✓ Android Auto が電話にインストールされていること。
Android 10 以降では Android Auto がすでに内蔵されています。
- ✓ 電話のモバイル データ接続が有効になっていること。
- ✓ 設定で Google アシスタントと Android Auto が有効になっていること。

- ✓ トラブルなく使用するため、USB アダプターなしの、損傷のない電話メーカーの純正ケーブルを使用してください。
- ✓ Android Auto のホームページに記載されている最新の要件を遵守してください。

1. 電話をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A** ▶ (図. 107) に接続します。
2. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。
➔ Android Auto が呼び出され、利用可能なアプリが表示されます。
3. 電話に表示される通知を確認してください。

▶ 別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには、 ▶ **Android Auto**  を選択します。

i インフォメーション

- 最新の Android バージョンをインストールするようお勧めします。
- Android Auto に対応している電話のアプリのみが表示されます。Android Auto で使用できるアプリは、Google Play ストアでご確認ください。
- この機能は Google がサポートされていない国ではご利用いただけません。対応している国に関する情報は、Android Auto のホームページをご確認ください。
- Android Auto の表示コンテンツと機能は、接続している電話でのみご利用いただけます。
- Android Auto の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (通話、メディア再生、またはメッセージなど) が自動的に解除されます。
- Android Auto をご利用いただくためには、有効なデータ接続が必要です。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。


ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:



▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

Android Auto の操作

PCM による Android Auto の操作

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

- ▶ **Android Auto** でメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。


- ▶ PCMのメイン機能に移動するには、**Android Auto**  を選択します。
-または-
任意の機能  など) を選択します。

Google アシスタント音声認識による Android Auto の操作




図. 108: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

Google アシスタントの起動

- ✓ お使いのスマートフォンの設定で Google アシスタントが有効になっていること。
 - ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。
 - ✓ 通話中ではない。
 - ✓ パークアシストが作動していないこと。
 - ✓ PCM のボイスコントロールが有効になっていません。
1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
 2. 希望のボイスコマンドを発話します。

Google アシスタントの終了

- ✓ Google アシスタントが有効で、ボイスコマンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押してください。
➡ 終了音が鳴ります。






ボイスコントロールに関する情報：

- ▶ 119 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

ワイヤレス Android Auto の呼び出し

ワイヤレス Android Auto (一部の装備と国別仕様ではご利用不可) では、ケーブルなしで Android Auto を使用できます。ワイヤレス Android Auto でサポートされるのは、有効なスマートフォン 1 台のみです。

- ✓ スマートフォンの Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ スマートフォンのワイヤレス Android Auto が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1. ステータスエリア  または  (接続ステータスによる) と接続ウィザードのメニューから **Android Auto** ▶ **検索** を選択します。
-または-
デバイスをタップします  ▶ **Android Auto** 
-または-
検索が始まるまで、ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。

2. リストからデバイスを選択してください。

3. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。
➡ Android Auto が呼び出されます。利用可能なアプリが表示されます。

スマートフォンを一度接続すると、乗車時には自動的に Android Auto が作動します。そのため、スマートフォンはバッグやポケットに入れたままにしておくことができます (Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)。

別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには：

- ▶  **Android Auto**  を選択
-または-
ステータスエリアで **Android Auto**  を選択します。

ワイヤレス Android Auto の終了

1.  **Android Auto**  を選択します。
2. お使いのスマートフォンのアイコン  を選択します。
➡ ワイヤレス Android Auto が終了します。

Apple CarPlay

Apple CarPlay を開く

① インフォメーション

初めて接続する際に Apple CarPlay を必ず選択します。そうすると、望むとおりに iPod と Apple CarPlay を切り替えることができます。

▶ 140 ページの「Apple CarPlay の操作」の章を参照してください。

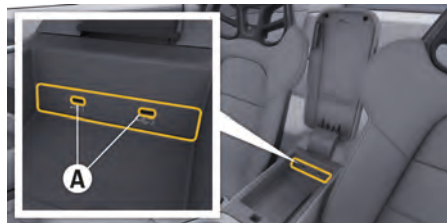



図 109: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)


① インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボル付き USB ポートを使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 14 以上。
- ✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するため、損傷のない Apple 純正ケーブルを USB アダプターなしで使用してください。

1. iPhone をアームレスト内の USB ポート A (図 109) に接続してください。
2. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。
 - ➔ Apple CarPlay が開き、利用できるアプリが表示されます。

▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、 ▶ **Apple CarPlay**  を選択します。

① インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone アプリのみが表示されます。アプリの入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。国別の入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。


ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

Apple CarPlay の操作

PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

▶ **Apple CarPlay** のメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

▶ PCM のメイン機能に移動するには、**Apple CarPlay**  **Porsche**  を選択します。
- または -
任意の機能  (など) を選択します。

Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

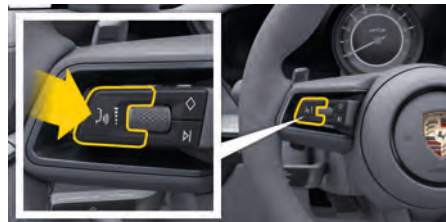




図 110: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

Siri の起動

- ✓ お使いの iPhone の設定で Siri が有効になっています。
- ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。

- ✓ 通話中ではない。
 - ✓ パークアシストが作動していないこと。
 - ✓ PCM のボイス コントロールが有効になっていません。
1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
 2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Siri の終了





- ✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押してください。
 - ➔ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

▶ 119 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

Apple CarPlay と、iPod として使用している iPhone の切り替え

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。






1. デバイス マネージャーを呼び出すには、接続ステータスに応じて、ステータス エリアの  または  のいずれかを選択します。
 –または–
 デバイスをタップします  を選択します

2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay**  マークを選択します。
 –または–
 お使いの iPhone の **iPod**  アイコンを選択します。
 ▶ 145 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。
 ➔ 現在有効になっている iPhone のアイコンがハイライトされ、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod**) が表示されます。

ワイヤレス Apple CarPlay の呼び出し

ワイヤレス CarPlay (一部の装備と国別仕様ではご利用不可) では、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス CarPlay でサポートされるのは、有効な電話 1 台のみです。




- ✓ 電話の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ 電話でワイヤレス CarPlay が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1.  または  ステータス エリア (接続ステータスによる) および接続アシスタントメニューで、**Apple CarPlay** ▶ 検索を選択します。
 –または–
デバイスをタップします  ▶ Apple CarPlay 
 –または–
 検索が始まるまで、ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. リストからデバイスを **選択** してください。

3. Apple CarPlay を使用していることを確認します。
 ➔ Apple CarPlay が開きます。利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、乗車時には自動的に Apple CarPlay が作動します。そのため、電話はバッグやポケットに入れたままにしておくことができます。(Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)



または、**ワイヤレス CarPlay** を以下のように接続できます：

1.  ▶ **デバイスをタップします **
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。

他のメニュー項目から **Apple CarPlay** に切り替えるには：

- ▶  **Apple CarPlay ** を選択
 –または–
 ステータス エリアで **Apple CarPlay ** を選択します。

保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1.  **デバイスをタップします ** を選択します。
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
 ➔ デバイスがデバイス リストから削除されます。

ワイヤレス CarPlay の終了

1.  **デバイスをタップします ** を選択します。
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。
 ➔ ワイヤレス CarPlay が終了します。

通知

通知の概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

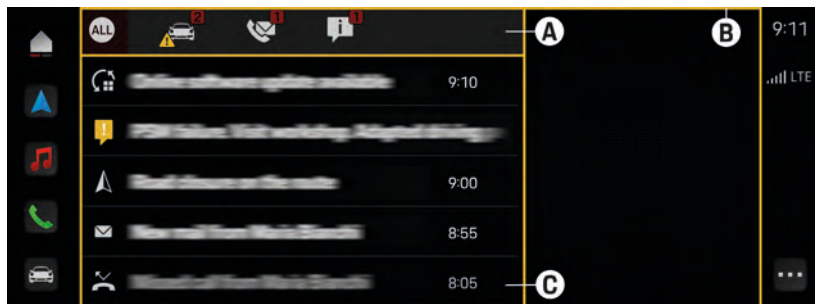


図. 111: 通知のメインメニューの領域

希望する操作	操作方法
通知を表示する	▶ ■メインメニューでをタッチする。
通知のフィルタリング	▶ メインメニューの ■ で、クイックアクセスバーの車両など (A (図. 111) を参照) をタップしてください。
通知を開く	▶ メインメニューの ■ で、すべて (A (図. 111) を参照) の通知など (C (図. 111) を参照) を選択します。 通知は詳細エリアに表示されます (B (図. 111) を参照)。
コンテンツの表示方法を設定する	▶ メインメニュー...の ■

通知を開く

- 📞 接続されている電話の通知が表示されます。
- 📄 情報の通知の表示。

▶ ■メインメニューでをタッチする。

通知設定の変更

▶ 🏠 ▶ 設定 ⚙️ 通知センター ▶ 希望の設定を選択します。

通知のフィルタリング

通知は、クイックフィルターバーでフィルタリングできます (A を参照)。コンテンツは次の領域に分かれています。

- 🏠 既存のすべての通知の表示。
- 🚗 車両の通知の表示。























車両設定















車両設定の概要

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここで説明した車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定はイグニッションを OFF にしても保存され続けます。

▶ 58 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
ロックおよびロック解除オプションの設定	▶  ▶ 設定  車両 ▶ 車両ロックシステム	-
ライトとフロント ウィンドウワイパーの設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界	-
シートヒーターを調節する	▶  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席	-
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▶  ▶ 設定  車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ P. 194
マルチファンクションステアリングホイールのショートカットボタン (◇ ボタン) 設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ステアリングホイールクイックアクセスボタン	-
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ サービス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	-
自動リフト機能の設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ スマートリフト	-
PCM 表示を調整する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ センターディスプレイ	-
インストルメントパネルディスプレイを調整する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ インストルメントパネル	-
インストルメントパネルのカスタマイズ表示を調整する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ インストルメントパネル ▶ 情報表示設定 長押しして移動させると、各車両情報を 4 つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。	-
追加機能の表示を変更する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ その他の機器	-

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
日付と時刻の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 日付と時刻	—
単位の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 単位	—
ボイス コントロール システムの設定	▶  ▶ 設定  ▶ ボイス コントロール	—
言語の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 言語	—
警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	▶  ▶ 設定  ▶ オーディオ ▶ 音量	—
ソフトウェアアップデートを実行する	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ ソフトウェアアップデート	—
システムを工場出荷時の状態にリセット	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 出荷時の状態 工場設定にリセットすると、すべての設定が削除されます。	—

ファンクション オン デマンド (FoD) の購入


- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ▶ ポルシェ コネクト ストアで希望する FoD サービスを購入します。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

ファンクション オン デマンド (FoD) のダウンロードと作動



- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ FoD サービス購入済み。
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベート モードが無効です。

アクティベーションが正常に完了すると、メッセージが 1 度 PCM に表示され、メイン メニューの  に後で表示することができます。


FoD サービスはバックグラウンドで自動的にダウンロードおよび有効化されます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

インフォメーション

FoD の情報またはアクティベーションステータスはいつでも PCM で呼び出すことができます。

1.  ▶ 設定  ▶ システム ▶ ソフトウェア情報 ▶ バージョン情報
2. 希望する FoD を選択してください。

ファンクション オン デマンド (FoD) の無効化

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ FoD サービスを購入しており、車両で有効になっています。
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベート モードが無効です。
- ▶ 希望する FoD サービスを My Porsche で無効にします。
 - ➔ 無効化が正常に完了すると、メッセージが 1 度 PCM に表示され、メイン メニューの  に後で表示することができます。

ファンクションオンデマンド (FoD) の有効化 または無効化の失敗

有効化または無効化プロセス中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果は、PCM に表示されます。

情報

アップデートの失敗による損傷と使用制限。

故障の重大度に応じて、車両の走行準備が整っていない場合があります。表示および車両機能が正常に機能しません。



- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ社ではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

デバイス マネージャー デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

▶ ▶ デバイスをタップします

– または –




ヘッダーの  または  を選択してください (接続状態により異なります)。

接続ステータスの表示



シンボルの色と意味

- 赤色のシンボル：接続が有効
- 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない：接続できません



選択できる機能：

-  電話：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。
▶ 164 ページの「電話」の章を参照してください。
-  音楽：外部メディアソースが Bluetooth® で接続されている。
▶ 148 ページの「メディア」の章を参照してください。
-  データ (国により異なります)：WiFi アクセスポイント経由でデータ接続が確立されています。
▶ 156 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
- メッセージ：Bluetooth® を介したメッセージ受信の ON と OFF を切り替えます。

-  Apple CarPlay：iPhone が USB 接続または無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。
▶ 140 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
-  Android Auto：Android 電話が USB 接続で接続され、Android Auto にアクセスしている。
▶ 138 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディアソースに接続するためのアシスタンスを提供します：
 ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続



外部機器を Bluetooth 経由で接続する®

1.  ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続 ▶ 新しい電話を接続/新しい音楽プレーヤーを接続 タッチします。
2. リストからデバイスを選択してください。
➔ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM とデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. 携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。
➔ 携帯電話が正常に接続されたら、デバイスリストに表示されます。


ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

デバイスをデバイスリストから削除

- ▶  ▶ デバイスをタップします  をタップします。削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
- ▶ デバイスがデバイスリストから削除されません。

デバイス マネージャーの設定

- ▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ ...をタップします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

- **電話設定** : 164 ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth 設定** :
 - **Bluetooth** の ON/OFF を切り替えます。
 - PCM の **Bluetooth 名** を調整します。
- **WiFi 設定** :
 - **WiFi** の ON/OFF を切り替えます。
 - **インターネット アクセスを有効にする** : PCM の WiFi ホットスポットを有効にし、WiFi デバイスのデータ接続を有効にします。
 - **インターネットアクセスを有効にする** : PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。該当するデータ パッケージは www.porsche.com/connect からご購入いただく必要があります。
- **データ接続設定** :
 - **オンラインデータの表示** を表示する
 - **オンラインデータの表示** をリセットする

インターフェース

フロント アームレストには 2 つの USB インターフェース (タイプ C) が設けられています。PCM が ON の場合に USB インターフェースが有効になります。

USB を介した外部機器の接続

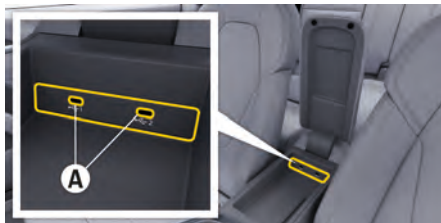



図. 112: アームレスト内のインターフェース

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェース (タイプ C) **A** (図. 112) に接続します。
3. **メディア**  ▶ **再生** で希望のメディア ソースを選択します。
▶ 148 ページの「メディア」の章を参照してください。
4. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ :

▶ 220 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

ホーム画面および個人画面

ホーム画面および MyScreen の設定

ホーム画面の設定

1. **🏠 ▶ … ▶ 並べ替えを変更する**
2. 希望のタイルを選択して長押しし、任意の位置に動かしてください。
3. **確定**をタップします。

i インフォメーション

- メイン操作エリアには最大5つのタイルを表示できます。
- コンテンツおよびインタラクティブエリアのタイルをメイン操作エリアに動かすと、そのタイルが両エリアに表示されます。

個人画面の設定



図. 113: MyScreen の領域

ホーム画面の2ページ目(MyScreen)のさまざまな領域をカスタマイズできます。

1. ホーム画面 **🏠** で左にスワイプします。
➔ MyScreen **🏠** が表示されます。
2. **… ▶ MyScreen の設定**
3. 希望のカテゴリーを選択して長押しし、任意のエリアに移動させます (**A**、**B**、**C** [図. 113] を参照)。

4. タイルは別のタイルと交換することで削除できません。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

メディア

メディアの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

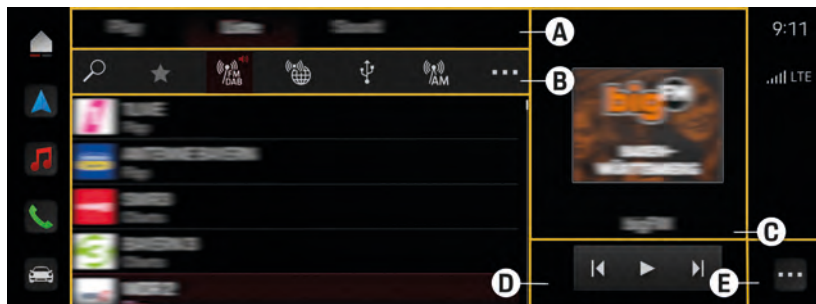


図. 114: メディアの再生

希望する操作	操作方法	操作箇所
メディアソースの接続	<ul style="list-style-type: none"> - 外部デバイスを Bluetooth® を介して接続します。 - USB を介して外部機器を接続してください。 	▶ P. 145
メディアの再生	▶ クイック フィルター バーで希望のメニュー オプションを開きます (A (図. 114) を参照) 希望の放送局/トラックを選択します。	-
メディアソースの選択	▶ フィルター バー (B (図. 114) を参照) で希望のメディアソースを選択します。	-
放送局/トラック/アルバムの検索 (現在使用可能なすべてのメディアソースを検索)	▶ 🔍 フィルター バーの 🎵 ▶ メディア (B (図. 114) を参照) で希望の放送局/トラックを入力します。	-
メディアソース/受信範囲を選択する	▶ 🏠 ▶ メディア 🎵 フィルター バー (B (図. 114) を参照) の再生 (A (図. 114) を参照) でメディアソースを選択します (FM ラジオなど)。	-
メディアソース/受信コンテンツの表示	▶ 🏠 ▶ メディア 🎵 フィルター バー (B (図. 114) を参照) のリスト (A (図. 114) を参照) でメディアソースを選択します (FM ラジオなど)。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
音楽を再生/一時停止する	▶  ▶   再生 (A [図. 114] を参照) ▶ または (D [図. 114] を参照) をタップします。	-
次/前の放送局/トラックを再生する	▶  ▶   再生 (A [図. 114] を参照) ◀ または ▶ (D [図. 114] を参照) をタップします。	-
お気に入りの放送局を保存する	▶ 希望の放送局を長押しします ☆ をタッチします。 - または -  ▶   再生 (A [図. 114] を参照) ☆ をタップします。	▶ P. 149
放送局/トラックのリストを表示する	▶  ▶   リスト (A [図. 114] を参照) 選択したメディアソースに応じて、プレイリスト、アーティストなどのサブフォルダーを利用できます。	-
オンラインステーショントラッキングを起動	▶  ▶   ... (E [図. 114] を参照) オンライン放送局トラッキング ¹ 受信状態が悪い場合は放送局が自動的にオンラインで受信され、放送局名の横にオンラインと表示されません。	-

メディアを再生する

利用できるラジオおよびメディアソース

ラジオは FM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディアソースが利用可能です：USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス。




対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

メディア再生中の他の機能

✓  ▶   再生 が選択されています。







概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

- 現在の再生リストを表示する： 
- ランダム再生を有効にする： 
- トラックをリピートする： 





お気に入りの保存および編集

1. 必要条件: データ接続が確立されていること。ポルシェコネクトサービスが有効になっていること。




お気に入りの保存

- ▶  ▶  ▶  ▶ リスト ▶ 希望の放送局を長押し ☆ をタップします。
- または -
- ▶  ▶  ▶  ▶ 再生 ▶ ☆ をタップします。

お気に入りの整理

1.  ▶  ▶  ▶ お気に入り ▶ ... ▶ お気に入りの並び順を変更する
2.  をタップして編集モードに入ります。

お気に入りの削除

1.  ▶  ▶  ▶ お気に入り
2. 希望の放送局を長押しします。
➡ 削除マークが表示されます。
3. 削除マークをタップします。

メディア設定の変更

- ▶  ▶  ▶  ▶ ... ▶ 希望の設定を選択します。

メッセージ

メッセージの表示と編集

メッセージの表示



ショートメッセージ (SMS) を読むだけでなく、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。一部の機能は電話でサポートされていない場合があります。この設定に関する詳細情報は、お使いの電話の取扱説明書を参照してください。

電話が接続されていると、通知センターにメッセージアプリケーションが表示されます。

インフォメーション

- 電話でデバイスのメモリーに保存されているショートメッセージしか表示できない場合は、車両で受信したショートメッセージが電話のメッセージリストに表示されない可能性があります。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの表示

1.  ▶  ▶ SMS
2. リストから希望の SMS をタップしてください。
➡ SMS が PCM に表示されます。

ナビゲーション

ナビゲーションの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

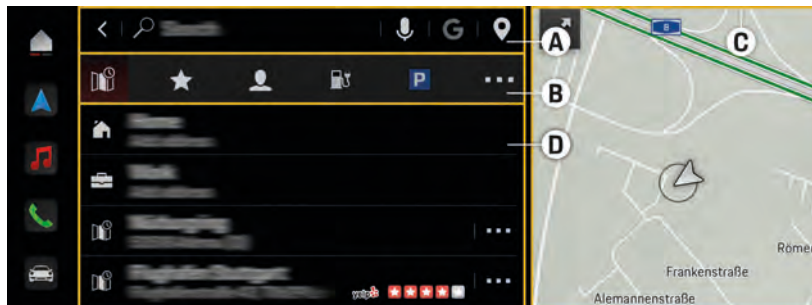







図. 115: 目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	操作箇所
目的地の検索 / 目的地の住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ▶ ナビゲーション <p>コンテンツとインタラクション エリアに候補が表示されます (D (図. 115) を参照)。</p> <p>入力オプション (A (図. 115) を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 検索エリア: ルート沿いまたは付近を検索 - 検索 (国によってはご利用いただけない場合があります): インターネット検索 	-
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルター バー (B (図. 115) を参照) 上で、 を選択します。 	-
連絡先から目的地を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルター バー (B (図. 115) を参照) 上で、 を選択します。 	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
<p>検索結果を絞り込む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 検索結果はフィルターバーで絞り込むことができます (B (図. 115) を参照)。 - 前回の目的地 - お気に入り - 連絡先 - 駐車場 <p>フィルターバーのオプション... (B (図. 115) を参照) からはその他のフィルター (施設情報、充電スタンドなど) を表示できます。</p>	-
<p>マップビューを開く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  	-
<p>ルート オプションを表示する (代替ルートなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション   ▶ オプション... ▶ ルートオプション 	-
<p>ルート案内を開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地の入力 ルート案内を開始 をタップします。 	-
<p>ルート案内の停止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マップ表示で  ▶ ナビゲーション  ▶ ストップ をタッチします。 	-
<p>目的地をお気に入りに追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地を入力するか候補リストから選択 (D (図. 115) を参照)... をコンテンツおよびインタラクティブエリア (D (図. 115) を参照) ☆ から選択してください。お気に入りはマップビューに ★ で表示されます。 	-
<p>交通情報を表示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ルート案内が作動中です。 ▶  ▶ ナビゲーション  	P. 153
<p>オンラインナビゲーションを有効にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 設定  ポルシェ コネクト設定 ▶ ポルシェ コネクト サービス を選択します。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。 	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
ナビゲーション音声案内の設定	▶ ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ 他のナビゲーション設定 を選択します。	-
ポルシェ コネクト サービスを使用する (オンラインマップアップデートなど)	✓ データ接続が確立されていること。ポルシェ コネクト サービスが有効になっていること。ポルシェ コネクト に関する詳細は、www.porsche.com/connect を参照してください。	▶ P. 156
ETC を表示する	- ▶ CAR ▶ ▶ ETC	▶ P. 155

ナビゲーションの使用



警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルと速度で走行してください。



警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

地図からの目的地入力

1. ▶ ナビゲーション を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。

3. 表示された住所をタッチして、ルートナビゲーションを開始します。

代替ルート

マップビューには最大3つのルートが表示されます。

1. マップビューで、... ▶ 代替ルートを選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。
3. 代替ルートをタップして選択します。
➡ 選択したルートが強調表示されます。
4. 開始を選択し、ルート案内を開始します。

ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは、1つの目的地と最大8箇所の経由地からなります。

ツアーの入力および開始

1. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 目的地を入力 ▶ 開始。
2. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 経由地を入力 または 選択 ▶ ... ▶ 経由地として追加。
3. ツアーを開始。

ツアーの編集

経由地の順番は後で変更できます。

- ✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション ... ▶ ルートの編集から該当する経由地のアイコン を押したままにし、目的の位置にドラッグします。

地図コンテンツの設定

1. ▶ ナビゲーション ▶ (サイドバーの左)
2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする (一部の国別仕様では不可) :

- 北向き：常に地図の上方が北になります。
- **3D マップ**：3D マップビュー（と 2D ビュー）の表示または非表示を切り替えます。
- **サテライトマップ**：地図のサテライトビューの表示 / 非表示を切り替えます。

地図設定の変更

1. ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ マップ設定

2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする（一部の国別仕様では不可）：

- **オートズーム**：地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
- **施設情報を表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
- **3D 建築物**：3D マップビュー（と 2D ビュー）の表示または非表示を切り替えます。
- **デイビュー/ナイトビュー**：マップ上のビューを選択します。

交通情報を表示する

地図上に交通情報を表示 P. 154

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます：

- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞

以下の交通量情報が表示されます。

- **フリーライン**：円滑に流れる交通状態
- **黄色のライン**：動きの遅い交通状態
- **オレンジ色のライン**：のろのろ運転状態

- **赤線**：交通渋滞
- **濃い赤線**：交通渋滞と封鎖されている道路

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も地図上に表示されます。

交通渋滞の回避

ルート案内内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ルートオプション ▶ 道路交通案内の通知を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツプロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負いかねます。

トリップ概要

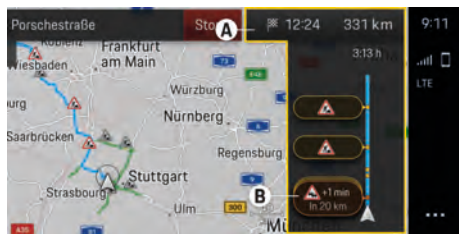


図. 116: トリップ概要の情報

ナビゲーション作動中に をタップすると、トリップ概要を開いたり閉じたりすることができます。エリア **A** (図. 116) をタップすると、ルート概要が表示されます。現在のルート案内に関する以下の情報を確認できます：

- 目的地への到着時刻および距離 (**A** (図. 116) を参照)
- 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (**B** (図. 116) を参照)
- 経由地

以下の交通量情報が表示されます。

- **青色**：円滑に流れる交通状態
- **黄色**：流れの遅い交通状態
- **赤**：交通渋滞

追加情報の表示

- ▶ 地図上またはトリップ概要の情報（渋滞による遅延 **A** (図. 116) など）を選択します。
 このメッセージに関する詳細情報が、PCMの詳細エリアに表示されます。

マップビューおよびナビゲーション情報をインストールメントパネルに表示する

インストールメントパネルの操作に関するインフォメーション：

▶ 103 ページの「インストールメントパネルの操作」の章を参照してください。

地図画面の表示および設定


1. インストールメントパネルの地図画面を選択します。
 ▶ 102 ページの「インストールメントパネルの概要」の章を参照してください。
2. マルチファンクションステアリングホイールから希望のビューオプションを選択してください：

- 手動ズーム：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- オートズーム：地図の縮尺は自動調節されます。
- 3D マップ：3 次元地図を表示します。
- 北向き：常に地図の上方が北になります。
- マップ情報：インストルメント パネルで車両 & 情報画面でマップ表示が選択されていない場合、ナビゲーション作動時にマップが自動的に表示されます。
- 矢印情報：インストルメント パネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューが選択されていない場合、ナビゲーション作動時にメニューが自動的に表示されます。

インストルメント クラスター上でのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストルメント パネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューを選択します。
 - ▶ 102 ページの「インストルメント パネルの概要」の章を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

- ▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ 希望の設定を選択します。

オンラインソフトウェアアップデートの実行

オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、以下をご覧ください：



- ▶ 155 ページの「オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

ETC カードの挿入および取り出し



図. 117: グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカチッと音がするまでカードリーダーに差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 を押してください
 - ▶ ヘッドラインに表示される  は、カードがないこと、またはカード エラーを示します。

ETC 設定

- ✓ ETC カードの詰まり

- ▶  ▶ 車両  ▶ ETC ▶ 支払い方法

- 通行料の表示
- 通行料の警告
- カード抜き忘れ警告

オンラインソフトウェアアップデート

オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール

オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード


国別仕様のオンラインソフトウェアアップデート機能により、PCM と車両をアップデートできます。オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ ポルシェ コネクト スタアでポルシェ コネクト パッケージまたはポルシェ コネクト ケアを購入していること。
- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが My Porsche で有効になっていること。
- ✓ データ接続が正常に完了していること。
- ✓ プライベート モードが無効になっていること。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続状況によって異なります。ダウンロードが完了すると、インストールを開始できます。

オンラインソフトウェアアップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンラインソフトウェアアップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。通知で、いつでもメッセージを表示できます。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート**  を選択してください。

情報

オンラインソフトウェアアップデート中の使用制限。

車両の走行準備が整っておらず、始動できません。 ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ PCM のプロンプトに従ってください (すべての乗員が降車するなど)。
- ▶ オンラインソフトウェアアップデート中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はインストール後のみ使用してください。

1 つのインストール プロセスのみ開始できます。このインストール プロセスは中断できません。インストール時間はオンラインソフトウェアアップデートの内容に応じて異なります。一度インストールしたオンラインソフトウェアアップデートは元に戻すことができます。

- ✓ オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードが正常に完了していること。
- ✓ 車両が OFF になっていること。
- ✓ パーキングロックとパーキングブレーキが作動していること。
- ✓ バッテリーが十分充電されていること。
- ✓ さらに条件が必要になる場合があります (ドアが開まっている、車両がロックされているなど)。これらの条件は PCM に表示されます。

- ▶ **インストールでオンラインソフトウェアアップデートのインストールを確定します。**

再び走行可能状態を確立すると、PCM に通知が 1 度表示されます。車両を再びフル活用することができます。

インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または**後で通知する**を使用した場合、インストール時間は自動的に延期されます。

オンラインソフトウェアアップデートの失敗

オンラインソフトウェアアップデートの実行中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果は PCM に表示されます。

エラーが発生する場合、PCM の該当する情報を厳守してください。

情報

オンラインソフトウェアアップデートの失敗による損傷と使用制限。

表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ コネクト

可用性

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータスラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

▶ 145 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

登録および有効化

Porsche ID アカウント (ポルシェ コネクト ユーザー) とポルシェ コネクトサービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントを有効にするための E メールを受け取っていること。

1. E メール「Porsche ID アカウントを有効にする」ボタンをクリックし、確認コードを入力します (保存されている携帯電話番号に送信されます)。
2. Porsche ID アカウントのパスワードとセキュリティコードを設定します。
3. プロフィール情報を入力し、一部の国で設定されているポルシェ コネクトの無料ご利用期間を有効にします (該当する国ではバックグラウンドにて自動的に反映)。

① インフォメーション

Porsche ID を有効にするための E メールが届かないようであれば、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

暗証コード

車内で Porsche ID のログインを完了させ、アプリや My Porsche から一部のリモートサービスをご利用いただくためには、セキュリティコードを指定する必要があります。

1. My Porsche を開きます。[ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。]
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. セキュリティコードは、ユーザー設定において設定、変更、またはリセットできます。

以下のサービスを使用する場合など、国によってはセキュリティコードを発行する必要があります。

- 乗車後に Porsche ID をロック解除 [「セキュリティコードでログイン」が設定されている場合]
- 車両のログイン設定を変更 [「セキュリティコードなしでログイン」などに変更]
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- 追加ユーザーのためのリモート機能の作動

My Porsche 経由での追加サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントが有効になっている。

1. My Porsche を開きます。[ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。]
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. サービス タブを選択します。
➡ 利用可能なサービスが表示されます。
4. ご希望のサービスを選択します。
5. アクティベーションと設定を行います。

▷ 155 ページの「オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

① インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広いポルシェ コネクト サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料ご利用期間、ならびにそれ以降の費用やアクティベーション、ご利用、ご利用可能な各サービスに関する詳細情報については、www.porsche.com/connect をご覧いただくか、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 国によっては、ポルシェ コネクト サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポットで利用できます (ロシアでのみ利用可能)。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。

サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

車両での Porsche ID (ポルシェ コネクトユーザー) のログイン

一部のポルシェ コネクト サービスをご利用いただくためには、車両で Porsche ID のログインが必要となります。このログインを行うことにより、My Porsche のパーソナル設定を車両で呼び出すことができます。

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID) が作成されていること。
- ✓ セキュリティコード (参照先: ▷ P. 157) が Porsche ID 用に My Porsche で作成されており、コードを把握していること。

1. 🏠 ▶ 設定 ⚙️ ▶ アカウント ▶ アカウントの設定

2. Porsche ID、E メールアドレス、My Porsche パスワードを入力し、**ログイン**で確認します。

ナビゲーションシステムおよびボイスコントロールシステムを使用する

- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル施設情報やその他の施設情報カテゴリーをロードする場合のオンライン検索。
- 追加地図画面
- リアルタイム交通情報では、インターネット経由で事故、工事作業、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索

データ接続の確立

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する

国によっては内蔵 SIM カード経由のデータ接続確立オプションをご利用いただけない場合があります。

✓ プライベート モードが無効になっていること。

▶ 158 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- プライベート モードが無効です。
- 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所（電波の届かない場所ではない）にあります。

▶ 必要に応じて PCM を再起動してください。



外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立は、現在ロシアでのみ利用可能です。

インフォメーション

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続には、（データ ローミングなどによる）追加のコストが発生する場合があります。

✓ 電話の WiFi ホットスポットが公衆ホットスポットを利用できます。

1. ステータス エリア  または  において（接続ステータスによって異なる）、... ▶ WiFi 設定

▶ 外部ホットスポットを検索を選択します。



➔ WiFi ネットワークが検索され、表示されます。

2. WiFi ホットスポット（公衆ホットスポットや電話の個人ホットスポットなど）を選択し、PCM に WiFi アクセスデータを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。

➔ 外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

PCM WiFi ホットスポットの有効化

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

1. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す：  ▶ 設定  接続ウィザード ▶ 車両ホットスポットに接続

➔ デバイス名と PCM WiFi パスワードがセントラルディスプレイに表示されます。



2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセスデータを入力するか、デバイスを使用して PCM に表示された QR コードをスキャンします。

➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

管理と設定



Porsche ID (ボルシェ コネクト ユーザー) の管理

✓ Porsche ID (ボルシェ コネクト ユーザー) がログインしている。

▶  ▶ 設定  ▶ アカウント 希望のアカウントを選択... ▶ アクションを実施：

- セキュリティコードでログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID およびセキュリティ コードを確定する必要があります。
- セキュリティコードなしでログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確定のみが必要になります。
- 自動ログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。
- アカウントの削除：Porsche ID は車両から削除されます。
- アカウントからログアウト：Porsche ID は車両からログアウトされます。ゲスト アカウントが有効になります。



サービス概要を表示

▶  ▶ 設定  ▶ プライバシーおよびボルシェ コネクト設定 ▶ すべてのボルシェ コネクト サービス一覧を選択します。
➔ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

リモート アクセス権限の付与

車両で My Porsche またはボルシェ コネクト アプリ（国別仕様による）のサービス制御プログラムを使用するには、リモート アクセス認証が必要です。リモート アクセス認証は、メインユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動付与されます。

- ✓ メインユーザーが少なくとも 1 回車両にログインしています。

▶ 以下で登録済みユーザーを確認します：  ▶ **設定**  ▶ **アカウント**

アプリ

国によって利用可能なアプリが異なります (Apple App Store または GOOGLE Play Store からダウンロードできます)。



警告

運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。



- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。



My Porsche アプリ 1

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両に接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することができます。加えて、故障発信をアプリで起動することができます (利用可能性は国別仕様により異なります)。以下の機能などを利用できます： 走行可能距離、燃料レベルやバッテリーステータスの確認、リモート操作による車両のロック・ロック解除、エアコンや補助ヒーターの作動と停止、パーソナル POI (施設情報) の管理と車両への送信、携帯電話のカレンダーから目的地を PCM に転送。さらにこのアプリを使用して、製品機能やイベントなど、ポルシェ ブランドに関する現在の情報にアクセスできます。

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが電話にインストールされていること (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 電話で WiFi 機能が有効になっていること。
- ✓ PCM の WiFi 機能が作動している。

1.  ▶ **デバイスをタップします**  ▶ **WiFi 設定** ▶ **インターネット アクセスを有効にする** をタップします。

2. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す：  ▶ **デバイスをタップします**  ▶ **接続ウィザード** ▶ **PCM でホットスポットに接続します**。
➔ PCM のデバイス名および WiFi パスワードが表示されます。

3. デバイスの WiFi 設定に表示された PCM WiFi アクセス データを入力するか、表示された QR コードを電話でスキャンします。
➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

車両とアプリ間の通信を無効にすることができます。

▶ 158 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワーク経由でデータが送信されるため、ご利用のサービス プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

ポルシェトラック プレジジョン アプリ

▶ P. 159

ポルシェトラック プレジジョン アプリを使用し、無線通信 (WiFi) 経由でスマートフォンを車両に接続することができます (一部の国のみ)。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。ポルシェトラック プレジジョン アプリを使用するために、SIM カード / データ接続が必要ない場合があります。

PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション：

▶ 158 ページの「データ接続の確立」の章を参照してください。

ポルシェトラック プレジジョン アプリのインストール、機能および管理に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。



危険

車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビングスキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときのみ使用してください。公道では使用しないでください。

インフォメーション

アプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

1. 名前と機能は変更される可能性があります

スマートサービス



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要としています。スマートサービス(国別仕様による)を使用すると、メンテナンスおよび修理データ呼び出して更新できます。構成部品のメンテナンスまたは修理が必要な場合、PCMにメッセージが表示されます。

スマートサービスの作動

コネクストアのコネクタカーパッケージの一部として作動します。その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▶ 156 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。



インフォメーション

ポルシェコネクタに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェコネクタ取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

スマートサービスの使用

作動後、現在のスマートサービスデータをPCMで確認できます。

スマートサービスを開く

▶  スマートサービスを  をタップします。

➔ 以下の構成部品などに関するスマートサービスデータを含む概要が表示されます：

- ブレーキフルード
- キャビンフィルター
- 一般的な点検

コンポーネントの機能の呼び出し

✓ スマートサービスが開いていること。


1. 希望のコンポーネント横にある…をタップします。
2. 希望の機能を選択してください。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- 手順を開きます。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示します。
- コンポーネントをリセットします。
- 新しい有効期限を入力してください。

コンポーネントの停止または作動

✓ スマートサービスが開いていること。

1. 希望の構成部品を選択 ▶ 設定 
2. コンポーネントを停止 / 作動します。
 - ➔ 停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

▶ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の機能を利用できます。

- メッセージを読み上げます。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示します。
- メッセージを閉じます。メッセージはPCMを再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、My Porsche で開くことができます。

▶ 156 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

スマートサービスの停止

- ▶ プライベートモードを有効にして、スマートサービス(国により利用可能)を無効にします。
 - ▶ 158 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

インフォメーション

個々のサービスは、My Porsche のコネクタ設定から無効にすることができます。

クロノストップウォッチ

機能

クロノストップウォッチを使用して、PCM およびインストルメントクラスターで時間を停止、評価、表示できます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ (車両位置や速度など)

記録中、以下を表示できます。

- 現在のラップ数
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラーレート
- 現在タンクに残っている燃料で走行可能な距離および完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間
- 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

99 時間、59 分 59.99 秒まで記録および表示できます。

クロノストップウォッチの操作

ダッシュボードのストップウォッチ



図. 118: クロノストップウォッチ

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログポインターは秒を表示します。デジタル表示には最初の 1 分まで 1/100 秒で表示されます。その後、表示は 2 番目のステップに進みます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

▷ 108 ページの「どらびんぐでーたのひょうじ(とりっぷじょうほう)」の章を参照してください。▷ 143 ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

PCMのストップウォッチ

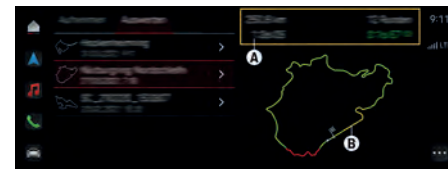


図. 119: PCMのストップウォッチ

- A** ラップタイム、ラップ回数およびタンクに残っている燃料で走行可能な残りの距離などの記録に関する情報。
- B** トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：基準ラップと比較してすでに完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い(緑色)、同一(黄色)、または遅い(赤色)のいずれであるかを示すカラーレート。

計時の開始

- ▶ **Sport Chrono ▶ 開始**
 - ▶ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono 停止**

計時の継続


- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono 続ける**

ラップの停止 / 新しいラップの開始


1回の記録で最大 99 ラップを保存することができません。

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ 新しいラップ
 - ➔ ラップカウンターの値が 1 ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。


中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ 中間タイム
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット


✓ 計時が停止されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ リセット
 - ➔ すべてのストップタイム表示は 0 にリセットされ、走行記録は停止されます。

基準ラップの読み込み


- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ラップの読み込み

基準ラップの保存

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示
 - ▶ 評価 希望の記録を選択 **基準ラップの保存**


記録の表示と編集および統計の記録

1回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されません。最大で 10 時間の記録が可能です。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示
 - ▶ 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ ... ▶ Sport Chrono 評価 が選択されています。
- ✓ インポート / エクスポート用に接続された USB データバンク。データは、記憶媒体の「SportChrono」フォルダーに保存されています。データバンクは FAT32 か exFat (Windows または Linux) にフォーマット化されています。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ...

スポーツクロノの設定

追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さとは別に、他の走行データ (速度など) を 1 秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 詳しいデータ記録

許容距離差の設定

基準ラップの長さとは任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 許可されたルート偏差

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一 (黄色マーク) と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 評価の最大タイム差

最速ラップ (ゴーストカー) の車両位置の表示

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 最速ラップの位置を表示

インストールメントパネルのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。



図. 120: インストルメントパネルのストップウォッチ

- A ラップカウンター
- B サークルディスプレイ：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。
- C コントロールコマンド
- D 基準ラップタイム
- E 現在のラップタイム

計時の開始

- ▶ **Sport Chrono ▶ 開始**
 - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **Sport Chrono ▶ 停止**

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 続ける**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

1回の記録で最大99ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **Sport Chrono ▶ ラップ**
 - ➔ ラップカウンターAが1ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイムとして保存されます。

中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **Sport Chrono ▶ 中間タイム**
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。
 - サークルダイアグラムBの数字は設定された各中間タイムを示します。

ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止されました。
- ▶ **Sport Chrono ▶ リセット**
 - ➔ すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

電話

電話の概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 113 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

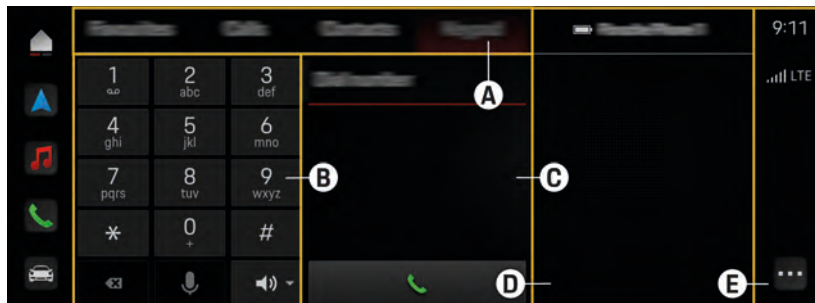














図. 121: 電話番号の入力 (キーボード)

希望する操作	操作方法	操作箇所
Bluetooth® を介した電話の接続	▶ ▶ 電話 、既知デバイスを選択または新規検索 ▶ 検索開始 をタップします。	▶ P. 165
接続されている2台の電話を切り替える	▶ ステータスエリア (D (図. 121) を参照) で現在接続されている電話を選択します。既に接続している2つのデバイスが表示されます。希望する電話を選択してください。 - または - ▶ ステータスエリア (E (図. 121) を参照) で をタップします。	-
電話をお気に入りに設定	▶ ▶ デバイスをタップします ☆ をタップします。	-
デバイスリストから電話を削除	▶ ▶ デバイスをタップします をタップします。 削除する電話の行を右から左にスワイプします。 デバイス リストから電話が削除されます。	-
接続済みオーディオ再生デバイスの切り替え	▶ ▶ 電話 ▶ キーボード (B (図. 121) を参照) をタップします。希望の再生デバイスを選択します。	-
ダイヤル番号	▶ ▶ 電話 ▶ キーボード (B (図. 121) を参照) をタップします。	-
連絡先をお気に入りに登録する	▶ ▶ 電話 ▶ お気に入り (A (図. 121) を参照) + お気に入りに追加 ▶ 希望の連絡先をリストから選択 ▶ ☆ をタップします。	▶ P. 165

希望する操作	操作方法	操作箇所
通話履歴を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 通話履歴 (A (図. 121) を参照)	—
連絡先を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 連絡先 (A (図. 121) を参照)	—
メッセージを表示する	▶  ▶ 通知  をタップします。	▶ P. 150
ボイスメールを聞く	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド (B (図. 121) を参照) 選択ボタン1 を長押しします。	—
着信に応答する / 拒否する	▶ 応答  または 拒否  をタッチします。	—
通話を終了	▶ キーパッド (B (図. 121) を参照) かステータスエリア (C (図. 121) を参照) で 拒否  をタップします。 — または — マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。	—

モデル、国、機器によって異なる使用方法が可能です。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

▲ 警告

電話の使用による事故の危険あり

走行中に電話を使用すると、注意力が散漫になり交通状況に集中できなくなります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

Bluetooth® を介した電話の接続

新しい電話を接続

▶ 145 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。



▲ 警告

ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

- ▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

- ✓ 電話の Bluetooth® 機能が作動しており、他のデバイスから検出可能になっていること。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっていること。

- ▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続 ▶ 新しい電話を接続 / 新しいオーディオプレーヤーを接続をタップします。
- リストからデバイスを選択してください。
➡ 6桁の Bluetooth® コードがPCMと該当す

荷物および運搬

収納スペース

荷物の収納

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

▲ 警告

センター コンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かがパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

情報

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両装備により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- 2ドリンクホルダー
- グローブボックス
- ドアのボトルホルダー付き小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- センターコンソールの小物入れ
- アームレストの小物入れ

グローブボックスの開閉



図. 123: グローブボックスを開く

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
 - ➔ グローブボックスは自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

小物入れの取り付けおよび取り外し

▲ 警告

センターコンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かがパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。



図. 124: 小物入れの取り付けおよび取り外し

小物入れの取り付け

車両には、センターコンソールに挿入できる小物入れが付いています。

- ▶ センターアームレストの前の開口部に小物入れを挿入し、可能な限り下方に押し込みます。

小物入れの取り外し

- ▶ 小物入れを握って取り外します。

アームレストの小物入れを開く



図. 125: アームレストの小物入れを開く

小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタンを押してください。
 - ➡ リッドが自動的に開きます。

ドリンクホルダー

ドリンクホルダーの使用

▲ 警告

センターコンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かがパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ ドリンクホルダーに合う容器のみを使用してください。
- ▶ 一杯に入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ 走行中は、助手席側のドリンクホルダーを必ず閉じてください。

情報

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 一杯に入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

ドリンクホルダーは、センターコンソールに1個、助手席側のアウターエアメントの下に1個あります。

ドリンクホルダーのセンターコンソールへの挿入



図. 126: ドリンクホルダーのセンターコンソールへの挿入

- ▶ ドリンクホルダーを挿入し、カチッと音がして収まるまで押し込みます。
 - ➔ ドリンクホルダーが使用できます。

車両装備により、ドリンクホルダーに挿入できる灰皿が利用可能です。

▶ 172ページの「スモーカーズパッケージ」の章を参照してください。

ドリンクホルダーのセンターコンソールからの取り外し



図. 127: ドリンクホルダーのセンターコンソールからの取り外し

- ▶ ボタンを押して、カップホルダーを上方に取り外します。

助手席側のドリンクホルダーの使用



図. 128: ドリンクホルダー

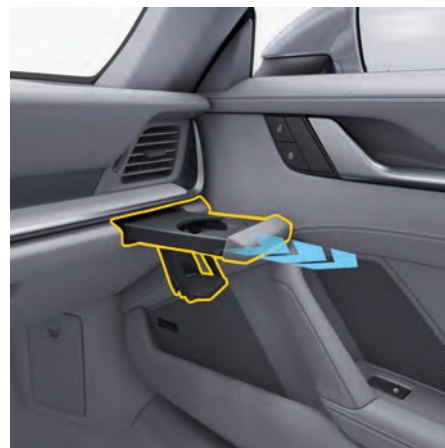


図. 129: ドリンクホルダーを開く

1. 助手席側のアウターエアベントの下のパネルを押し込んで、開きます。
➡ カップホルダーが自動的に開きます。
2. 閉じるには、カップホルダーをカチッと音がして収まるまで挿入します。

ラゲッジコンパートメント

荷物の積載



警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。



警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送して、車室内(座席の上または前など)には絶対に入れないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れカバーを必ず閉じます。



警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

ラゲッジコンパートメントの開閉

▶ 31 ページの「ラゲッジコンパートメントリッドの開閉」の章を参照してください。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム - TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

停止表示板の取り外し

停止表示板 **A**(図. 130) (国別仕様により異なります) はラゲッジコンパートメントの裏側に収納されています。

応急処置キットの固定と取り外し

応急処置セット **B**(図. 130) (国別仕様により異なります) は、ラゲッジコンパートメント内のカーペットにマジックテープで固定することができます。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)および工具セットの取り外しと収納



図. 130: タイヤシーラントが入ったプラスチックの箱



図. 131: タイヤシーラントおよび工具セット

- D タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)
- E アダプターを取り付けます
- F けん引フックを緩めます
- G 両口スパナ
- H ドライバー
- I セントラルホイールロック用レンチ ソケット

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)および工具セットの取り外し

- ▶ ハンドルの取っ手部分のプラスチックカバーを取り外してください。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)および工具セットの収納

1. ラグは下部に挿入してください。
2. プラスチックカバーは上部にはめ込みます。

タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し



図. 132: プラスチックカバーの解除と引き上げ

1. プラスチックカバーの取っ手(矢印)を持って持ち上げ、ラッチを外します(外れる音が聞こえます)。
2. プラスチックカバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。



図. 133: プラスチック カバーの取り付け

3. プラスチック カバー下側の固定ストラップを外し、ラゲッジ コンパートメント リッドに取り付けてください。



図. 134: タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースのリッドを開きます。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納

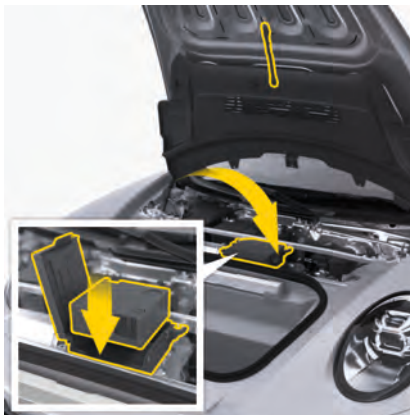


図. 135: タイヤ充填コンプレッサーの収納

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースに入れます。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。



図. 136: プラスチック カバーを閉じる

3. 固定ストラップを外し、プラスチック カバーに取り付けてください。
4. プラスチック カバーの後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置きます。プラスチック カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング ピンが該当するガイドにはまっていることを確認します。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押ししてください。

スモーカーズ パッケージ

灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に紙類が入っていると引火する可能性があります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

灰皿の挿入



図. 137: 灰皿の挿入

車両装備によっては、センター コンソールのドリンクホルダーで灰皿が利用可能です。

▶ 167 ページの「ドリンクホルダー」の章を参照してください。

- ▶ 灰皿をドリンクホルダーに挿入し、いっばいに押し込みます。

灰皿の開閉



図. 138: 灰皿の開閉

- ▶ リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

灰皿の取り外し

- ▶ 灰皿を握って取り外します。

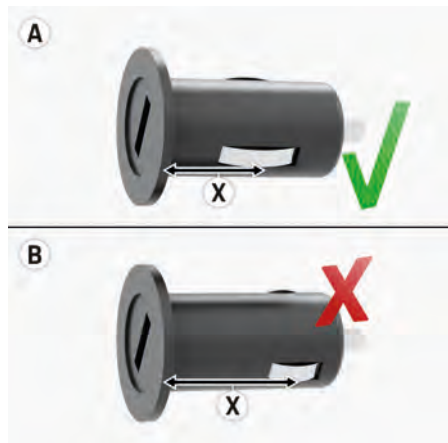


図. 139: 12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター

電気ソケット

12V プラグ ソケットの使用

12V プラグ ソケットには電装品 (アクセサリ) を接続できます。

12 ボルト プラグ ソケットは助手席側の足元にあります。

充電アダプターの接続

① インフォメーション

- 12V プラグ ソケットおよび接続している電装品 (アクセサリ) は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを ON にしてください。
- 電装品が 1 つだけ作動している場合、12V プラグ ソケットの最大電流値は 20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合、12V プラグ ソケット当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

- A 適切な充電アダプター
- B 使用できない充電アダプター

情報

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A (図. 139)) のみを使用してください：
グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X は、約 16 mm 未満である必要があります。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X が 16 mm を超える不適切な充電アダプター (B (図. 139)) を使用すると、12V プラグソケットが損傷することがあります。

モビリティおよび軽修理

12Vバッテリー

一般的な安全に関する指示

装備に応じて、車両には 60 Ah または 40 Ah の容量 (軽量バッテリー) の 12V リチウム バッテリー (LiFePO4) が装備されています。

リチウム バッテリーにはステッカーが貼られています。

- ▶ いかなる場合も、ステッカーをはがしたり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リチウムバッテリー



警告

感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。

- ▶ 電気システムでの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

情報

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ 電気システムの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。



図. 140: リチウムバッテリー

12V リチウム バッテリーはラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります。

プラスチック カバーの取り外しに関する情報：

- ▶ 169 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。

12V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気システムは自動的に再作動します。12V リチウム バッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されます。

- ▶ 176 ページの「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。

リチウムバッテリーの安全シンボル



説明書をお読みください



保護メガネを着用してください



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください



爆発の危険があります



腐食性やけどの危険があります

電解液は腐食性が高いです：保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。



応急処置

電解液が目に入った場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



メンテナンス作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定のリチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクトロニカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。

バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リチウムバッテリーのお手入れ

希望する操作	操作方法
バッテリー上がりを避ける	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチをOFFにします。 ▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。
冬季走行の準備をする	▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーを充電する	▶ 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。

希望する操作	操作方法
車両を保管する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両をガレージやワークショップで長期間保管する場合は、ドアとリッドを閉めておきます。 ▶ イグニッションをOFFにしてください。
i インフォメーション	<p>車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはリチウムバッテリーに適したCC/CVまたはpure CV充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェでは、ボルシェテクニクメンツの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。

リチウムバッテリーの充電



図. 141: リチウムバッテリー端子

⚠ 警告

損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使用すると、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。化学火傷およびブースター、充電器、または車両への深刻な損傷が発生する可能性があります。

- ▶ リチウムイオンテクノロジーのブースターは使用しないでください。
- ▶ 内蔵型電子保護回路付きの LiFePO_4 バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- ▶ 以下の最大値を絶対に超えないでください。
 - 最大充電電圧：14.8 V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
 - 最大充電電流：90 A
- ▶ 疑わしい場合：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
 - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
 - ▶ 169 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
 2. ジャンパーケーブル接続用のプラス端子のキャップ(+ [図. 141]) を開きます。
 3. 充電器の赤色のプラスケーブルを、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 (+) に接続してください。
 4. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所 - (図. 141) に接続します。

5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
7. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。

適切な充電器に関する情報は、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

装備に応じて、車両には 60 Ah または 40 Ah の容量 (軽量バッテリー) の 12 V リチウムバッテリー (LiFePO4) が装備されています。

リチウムバッテリーにはステッカーが貼られています。

- ▶ いかなる場合も、ステッカーをはがしたり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

リチウムバッテリー ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

12 V リチウムバッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパーケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気システムは自動的に再作動します。12 V リチウムバッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されます。

他の車両のバッテリーを、ジャンパーケーブルを介してエンジンを始動したり、外部電源にしたりするために使用できます。両方のバッテリーの公称電圧は 12 V でなければなりません。支援車側のバッテリーの容量

(Ah) が、上がったバッテリーの容量に比べて小さすぎではなりません。上がったバッテリーは、必ず車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 174 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

警告

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品 (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。

警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがありません。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

情報

完全放電したリチウム バッテリーにジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が実施されると、損傷を起こす恐れがあります。

- ▶ リチウム バッテリーの完全放電が疑いがある場合、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を行わないでください。

ジャンプ スタート



図. 142: リチウム バッテリー端子

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
▶ 32 ページの「ラゲッジコンパートメント リッドの緊急ロック解除」の章を参照してください。
2. ラゲッジコンパートメント カバーを取り外してください。
▶ 169 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
3. 赤色の**プラスケーブル**をジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
4. 赤色の**プラスケーブル**を支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色の**マイナスケーブル**を支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色の**マイナスケーブル**をアース箇所 - に接続します。

7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けしないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、まず黒色のマイナスケーブルをアース箇所から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動状態のまま、赤色のプラスケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブル接続用のプラス端子 + から外します。

リチウムバッテリーの交換



警告

不適合な 12V リチウムバッテリーによる火災の恐れ

車両電気リカルシステムの著しい作動不良に加えて、不適合な 12V リチウムバッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります [充電中など]。

- ▶ ご自身では絶対に 12V リチウムバッテリーを交換しないでください。この車両の 12V リチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定の 12V リチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、電気リカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- ▶ 必ずボルシェ正規販売店に 12V リチウムバッテリーの交換を依頼してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ リチウムバッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存します。
 - ▶ 29 ページの「ウィンドウ」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
 - ▶ 194 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

けん引

車両のけん引



インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムを OFF にします。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要があります。

けん引または押しがけによるエンジンの始動

情報

PKD 装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによるエンジンの始動は**行わないでください**。
- ▶ マニュアルトランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時のみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する可能性があります。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

けん引ロープの使用

- ▶ 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けます。
 - ▷ 180 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。
- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーは車両間で斜めに取り付けしないでください。

車両のけん引



警告

パワーアシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、パワーステアリングを利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。

エンジンが停止している場合、トランスミッションオイルの十分な循環は保証されません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

PKD 装備車に関する重要な情報：

- ▶ PKD がエマージェンシーモード〔警告メッセージがトランスミッションの故障を表示している〕の場合、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
 - ▷ 180 ページの「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章を参照してください。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- ▶ バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。
 - ▷ 174 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。
 - ▷ 176 ページの「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

4 輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- ▶ けん引される車はイグニッションスイッチを ON にして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引時の指示

- ▶ ステアリングロックがロックされないようにイグニッションを ON にします。
- ▶ 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

車両のけん引

- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：ギヤシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
- ▶ PKD 装備車：セクターレバーを **N** の位置にします。ディスプレイおよびセクターレバーで正しくセクターレバーを **N** の位置にするためには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セクターレバーが **N** の位置にあり、ディスプレイ上でもセクターレバー位置が **N** に表示されれば、車両をけん引できます。
- ▶ けん引するときの速度は 50 km/h 以下にしてください。けん引距離は 50 km 以内にしてください。50 km を超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
 - ▷ 180 ページの「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章を参照してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

けん引フックの使用



図. 143: けん引フックを緩めます

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▶ 169 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチックカバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツール(例: スクリュードライバー)で慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック A(図. 143) を反時計方向いっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けます。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A(図. 143) を外します(時計回りに回転、逆ねじ)。
2. 開口部の下端にプラスチックカバーを差し込んでください。
3. プラスチックカバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押しします。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶および積載車での車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
2. 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
 - ▶ 26 ページの「警告システム」の章を参照してください。

フラットベッドの使用

車両をフラットベッドに載せる

フラットベッドは、トランスミッションパーキングロック(PDK 装備車両)またはエレクトリックパーキングブレーキを解除できる場合にのみ使用してください。故障(バッテリーの放電など)が発生した場合は、車両をフラットベッドに積み込まないでください。



図. 144: 車両をフラットベッドに載せる

PDK 装備車

1. セレクトターレバーを N の位置にします。
2. イグニッションを OFF にしてください。

約 30 分間、車両のタイヤを回転させることができます。その後、トランスミッションパーキングロックが自動的に作動します。

3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。
4. ウインチケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

マニュアルトランスミッション装備車

1. トランスミッションをニュートラルにシフトします。
2. イグニッションを OFF にしてください。
3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。

- ウインチ ケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

車両をフラットベッドに固定する



図. 145: 車両をフラットベッドに固定する

- 後輪の開口部からラッシング ストラップを慎重に巻きつけます。ラッシング ストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシング ストラップがリム ビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキ キャリアを損傷しないように注意してください。
- フラットベッドの後部にストラップを固定します。
- ラッシング ストラップに張力がかかる程度だけ、ウインチ ケーブルを引き込みます。
- 前輪の開口部からラッシング ストラップを慎重に巻きつけます。ラッシング ストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシン

グストラップがリム ビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキ キャリアを損傷しないように注意してください。

- フラットベッドの前面にストラップを固定します。
- ウインチ ケーブルをゆるめますが、外さないでください。

ブレーキ フルード ブレーキ フルード レベルの点検



図. 146: ブレーキ液タンク

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ フルード レベルを読み取ります。フルード レベルは必ず MIN マークと MAX マークの間でなければなりません。
- ▶ ブレーキ フルード レベルが MIN マークより下にある場合は、ブレーキ フルード液を補充します：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換



危険

ブレーキフルードの飲み込み

ブレーキフルードは健康に有害であり、飲み込むと死に至る可能性があります。

- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ ペットをブレーキフルードに近づけないでください。ペットは、こぼれたブレーキフルードや開口容器に保管されている古いブレーキフルードに引き付けられる可能性があります。
- ▶ ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、すぐに患部をきれいな水で数分間すすいでください。直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ ブレーキフルードの補充容器に関するすべての情報に注意を払ってください。

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでください。
 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 15 ページの「お出かけの前に：車両に関する重要な情報」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストルメントクラスターに警告灯 (🚨) と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

クーラント

一般的な安全に関する指示



警告

エンジンコンパートメントブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローアやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローアはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブローア、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

▲ 警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントリザーバーには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントタンクのキャップを開かないでください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。

情報

警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして冷却してください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 122 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37℃までの凍結防止の働きがあります。

クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

ポルシェが認定した不凍液のみを使用してください：

- Glysantin® G40®

クーラントレベルの点検と補充

▶ 102 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

▶ 33 ページの「エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)」の章を参照してください。



図. 147: クーラントリザーバータンクの表示

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
 - ✓ エンジンが冷えていて、水温計が60℃以下である。
1. クーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルは必ず min マークと max マークの間でなければなりません。
 2. クーラントレベルが min マークより下の場合は、クーラントを補充します。
 3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
 4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
 5. クーラントを補充します。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。補充するときに max マークを超えないようにしてください。
 6. リザーバータンクのキャップをしっかりとロックするまでねじ込んでください。
 7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。

▶ 早急に原因を解消してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン オイル

エンジン オイル レベルの点検

走行スタイルと作動条件によっては、オイル消費量は最大0.8リットル/1,000 kmになる場合があります。オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給するときなど)。

オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低くなりすぎると、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

エンジン オイルはすぐに追加する必要があります。

エンジン オイル レベルの測定と表示

情報

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

i インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します。

- 車両が動いている。
- エンジンが作動温度に達していない。
- エンジンをアイドリングさせていない。
- 車両が傾いている。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ 作動温度でアイドリング中のエンジン。

▶ 車両 ▶ オイルレベル

i インフォメーション

オイル測定には約2分ほどかかります。タイマーにオイルレベルが表示されるまでの残り時間が表示されません。

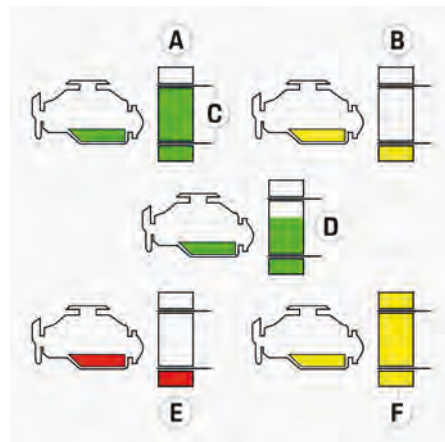


図. 148: インストルメントクラスターのオイルレベルゲージ

- A オイルレベルは十分 - 上限に達している
- B オイルレベルが下限に達している
- C 差は約1.0リットル
- D エンジン作動に最適な推奨オイルレベル
- E オイルレベルが下限を下回っている
- F オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 A(図. 148) の場合、オイルレベルは上限のマークに達していて、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 **B**(図. 148) で表示されている場合、オイルレベルが下限のマークまで低下していることを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメント クラスターに表示されている量のエンジン オイルを補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約 1.0 リットルです。

最下部のセグメントが赤色 **E**(図. 148) で表示されている場合、オイルレベルが下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメント クラスターに表示されている量のエンジン オイルを直ちに補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約 1.0 リットルです。

最上部 **F**(図. 148) まで黄色で表示されている場合、エンジン オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイル レベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

レース サーキットの走行

レース サーキット走行に関する重要な情報：

- ▶ 別冊の「サーキット走行の前に」を参照してください。

エンジン オイルの選択と追加

▲ 警告

エンジン コンパートメント
ブローアおよびエンジン付
近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブローアやドライブ ベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブローアはエンジン カバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジン コンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジン コンパートメント ブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブローア、ドライブ ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

▲ 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾースト システムが高温になります。

- ▶ 触れると火傷する危険があります。
- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン オイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

▲ 警告

エンジン オイルの発火

エンジン オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジン オイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

▲ 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾースト システムが高温になります。

- ▶ 触れると火傷する危険があります。
- ▶ 高温の車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン オイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

情報

エンジン オイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジン オイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロール システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する際は、上限マークのところまでにしてください。オイルを補充しすぎた場合は、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- Porsche Porsche が認定したエンジンオイルのみを使用することを推奨します。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- 定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- ポルシェが認定したオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
- オイル添加物を使用しないでください。
- エンジンオイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

エンジンオイルの選択

ポルシェでは、**Mobil 1** を推奨します。

認定されたエンジンオイルの名前を示すステッカーがエンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)に貼られている場合、ステッカーの情報はこの取扱説明書の情報よりも優先されます。

Porsche は、ポルシェ正規販売店から適切なエンジンオイルに関する情報を入手すること、そしてエンジンオイルを補充する必要がある場合はそれを使用することをお勧めします。

車両	認定	SAE 粘度等級
すべて：	Porsche C40、 または VW 511 00	SAE 0W-40

エンジンオイルの補充



図. 149: オイルフィルター キャップ

エンジンの作動を最適な状態に保つため、オイルレベルは表示エリアの約 75% に調節することを推奨します。

📌 インフォメーション

表示の下限 (Min) と上限 (Max) の差は約 1.0 リットルです。

- ▶ 上限 (Max) を超えてエンジンオイルを補充しないでください。
- ▶ エンジンオイルを追加した後：約 30 秒待ち、オイルレベルを再度測定します。

1. インストルメントクラスターでエンジンオイルレベルを確認します。
2. エンジンを OFF にします。
3. エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を開きます。
▶ 33 ページの「エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)」の章を参照してください。
4. オイルフィルターキャップをゆるめて取り外します。
5. インストルメントクラスターに表示されている量のエンジンオイルを補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約 1.0 リットルです。
6. オイルフィルターキャップを慎重に取り付けます。
7. エンジンコンパートメントリッド(サービスフラップ)を閉じます。

緊急電話システム

故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話によって援助を求めることができます(国別仕様および装備による)。

① インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

- ✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
- ✓ 故障時電話システムの作動準備が整っていること(車両を ON にしてから約 20 秒後)。
- ✓ プライベート モードが無効になっていること。
 - ▷ 156 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

① インフォメーション

故障時電話システムには独立した携帯電話モジュールが備わっているため、車内に電話が登録されている必要はありません。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限(ローミングまたは有効なデータ接続がないなど)により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

データ通信

故障時電話が発生した場合、必要な措置を決定するためのデータ(利用可能な場合)をポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

- 現在の車両位置
- 車両識別番号

- 車両タイプ
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

故障発信の作動

1. ▶ **電話** ▶ **キーパッド**をタップします。
2. **スイッチ** を押します。
故障時電話を終了するには を選択します。
3. 状況が許す場合は、ポルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話はアプリから作動させることもできます(国別仕様によって異なる)。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意



警告 ブレーキディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ポルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ポルシェは、ポルシェ テクニク用品のカーケア用品の使用を推奨します。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認めたいたします。

情報

車両は完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入る事もあります。

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

タイヤ

ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム、および塗装用の保護フィルム

塗装面

オルタネーター

エンジンコンパートメント内の電装部品およびプラグ接続

パークアシストセンサー

リバースカメラ

ワイパーブレード

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 塗装用の保護フィルムを清掃するときは、高圧洗浄機をフィルムの端に向けしないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェットノズルと組み合わせて使用することはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせて使用すると、車両に傷が付きやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェットノズルを直接向けしないでください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部（スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど）に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両エクステリアの清掃とお手入れ

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。車両は完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いをを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

テールパイプカバーの清掃

エキゾーストシステムへの水分の侵入は、触媒コンバーターを損傷し、ノイズを引き起こす可能性があります。

- ▶ テールパイプカバーやその周辺のみを手洗いしてください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。

自動洗車機

情報

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	何に従う必要がありますか？
----	---------------

ウィンドウが下がっていると車内に水が入ります

- ▶ イグニッションを OFF にしないでください。
- または -
車両をロックします。

洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性がります。

- ▶ フロントワイパーのスイッチを OFF にしてください。

危険	何に従う必要がありますか？
外装部品への損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ 車両をロックします。
ホイールへの損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のガイドレールの寸法を確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

情報

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

情報

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりやすいため、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

塗装面のつや出し(研磨)

ペイントポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。

ヘッドライトは磨かないでください。

汚れ、染みの除去

タールの跳ねかかり、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー(防錆剤)を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステムエリア内に防錆剤またはアンダーコーティングを追加で塗布すると、運転時に過熱して発火する可能性があります。

- ▶ エキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒コンバーター、またはヒートシールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェは、ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

デコラティブフィルムの清掃

情報

洗浄時にデコラティブフィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

カーボンファイバー強化プラスチック (CFRP) の清掃

- ▶ 露出したカーボン部品のお手入れと洗浄のために、いかなる種類の研磨剤を含む薬剤を使用しないでください。

保護フィルムのお手入れの諸注意

情報

保護フィルムのお手入れを不適切な方法で行うと、損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護フィルムのメーカーが提供するお手入れの諸注意に従ってください。
- ▶ フィルムを貼った後、少なくとも 48 時間経過するまで、洗車を控えてください。
- ▶ 洗車機を使用する場合は、布製の洗車機のみ洗車してください。洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 高圧洗浄機の水流をフィルムの端に直接向けないでください。
- ▶ ゴミをできるだけ早く取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れを取り除くには、99% イソプロパノール溶液を使用します。
- ▶ ホットワックスを均等に塗ります。ワックスはスムーズかつ均一に塗布するようにしてください。

ウィンドウ、ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品および表面、センサーとカメラの清掃

ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する (疎水性の) 撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウをふき取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクトリムーバーで取り除きます。

ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品および表面、センサーとカメラの清掃

情報

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、車両カメラ、プラスチック部品および表面を清掃するときは、きれいな水と、少量の液体洗剤またはインテリア ガラスクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチセンサー式ボタンを有するセンターコンソールの清掃には、マイクロファイバークロスのみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ワイパー ブレードのお手入れ

情報

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィットコーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機のノズルまたはスチームコリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロントワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合 (虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃します。

ワイパーブレードは年に2回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

ホイールのお手入れ

▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗浄剤(ホイール洗浄剤など)がブレーキディスクにかかる、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗浄剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォータージェットでブレーキディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

酸化除去効果のある洗浄剤やpH値が不適切な洗浄剤(他の金属に通常使用されるもの)、および機械的なツールや製品は、表面を損傷するため使用に適しません。

- ▶ 合金製ホイール用の中性洗剤(pH値:4~10)のみを使用してください。pH値が不適切な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

ドア、ルーフ、リッド、ウィンドウシールの清掃

情報

インナー ドアシールの潤滑剤コーティングは、不適切な清掃やケア用品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください:

- ▶ 定期的にすべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、砂など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウタードアシールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

車内の清掃とお手入れ

革のお手入れ

情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに除去してください。

適切な車両の清掃とお手入れのために、次の点を遵守してください:

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ(水性の染みではない)は、革用洗浄剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
ボルシェ社では、ボルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。

カーペットおよびフロアマットの清掃

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

フット マットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 電気掃除機または柔らかすぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ 染み抜きを使用して、ひどい汚れや染みを取り除きます。
ボルシェ社では、ボルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ボルシェは適正なサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品 (ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフフレームパネルなど) にはいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤、ドライフォーム、柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

Race-Tex やその他の生地のお手入れ

Race-Tex / その他の生地のできたマイクロファイバーカバーの清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。

日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面が恒久的に変化してしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、汚れた部分の外側から内側へ軽くたたいてください。

Race-Tex マイクロファイバーカバー装備のステアリングホイールは常に皮膚に接触するため、よりひどく汚れる場合があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、アウターステアリングホイールリムを拭き取ります。
- ▶ 汚れがひどい場合、洗剤メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張り泡クリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽く擦ったり、たたいたりして清掃できます。

シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

画面とタッチディスプレイの清掃

情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類 (エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール) などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面を OFF にしてから行ってください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 画面とタッチディスプレイは擦ると傷が付く恐れがあります。時折、清潔で柔らかい乾いた布 (マイクロファイバークロス) で慎重に画面とタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用して拭き取ります。

車両の保管

車両を長期保管する場合：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策 (腐食の予防、お手入れ、メンテナンス、保管など) についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 178 ページの「けん引」の章を参照してください。

バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：

▶ 34 ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

テスト スタンドでの測定

テスト スタンドでのテストの実施

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は低濃度でも人体に有害です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていないか正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですでおやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。

パフォーマンス テスト

ポルシェでは、ローラータイプテスト スタンドでのパフォーマンス テストを承認していません。

ブレーキ テストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテスト スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- 測定速度 7.5 km/h
- 測定時間 20 秒

エレクトリック パーキング ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテスト スタンドでエレクトリック パーキング ブレーキのテストを行うときは、必ず**イグニッションを ON**にし、**マニュアルトランスミッションの場合はニュートラルに、PDK セレクターレバ一の場合は N の位置**にします。

車両が自動的にブレーキ テスト スタンド モードに切り替わり、エレクトリック パーキング ブレーキのテストが可能になります。インストルメント パネルに通知が表示されます。

タイヤおよびホイール

積載荷重および速度の要件を満たす

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイールアライメントに加えて、お客様の運転スタイルにも左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 適切な速度で走行してください。
 - ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▶ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

情報

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム

タイヤ空気圧の点検

情報

– 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない [空気を抜かない] してください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 150: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、冷間時 (20 °C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ 少なくとも 2 週間に 1 回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメントクラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペアホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ボルシェ正規販売店で点検を受けてください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告

パフォーマンス空気圧での高速走行

パフォーマンス空気圧が有効なときに過剰な速度で走行すると、タイヤとホイールに修復不能な損傷を与える恐れがあります。

- ▶ インストルメントクラスターに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実測空気圧) の表示。
- 2段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。
- サーキットを走行するための個々のタイヤ空気圧の保存と監視。

タイヤ空気圧警告灯 (⚠) とインストルメントパネルの対応のメッセージにより、空気圧が不足している場合、2段階 (空気圧低下の程度に応じて黄色と赤色のタイヤ空気圧警告を使用) で警告が発せられます。

タイヤ空気圧を規定空気圧に調整した場合のみ、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

黄色のタイヤ空気圧アラートは、車両を停止してイグニッションを OFF にした場合、またはイグニッションを再度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。イグニッションを ON にすると、黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ圧力が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下の両方について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部からの影響によるパンクなど)。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、タイヤ設定を更新しなかった場合。
- タイヤの温度が高すぎる場合

タイヤ空気圧の確認



図. 151: 現在の空気圧の例

個々のタイヤの空気圧が表示されるのは、速度が約 25 km/h を超えるか、タイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみです。車両が約 10 分以上停止した後、イグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 [-] が表示されます。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在の空気圧

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元に公道走行用のタイヤ空気圧を調整しないでください。

サーキット用タイヤ空気圧

サーキットの走行では、公道の走行に要求される空気圧とは異なる空気圧を設定および監視することができます。そのため、経験豊富なドライバーはタイヤ空気圧をサーキットに合わせてカスタマイズすることができます。サーキットモードは公道を走行するためのものではありません。



警告

タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧モニタリングシステムが作動している場合でも、ドライバーにたとえばサーキット走行のために設定されたタイヤ空気圧が走行中に選択されていることを確認する責任があります。

- ▶ 走行する予定の最高速度に応じて空気圧の設定値を調整します。
- ▶ TPM 警告メッセージを遵守してください。

サーキット用タイヤ空気圧の有効化

2つの選択肢があります：

走行プログラム TRACK からの作動

TRACK 走行プログラムを設定することで、走行プログラムを選択するとサーキットを走行するためのタイヤ空気圧が TPM システムで監視されるようになります。走行プログラムに関する情報：

▶ 73 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。

- ▶ TRACK 走行プログラムを選択します。
- または -

インストルメントパネルからの作動

- ▶ **タイヤ空気圧 ▶ 現在の空気圧 ▶ サーキットを有効にする**

インストルメントクラスターにメッセージが表示され、シンボル ⚠ が常時表示されます。

サーキット用タイヤ空気圧を初めて有効にすると、選択されているタイヤの規定空気圧がサーキット用にモニタリングされます。サーキットのタイヤ空気圧を再度有効にする場合は、前回保存されたタイヤ空気圧が監視されます。

新規のサーキット用タイヤ空気圧の設定

- ✓ サーキット用タイヤ空気圧が有効になりました。
- ✓ 現在のタイヤ空気圧が表示されます。
- ▶ サーキット走行用の空気圧をホイールに設定します。
- ▶ **タイヤ空気圧 ▶ サーキット ▶ 新しい空気圧**
 - ➔ インストルメントパネルに通知が表示されます。

i インフォメーション


タイヤの最低空気圧は、ホイールあたり 1.8 bar 以上でなければなりません。

タイヤの最小空気圧を下回ると、インストルメントパネルにメッセージが表示され、新しい空気圧は適用されません。メッセージは確認できます。

- ▶ この場合、新しい空気圧を再度設定してください。

サーキット用タイヤ空気圧の無効化

- ✓ サーキット用タイヤ空気圧が有効になりました。
- ▶ **タイヤ空気圧 ▶ サーキット ▶ サーキットを無効にする**

インストルメントクラスターでシンボルマーク  が消灯します。

タイヤ空気圧が不足している場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

- ▶ 必要に応じて、ホイールのタイヤ空気圧を規定空気圧に設定してください。

TPM のサーキットモードは、次の状況では自動的に無効になります：

- イグニッションを OFF にしたとき
- 走行プログラムを TRACK から SPORT または NORMAL に切り替えたとき

▶ 73 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。

空気圧偏差の表示



図. 152: 空気圧偏差の例

- ✓ 車両が停止している状態。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 空気圧偏差

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示される場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤ設定の変更

ダッシュボードのタッチディスプレイによるタイヤのタイプ、タイヤのサイズおよびパフォーマンス / 標準の空気圧の設定変更：

▶ 196 ページの「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定



警告

不適切なタイヤ空気圧


タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤに対応していることを確認してください (特にホイール交換後)。
- ▶ 新しく装着したホイールのタイヤ空気圧が以前の設定と一致しているとしても、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

空気圧偏差および充填情報の表示

- ✓ 車両が停止している状態。

- ▶ **設定**  **車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差**

該当するホイールの規定空気圧と規定空気圧との空気圧偏差、さらにタイヤの種類、タイヤのサイズ、パフォーマンス空気圧に関する設定が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に**-0.1 bar**と表示される場合は、このタイヤに0.1 barの空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

① インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。



- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング]メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

- ▶  ▶ **設定**  ▶ **車両** ▶ **タイヤ空気圧モニタリング**
▶ **タイヤ選択**

パフォーマンス空気圧または標準空気圧の選択

タイヤ空気圧はパフォーマンスを向上させるために減圧することができます。

パフォーマンス空気圧を選択すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムでタイヤ空気圧のモニタリングに低めの規定空気圧が自動的に使用されます。


- ▶  ▶ **設定**  ▶ **車両** ▶ **タイヤ空気圧モニタリング**
▶ **パフォーマンス空気圧**

- パフォーマンス空気圧**
パフォーマンス空気圧が選択されます。
- パフォーマンス空気圧**
標準プレッシャーが選択されます。
- ▶ タイヤ空気圧をパフォーマンス空気圧か標準プレッシャーに合わせて調整してください。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ/ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

このプロセス中、PCMに冷間時(20℃)の規定タイヤ空気圧が表示され、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

タイヤ空気圧警告灯  がすべてのホイールの登録が完了するまで、インストルメントパネルで点灯したままになります。

タイヤ空気の充填



高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。

▶ 169ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

▶ コンプレッサーの取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。
▶ タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要に応じてタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサー充填ホースを外します。

① インフォメーション

タイヤ空気圧はガソリンスタンドでも点検でき、空気の充填も行えます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを適正なタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り



図. 153: タイヤ表記

- A** 公称タイヤ幅 (mm)
- B** 扁平率 (%)
- C** タイヤ構造記号
- D** リム径 (インチ)
- E** ロードインデックス
- F** 速度記号

速度記号 **F** は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで
Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合)。タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

タイヤを点検する

タイヤの損傷の検出



警告

目に見えないタイヤ損傷と
リムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角で通過してください。傾斜が大きく縁が突った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶついたり鋭角に乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側 – は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき。

バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

タイヤトレッドの点検

多くのタイヤのトレッド中央部にはウェアインジケータがあります。ウェアインジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリアをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

① インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤおよびホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。



警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 同一メーカーの同一仕様番号 (「NA...」など) のタイヤのみを装着してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについて確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ボルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。

- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
 - ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
 - ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
 - ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
 - ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 220 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

① インフォメーション

一方のアクスルだけに新しいタイヤを取り付ける場合、他方のアクスルと比較してトレッド深度が異なることにより、以前の運転挙動から顕著な変化が生じる可能性があります。新しいタイヤをリヤアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

タイヤの装着

タイヤをリムに正しく装着しないと、タイヤとリムを損傷する可能性があります。これによりタイヤがバーストする可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールのバランス調整

万一来備えて、春(サマータイヤ)および冬の前(「M+S」のタイヤ)にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルホイールロック付きホイールの交換



警告

セントラルホイールロックに関する注意点

セントラルホイールロック付きホイールの交換は、標準のホイールボルト付きホイールの交換とは大きく異なります。

ホイール交換の方法が正しくなかったり不適切なツールを使用したりすると、損傷や作動不良が発生したりホイールがゆるんだりすることがあります。

- ▶ ホイールを交換する場合、以下に記載されている手順に厳密に従ってください。
- ▶ センターボルトのゆるめと締め付けには、純正のソケットのみを使用してください。
- ▶ 600 Nm の高い締め付けトルクに適し、設定値からの公差が 15% 以内のトルクレンチを使用します。



警告

車両の下に入っている作業

取り付けの際の強い力によって車両が動き、ジャッキから滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ 利用可能な場合は、必ずリフティングプラットフォームを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面(上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など)に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。



警告

認定外部部品およびホイールの使用によるボルト接続の欠陥

不適切なサイズのホイールやアクセサリホイールのハブ部分に不適切な寸法の部品を使用すると、部品を破損する恐れがあります。追加でスペーサーを使用すると、ホイール取り付け全体の機能が損なわれます。

- ▶ ボルシェが承認した構成部品のみを使用してください。
- ▶ スペーサーは決して使用しないでください。

情報

インパクトレンチは、強い衝撃によってセンターボルトとキャプティブロックに損傷を与えます。

コードレスインパクトレンチのリアクションアームは、リムを損傷させる恐れがあります。

リアクションアームなしでコードレスインパクトレンチを使用すると、高トルクの回り止めができず、傾く恐れがあります。

- ▶ インパクトレンチは使用しないでください。
- ▶ コードレスインパクトレンチは使用しないでください。

情報

ボルトの締め付け中は、ホイールが地面に触れないようにして、自由に回転できるようにする必要があります。そうしないと、車両の重量により、ボルト接続部に応力と不均衡が生じます。

- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。
- ▶ 適切なトルクレンチのみを使用してください。

① インフォメーション

ホイール交換に必要な工具とグリース(ジャッキ、トルクレンチ、アルミニウムペーストなど)は、車両に標準装備されていません。

詳しくは、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

② インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイールの準備

ボルシェ センtral ホイール ロックは、以下の構成部品が適切に組み合わされた完全なシステムです：

- ホイール
- キャプティブロック付きセンター ボルト
- ブレーキディスク
- ホイールスタッド
- ホイールハブ
- キャップ

ホイールの交換はボルシェ正規販売店で行ってください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



図. 154: ラゲッジコンパートメントのソケット

1. ラゲッジコンパートメントを開き、プラスチックカバー **A** (図. 154) を開きます。
2. レンチソケットを取り出します。センターボルトをゆるめる際は必ずこの純正レンチソケットを使用します。このレンチソケットはラゲッジコンパートメントに常備して、故障したときにいつでも使用できるようにしてください。

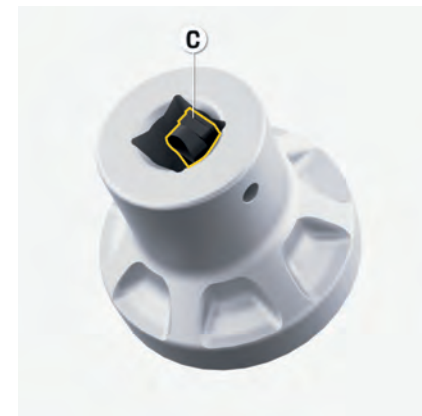


図. 155: 補助ツール付きソケット

3. レンチソケットには、キャップを取り外すための補助ツール **C** (図. 155) が付属しています。この補助ツールは四角い部分から取り外して使用してください。使用した後は元に戻してください。

4. 情報

カバーキャップは慎重に外さないと傷が付く恐れがあります。

- ▶ カバーキャップは慎重に取り外してください。

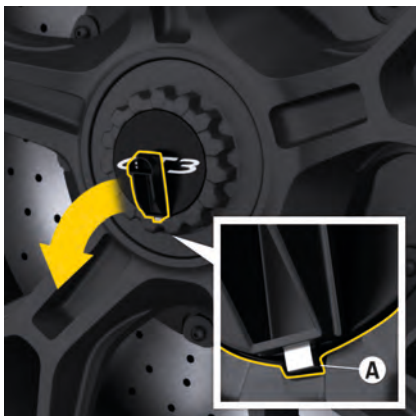


図 156: 補助ツールを使用してカバーキャップを取り外す

補助ツールを使用して、キャップを取付面から慎重に取り外します。そのために、その金属の突起部をセンターボルトの開口部の溝 A (図 156) に奥まで挿入します。次に、補助ツールを 90° 以上回転させて戻します。

5. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
▶ 217 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から完全に浮かせます。ホイールの取り付けが完了するまで、車両を下げないでください。

ホイールの取り外し



図 157: 持ち上げられた車両

- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

① インフォメーション

ソケットを押し込むことができない場合：

長期間の使用後や高い負荷がかかり続けた後では、ロックピン A が動かなくなる場合があります。

- ▶ この場合、ロックピン A (図 158) をゆるめるため、適切な補助ツール (細い丸棒など) を使用し、ゴムハンマーで軽く叩いてください。



図 158: ロックピンの解除

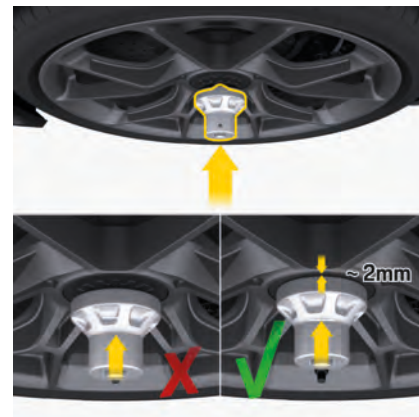


図 159: ソケットの押し込み

車両の準備

1. **PDK 装備車**：セレクターレバーを P 位置に入れてください。
- または -
マニュアルトランスミッション装備車：ギヤシフトレバーはニュートラルにしてください。
2. エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

1. ソケットを位置決めし、わずかな抵抗感がありますが、押し込みます。(図. 159)
 ▶ レンチソケットがカチッという音がしてロックします。これにより、センターボルトのキャプティブロックが解除されます。
2. 1インチの四角い取り付け具が付いた、トルクレンチまたは長いレバー(最適な長さは1.2m-1.5m)をレンチソケットに挿入します。
3. 別の作業員にブレーキペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。パーキングブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めてできません。
4. **警告** センターボルトは突然ゆるみます

センターボルトをゆるめるには、非常に高い解除トルクが必要です。解除トルクは、締め付けトルクよりも大幅に大きくなる場合があります。ボルトが急に動いてゆるむ場合があります。

ソケットの締結が不十分な場合、滑って外れ怪我をする恐れがあります。

- ▶ レバーで人が怪我をしたり車両部品が損傷したりしないように、十分な空間を確保してください。
- ▶ センターボルトをゆるめるときには、ソケットをしっかり奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。

情報

ソケットが完全に押し込まれていない状態でセンターホイールロックを開くと、キャプティブロックが損傷する恐れがあります。

- ▶ センターボルトをゆるめるときには、ソケットをしっかり奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。
- ▶ 回転方向に注意してください。
- ▶ フロントホイールをゆるめる際は、別の作業員にステアリングホイールをしっかり保持してもらってください。



図. 160: センターボルトのゆるめ

強い力をかけてセンターボルトをゆるめ、取り外します。(図. 160)その間ずっとレンチソケットは完全に押し込まれている必要があります。

5. 目に見える側を上にして、水、ほこり、汚れなどが付かないようにして、センターボルトを置きます。
6. **情報**

ボルシェセラミックコンポジットブレーキ(PCCB) 装備車ではブレーキディスクが損傷する恐れがあります。

- ▶ ホイールの取り外し時に、ホイールをPCCBブレーキディスクの上に置かないでください。
- ▶ PCCB組み付け補助工具を使用します。

ホイールを慎重に取り外します。

ホイールの取り付け準備

ホイールを取り付ける前に、関係する構成部品を清掃および点検し、部分的にグリースを塗布する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

センターボルトの点検



図. 161: コーンリングの点検

- ▶ 大きな抵抗や不均一さがない状態で、センターボルトのコーリング **C** (図. 161) を回すことが可能でなければなりません。ほとんど回すことができない場合は、センターボルトの内側に再びグリースを塗布します。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



図. 162: キャプティブロックの点検

- ▶ キャプティブロック **D** (図. 162) は時計回りに回すことが可能でなければなりません。これを回すと、金庫のダイヤル錠のようにカチカチと音がします。
- ▶ キャプティブロック **D** (図. 162) を反時計回りに回してはなりません。不規則なカチカチ音、ロックの遅れ、スキップ、ジャミング (動かなくなる) が発生した場合、キャプティブロックが破損していると考えられます。

このセンターボルトは、どんな状況であっても使用しないでください。



図. 163: ロックピンの点検

- ▶ ロックピン **E** (図. 163) をボルトに約 1 cm 押し込みます。ピンを放すと、ピンは元に戻ります。固着している場合は、キャプティブロックが破損していると考えられます。このセンターボルトとキャプティブロックは、どんな状況であっても使用しないでください。

ホイールの取り付け

情報

ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車ではブレーキディスクが損傷する恐れがあります。

- ▶ ホイールをホイールハブに取り付けるときに、ホイールを PCCB ブレーキディスクの上に置かないでください。
- ▶ PCCB アッセンブリー エイドを使用します。



図. 164: ホイールをホイールハブに取り付ける

1. ホイールを傾けずに、ホイールハブに慎重に取り付けます。(図. 164)ホイールを少し回してホイールスタッドにはめ込み、ブレーキディスクに押し付けます。

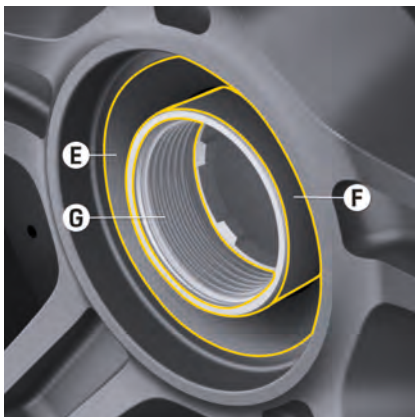


図. 165: 構成部品にグリースを塗布する

2. ホイールを取り付ける際に、必ず次の表面にグリースを塗布してください：
 - ホイールの円錐面E(図. 165)とホイールハブのフロント外側F(図. 165)から古いグリースや汚れを拭き取ります。その後、アルミニウムペーストをごく薄く塗布します。これにより、ボルトを所定の位置にまでスライドさせるのが容易になります。
 - ホイールハブのネジ山G(図. 165)にグリースを十分に塗布する必要があります。そのため、ボルトをねじ込むときには、必ずアルミニウムグリースを塗布し直してください。古

いグリースを除去しないでください。他のすべての部品と接触面には、グリースが付かないようにする必要があります。

- ボルシェが承認したアルミニウムグリースのみを使用してください。



図. 166: センターボルトのねじ込み

3. センターボルトをホイールハブに挿入し、手でねじ込みます。(図. 166)

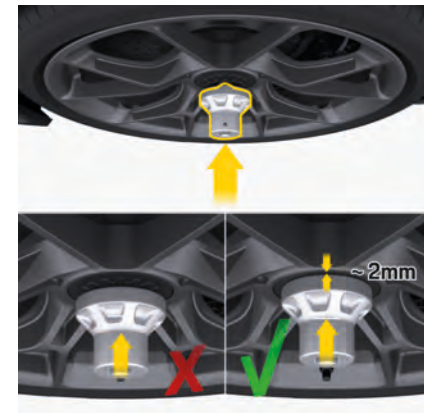


図. 167: ソケットの押し込み

4. ソケットを位置決めし、わずかな抵抗感がありますが、押し込みます。(図. 167)
 - ➔ レンチソケットがカチッという音がしてロックします。これにより、センターボルトのキャプティブロックが解除されます。
5. 1インチ角の取り付け具が付いたトルクレンチをソケットに挿入します。
6. 別の作業員にブレーキペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。パーキングブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めできません。

フロントホイールを締め付ける際は、別の作業員にステアリングホイールをしっかりと保持してもらってください。

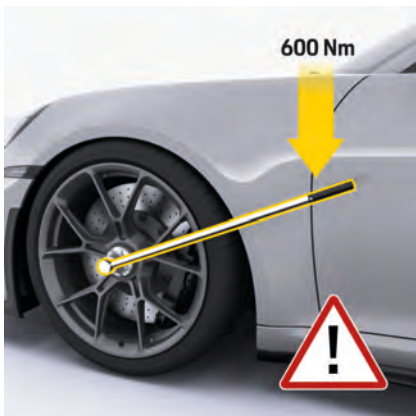


図. 168: センター ボルトを締め付ける

7. センター ボルトを **600 Nm** で締め付けます [図. 168]。

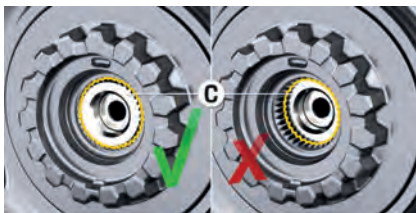


図. 169: ロック ピン C の位置の確認

8. ロック ピン C [図. 169] が歯の面取りの前部にあることを確認します。
9. 車両を完全に降ろしてください。
10. キャップのラバーリングにグリースを薄く塗布します。これにより、キャップの取り付けと後の取り外しが容易になります。



図. 170: カバー キャップの取り付け

11. 位置決めタブがねじ溝に向くように、キャップをセンター ボルトに位置決めします。その後、キャップを所定の位置まで押し込んでください。 [図. 170]

カバー キャップが適正な位置にない状態では走行しないでください。これを守らないと、水や汚れが侵入して、キャプティブロックの機能が損なわれる恐れがあります。

i インフォメーション

後で (50 km 走行後など) センター ボルトを再度締め付ける必要はありません。

i インフォメーション

ホイールハブ、ブレーキディスク、ホイールスタッド、ホイール、またはセンター ボルトを交換した場合、センター ボルトを **2 回** 締め付ける必要があります [図. 171]。

- センター ボルトを **600 Nm** で締め付けます。
- センター ボルトを再度 **1/4 回転** ゆるめます。
- センター ボルトを再度 **600 Nm** で締め付けてください。

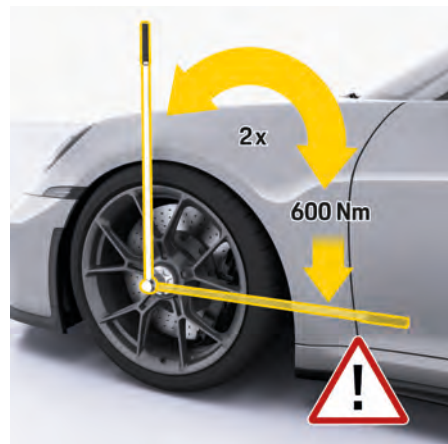


図. 171: 新品の部品の使用

i インフォメーション

- ▶ ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定を更新します。

センターボルトの緊急締め付けの実施



警告

センターボルトのゆるみ

センターボルトがしっかり締め付けられていない状態で走行すると、事故を起こす危険があります。

- ▶ 急な加速やコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h 以上で走行しないでください。
- ▶ サーキット走行時に、緊急締め付け手順を絶対に実施しないでください。

緊急時に、センターボルトの締め付けに必要な高いトルク (600 Nm) をかけるための適切なトルクレンチを使用できない場合、必ず緊急締め付け手順でセンターボルトを締め付けてください。

- ▶ ホイールを交換します。
 - ▷ 200 ページの「セントラルホイールロック付きホイールの交換」の章を参照してください。
- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

- ✓ 長いレバー (約 1 m) と 1 インチのアダプター。
- ✓ トルクレンチ (100 Nm 用) と 1 インチのアダプター。

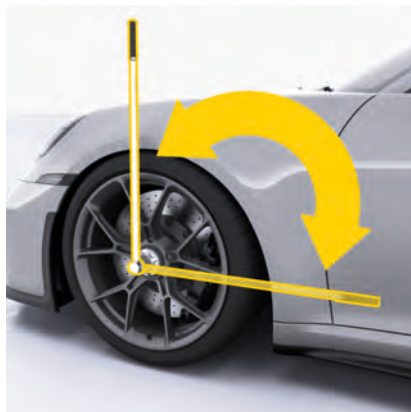


図. 172: センターボルトを締め付けて再びゆるめる

1. 長いレバーを使用して大きな力を加えてセンターボルトを締め付け、再び 1/4 回転ゆるめます。(図. 172)

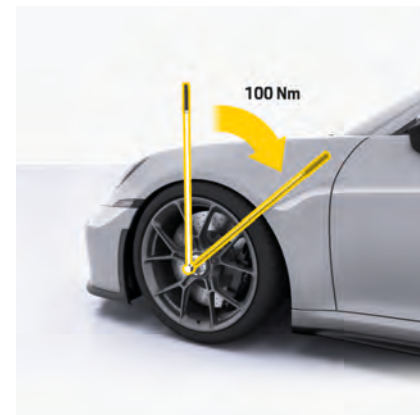


図. 173: センターボルトを締め付ける

2. 適切なトルクレンチを使用して、センターボルトを **100 Nm** で締め付けます (図. 173)。



図. 174: センター ボルトのマーク

3. センター ボルトには **■** および **■** (図. 174) のマークが付いています。

ペンを使用して、ホイール上の **■** マークの向かい側に基準線を付けてください。



図. 175: センター ボルトを締め付ける

4. 長いレバーを使用して、**■**STOP マークが基準線に合うまでセンター ボルトを締め付けてください (図. 175)。これにより、ボルトを十分に締め付けることができます。
5. ロック ピンの点検とキャップの取り付けの手順を実施します。
- ▶ 204 ページの「ホイールの取り付け」の章を参照してください。
 - ▶ 直ちにボルシェ正規販売店でセンター ボルトを再度ゆるめ、適切なトルク レンチで **600 Nm** の規定トルクに締め付けてください。
ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行の前に

サーキット走行に関する重要な情報：

- ▶ 別冊の「サーキット走行の前に」を参照してください。

ウィンター タイヤとスノー チェーンの使用

ウィンター タイヤの使用



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ ウィンター タイヤの側面に M+S 指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター タイヤを装着してください。
- ▶ ボルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについて確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤによる振動ノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ボルシエは気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨します。

さらに外気温度が-15°Cを下回り極端に低くなると、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンの使用

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ スノーチェーンとタイヤハウスのクリアランスを十分に確保するため、ボルシエが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

▶ 224 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

タイヤの保管

製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しないでください**。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT

コードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の30番目の週に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

パンク

装備品

車両にはタイヤシーラントキット (Tire Mobility System -TMS) が装備されています。

タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▶ 194 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

安全に駐車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトを ON にします。
3. エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
4. マニュアルトランスミッション装備車：1. ギヤ。PDK 装備車：セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。

8. 交換するタイヤの対角線上の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

▷ 217 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

損傷したタイヤの補修

- ✓ タイヤシーラント装備車 (Tire Mobility System – TMS)。

⚠ 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると圧力を失ったり、バーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。

- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤシーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

タイヤシーラントキット(Tire Mobility System – TMS) はラゲッジコンパートメントにあります。

▷ 169 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

⚠ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

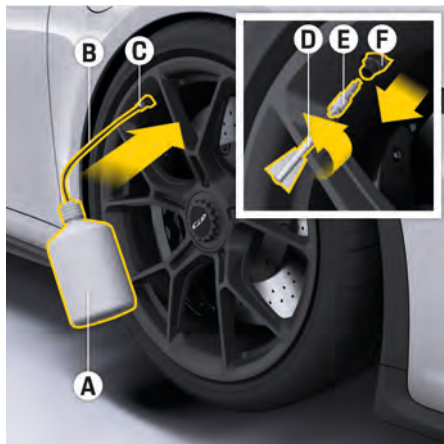


図. 176: タイヤシーラントの充填

- A 充填ボトルを振ります
- B 充填ホースを取り付けます
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E スクリューバルブインサート
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラグゼッジコンパートメントからタイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) および付属のステッカーを取り出してください。タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) はラグゼッジコンパートメントの右側のボックスにあります。コンプレッサーはラグゼッジコンパートメントのカバーの下にあります。
▷ 169 ページの「ラグゼッジコンパートメント」の章を参照してください。

3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

▷ タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS) の取扱説明書に従ってください。

1. 充填ボトル A (図. 176) を振ってください。
2. 充填ホース B (図. 176) を充填ボトル A に取り付けてください。
➡ 充填ボトルが開いています。
3. タイヤバルブ F (図. 176) からバルブキャップを取り外してください。
4. バルブ回し D (図. 176) を使用して、バルブインサート E (図. 176) をタイヤバルブ F から取り外してください。
交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース B からプラグ C (図. 176) を取り外してください。
6. 充填ホース B をタイヤバルブ F に押し付けてください。
7. 充填ボトル A をタイヤバルブ F より上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. タイヤバルブ F から充填ホース B を取り外します。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート E をタイヤバルブ F に確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

▷ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

▷ 197 ページの「タイヤ空気の充填」の章を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤの損傷が激しすぎます。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブキャップをタイヤバルブ F (図. 176) に取り付けてください。

タイヤ空気圧の点検

- ▷ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 以下の場合は、運転を中止してください。
- ▷ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

タイヤ交換

▷ 199 ページの「タイヤおよびホイールの交換」の章を参照してください。

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▷ 194 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

ヒューズ

一般的な安全に関する指示

⚠ 危険

感電

エンジン作動中またはイグニッション ON の状態でヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気システム作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションを OFF にしてください。

⚠ 警告

短絡

車両電気システム作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 174 ページの「12 V バッテリー」の章を参照してください。

⚠ 警告

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品 (リレーなど) については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリのみを使用してください。認定アクセサリに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ヒューズの点検および交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、個々の回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスは運転席および助手席側のフットウェルにあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

ヒューズ定格

色		定格電流
	薄茶色	5 A
	茶色	7.5 A
	赤色	10 A
	青色	15 A
	黄色	20 A
	白色 / 透明	25 A
	緑色	30 A
	青緑色	35 A
	オレンジ	40 A

ヒューズの点検および交換

ヒューズスロットの番号は、ヒューズキャリアのカバー内側または上に印字または刻印されています。

ⓘ インフォメーション

割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要に記載されていません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを慎重に取り外します。

4. ヒューズを点検するため、黄色のプラスチック製ヒューズリムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズボックスを開く

運転席フットウェルのヒューズボックスを開く



図. 177: 運転席フットウェルのヒューズボックス

A列 (図. 177)

No.	電装品
1	イグニッションロック、ライト ボタン、その他の機器、インストルメント パネル、センター コンソールのスイッチ パネル
3	ステアリング ホイールロック、ステアリングコラム コントロールユニット
5	警報システム
6	レインセンサー

No.	電装品
7	PDK セレクター レバー コントロールユニット
9	パーキング ブレーキ、PSM コントロールユニット
10	ドライバー アシスタンス システム コントロールユニット
12	PVTS コントロールユニット
13	故障診断用ソケット
14	BCM コントロールユニット
15	電気ソケット供給
16	シート調節、左フロント

B列 (図. 177)

No.	電装品
2	BCM コントロールユニット
3	ホーン
4	シートベルト、左フロント
5	シートヒーター
7	エアコンシステム
8	インテリアライト
9	サブウーファー

No.	電装品
11	左右のドアコントロールユニット
12	左ヘッドライト エレクトロニクス

C列 (図. 177)

No.	電装品
1	ドライバー アシスタンス システムのカメラ
2	ラジエーター ファン、左
3	ブレーキ ブースター コントロールユニット
5	ラップトリガー
7	ルーム ミラー
8	BCM コントロールユニット
9	クラッチ ペダルスイッチ、PDK セクターレパー コントロールユニット
12	PVTS コントロールユニット
14	故障診断用ソケット

助手席フットウェルのヒューズ ボックスを開く

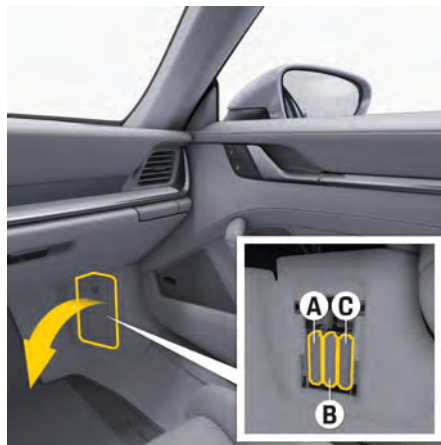


図. 178: 助手席側のヒューズ ボックス

A列 (図. 178)

No.	電装品
1	SOS 通報用コントロールユニット
4	ダッシュカム
5	メディア インターフェイス
9	タイヤ空気圧モニタリング コントロールユニット
10	リフト システム コントロールユニット
11	エアバッグ コントロールユニット

No.	電装品
12	ルーフ コンソール
13	ガレージドア オープナー
14	BCM コントロールユニット
15	BCM コントロールユニット
16	シート調節、右フロント

B列 (図. 178)

No.	電装品
4	シートベルト、右フロント
7	外気ブLOWER
8	ラゲッジ コンパートメント
9	PCM
10	PCM、センター コンソールのスイッチ パネル
11	運転席 / 助手席ドア コントロールユニット
12	右ヘッドライト エレクトロニクス

C列 (図. 178)

No.	電装品
1	エアコン圧カスイッチ、空気質センサー
2	ラジエーター ファン、右
7	SOS 通報用コントロールユニット
9	ブレーキ ブースター コントロールユニット
14	右リヤヒューズボックス
15	運転席フットウェルのヒューズボックス

補給

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

電話からの高周波エネルギーは、電子レンジ内に置かれたアルミホイルのように、露出した金属面に火花を生じさせる可能性があります。この火花は、給油中に発生する燃料蒸発ガスに点火する恐れがあります。

車外に出て給油ノズルに触れると、身体から発生した静電気放電が周囲に存在するガソリン蒸発ガスに引火する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、および喫煙は禁止されています。
- ▶ 給油時は電話を使用しないでください。
- ▶ 給油中は車両に戻らないでください。

▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

場合により燃料に硫黄成分が多く含まれることがあります。特定の運転条件下では、エンジン内での燃焼により不快な臭い(いわゆる「腐った卵の匂い」)を伴う排気が発生する場合があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをONにすると、インストルメントクラスターに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

適切な燃料の選択

情報

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の仕様に適合する燃料のみ使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料は使用しないでください。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価：	
すべて：	98 RON/ 88 MON	95 RON/ 85 MON

エンジンはエタノール含有量 10% 以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



E10

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

① インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON** 以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON** の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

情報

ポルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ポルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 添加剤は給油の前に充填してください。

国によっては、燃料の析出挙動がポルシェの基準を満たしていないことがあります。ポルシェの基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

燃料の給油

情報

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。



図. 179: フィラーフラップの開操作



図. 180: タンクキャップを開く

- ✓ エンジンが停止している
 - ✓ イグニッションがOFFになっている
 - ✓ 車両がロック解除されている
1. フィラーフラップの後部(図. 179)を押すと、フラップが開きます。
この車両に使用できる燃料の種類は、フィラーフラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. タンクキャップをホルダー(図. 180)に入れます。
 4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実に給油口の奥まで差し込んでください。

- 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。燃料が温まると、スプレーバックまたはオーバーフローする可能性があります。
▷ 220 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
- 給油後はすぐにタンク キャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ、手ごたえがあるまで締めつけます。
- フィルター フラップを閉じてフィルター フラップの後部 (矢印) を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

タンク キャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

フィルター フラップの緊急操作



図. 181: 緊急時のフィルター フラップの操作

フィルター フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィルター フラップを開くことができます。

- 助手席側ドアを開いてください。
- 助手席ドアおよびフェンダーの間のドア開口部に手を伸ばします。抵抗を感じる位置までノブを上へに引いてください (図. 181)。
▶ フィラー フラップのロックが機械的に解除されます。
- フィルター フラップの後部を押すと、フラップが開きます。
- フラップが開かない場合、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
- 緊急解除を行った場合は、ノブを指定されたキャッチに固定します。要整備。

ジャッキおよびリフティング プラットフォーム

車両のリフトアップ

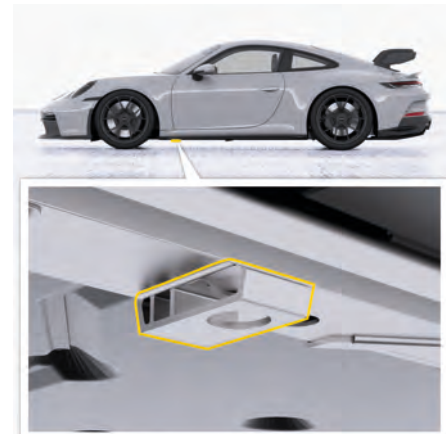


図. 182: ジャッキおよびリフティング プラットフォーム用のフロント側ジャッキアップポイント



図. 183: ジャッキおよびリフティングプラットフォーム用のリヤ側ジャッキアップポイント



警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていないか正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、なおかつセレクターレバーをPの位置に入れてください。

▶ 200 ページの「セントラルホイールロック付きホイールの交換」の章を参照してください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液の選択



図. 184: フロント ウィンドウ用ウォッシャー液タンク

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
 - 夏季：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。
 - 冬季：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用します：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライトレンズ適合品

ポルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については：
ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

情報

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。
 - ▶ 221 ページの「充填容量」の章を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

テクニカルデータ

テクニカルデータ

車両識別データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーションプレートを参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

車両識別番号



図. 185: 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ後ろの左下と助手席の下に記載されています。

- ▶ 交換部品をご注文いただく際には、必ず車両識別番号をお伝えください。

タイヤ空気圧プレート



図. 186: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤ空気圧プレートは、運転席ドアのドアシル部に取り付けられています。

車両データバンク

車両の大切な情報が記載されたデータバンクは、整備手帳に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

エンジンデータ

シリンダー数	6
総排気量	3,996 cm ³
最高出力 (ECE-R 85)	375 kW (510 hp)
エンジン回転数	8,400 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	470 Nm
エンジン回転数	6,100 rpm
エンジン許容最高回転数	9,000 rpm

寸法

全長	4,573 mm
全幅	1,852 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,027 mm
DIN 規定の空車重量での車高	1,279 mm
DIN 規定の空車重量での地上高	99 mm

充填容量

ウォッシャー液 (装備仕様により異なる)	約 2.5 L~3.5 L
燃料タンク	約 64 リットル (オプションで約 90 リットル、国によって異なる)、予備用に約 8 リットル (PDK 装備車) または約 10 リットル (マニュアルトランスミッション装備車)

燃費と CO2 排出

CO₂ 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類 (例：「適合証明」) に記載されています。規定の測定方法による値を表示しています (現行バージョンの Euro 6 : Regulation (EC) 715/2007、現行バージョンの Euro 5 : ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ)。

重量

	911 GT3 Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 GT3 マニュアルトランスミッション
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,435 kg~1,562 kg	1,418 kg~1,545 kg
EC 規格 1230/2021 に基づく	1,510 kg~1,637 kg	1,493 kg~1,620 kg
最大軸荷重、フロント	750 kg	750 kg
最大軸荷重、リヤ	1,040 kg	1,040 kg
最大総重量	1,782 kg	1,765 kg
	911 GT3 ツーリングパッケージ装備車 Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 GT3 ツーリングパッケージ装備車 マニュアルトランスミッション
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,435 kg~1,536 kg	1,418 kg~1,519 kg
EC 規格 1230/2021 に基づく	1,510 kg~1,611 kg	1,493 kg~1,594 kg
最大軸荷重、フロント	750 kg	750 kg
最大軸荷重、リヤ	1,040 kg	1,040 kg
最大総重量	1,756 kg	1,739 kg

タイヤおよびホイール

ホイールおよびタイヤのサイズ

ポルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。荷重指数（「105」など）と許容最高速度を示す記号（「Y」など）は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

▶ 194 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤのサイズにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ 別のタイヤおよびホイールと交換する前には、公式車両登録書類（国によっては「適合証明書」など）を参照して、保有車両に適したホイール/タイヤの組み合わせかどうかを確認してください。詳細情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA : 255/35 ZR 20 (97Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 20, RO 46 RA : 12J x 21, RO 45	不可
ウィンタータイヤ	FA : 245/35 R 20 95V XL M+S RA : 305/30 R 21 104V XL M+S	FA : 9J x 20, RO 43 RA : 11.5J x 21, RO 46	リヤアクスルのみ



FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧は、いずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時（20 °C）にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCMのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 画面で確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類およびタイヤのサイズを設定し、「標準空気圧」または「パフォーマンス空気圧」のいずれか（国または装備に応じて）を選択します。
 - ▶ 194 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、PCMのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。

▶  ▶  ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **タイヤ空気圧モニタリング** ▶ **空気圧偏差**

- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせて調整します。



警告

タイヤ空気圧の不足

「パフォーマンス空気圧」の設定は国と装備によって異なります。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- パフォーマンス空気圧は「パフォーマンス空気圧」設定機能を持つ車両のタイヤのみに設定してください。

標準タイヤ空気圧		
タイヤ	FA	RA
サマータイヤ 255/35 ZR 20 / 315/30 ZR 21	2.2 bar	2.4 bar
	220 kPa	240 kPa
	31 psi	34 psi
ウィンタータイヤ 245/35 R 20 / 305/30 R 21	2.3 bar	2.5 bar
	230 kPa	250 kPa
	33 psi	36 psi
パフォーマンスタイヤ空気圧、290 km/h まで		
タイヤ	FA	RA
サマータイヤ 255/35 ZR 20 / 315/30 ZR 21	1.9 bar	2.1 bar
	190 kPa	210 kPa
	27 psi	30 psi

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル

シャーシ設定

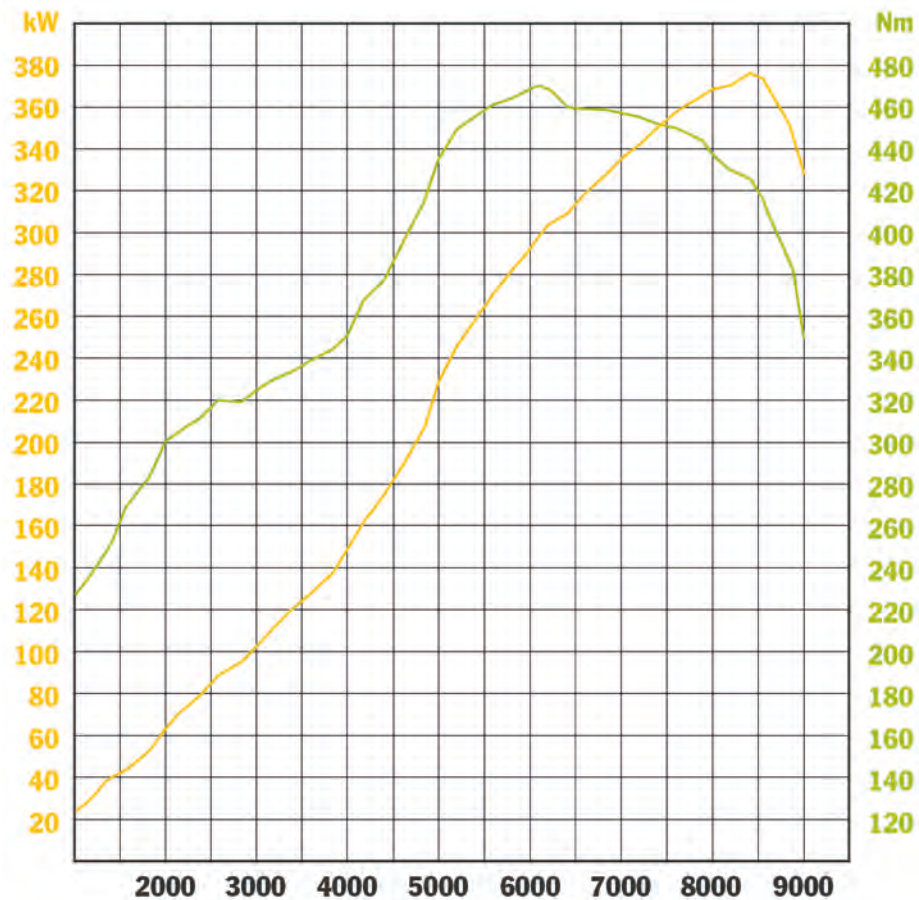
公道

シャーシは公道では工場出荷時の設定になっている必要があります。

フロントアクスル、トータルトーイン	+2' ±2'
リアアクスル、各ホイールの個別トーイン	+10' ±2'
フロントアクスル、キャンバー	- 1°30' ±30'
リアアクスル、キャンバー	- 1°30' ±30'

- サーキット走行用のシャーシ設定に関する重要な情報：別冊の「サーキット走行の前に」を参照してください。

全負荷時のエンジン性能グラフ




ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオ ファイル	
対応するメディア	ポータブルプレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 3.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハードドライブなど)
ファイル システム	USB 大容量記憶装置 exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	USB 大容量記憶装置 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリー / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由
テクニカルデータ：接続	
モバイル ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8)/1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲 / 規格	UKW (FM) : 87.5 – 108 MHz (100 kHz ごとの手動調節)
	MW (AM) : 537 – 1602 kHz (国の仕様に応じた 9 kHz 単位の手動設定)
放送局の自動検索による選局グリッド	UKW (FM) : 100 kHz
	MW (AM) : 9 kHz (国別仕様により異なる)

ライセンスについて

Bluetooth®	Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。その他のマークおよびブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。
Dolby Digital	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。
DTS Digital Surround	 DTS の特許については、 http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround のシンボルは DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.
Gracenote®	 Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンドユーザー ライセンス契約

Gracenote®	<p>Gracenote® エンドユーザー ライセンス契約</p> <p>このアプリケーションまたは機器には、米国カリフォルニア州エメリービルの Gracenote, Inc. によるソフトウェア [「Gracenote」] が搭載されています。このアプリケーションは Gracenote によるソフトウェア [「Gracenote Software」] を利用し、オンラインのディスクまたはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 [「Gracenote Data」] をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。Gracenote データは、アプリケーションまたは機器のエンドユーザー機能の意図に沿う形でのみ利用できます。Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人的かつ非営利の目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止</p>
------------	---

エンドユーザー ライセンス契約

すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについてのすべての所有権を含む、すべての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者の個人情報を取得せずにクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブページを参照してください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。©Gracenote, Inc. 2009

Bluetooth® 認証 (抜粋)

アルバニア-アンドラ-アンゴラ-アルバ-オーストラリア-オーストリア-バハマ-バーレーン-バルバドス-ベラルーシ-ベルギー-ベリーズ-ボリビア-ボネール島-ボスニアヘルツェゴビナ-ブラジル-ブルネイ-ブルガリア-ブルキナファソ-カナダ-チリ-中国-コロンビア-コスタリカ-クロアチア-キュラソー-キプロス-チェコ共和国-デンマーク-ドミニカ共和国-エクアドル-エジプト-エルサルバドル-エストニア-エチオピア-フィンランド-フランス-フランス領ギアナ-フランス領ポリネシア-ガボン-ドイツ-ガーナ-ジブラルタル-グアドループ島-グアテマラ-ギリシャ-グリーンランド-香港-ハンガリー-アイスランド-インド-インドネシア-アイルランド-イラク-イスラエル-イタリア-コートジボワール-ジャマイカ-日本-ヨルダン-ケニア-コソボ-クウェート-ラトビア-レバノン-レソト-リベリア-リビア-リヒテンシュタイン-リトアニア-ルクセンブルグ-マカオ-マケドニア-マダガスカル-マレーシア-マルタ-マルティニーク-モーリシャス-メキシコ-モナコ-モンゴル-モロッコ-モザンビーク-オランダ-ニューカレドニア-ニュージーランド-ナイジェリア-ノルウェー-オマーン-パキスタン-パナマ-ペルー-ポーランド-ポルトガル-プエルトリコ-カタール-レユニオン-ルーマニア-ロシア-サンマリノ-サウジアラビア-セネガル-セルビア-シンガポール-スロバキア-南アフリカ-スペイン-セントルシア-スウェーデン-スイス-タヒチ-台湾-タイ-アラブ首長国連邦-イギリス-ウルグアイ-米国-ベネズエラ-ベトナム-イエメン-ジンバブエ

リサイクル**耐用年数経過後の車両の返却**

EU 加盟国のみ：

耐用年数に達したボルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG により無料で、環境にやさしい方法でスクラップされます。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシートベルト テンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルトテンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⊗ 電気 / 電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気 / 電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気 / 電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- ▶ 12V リチウムバッテリーは危険物です。このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

EU 化学物質規制 REACH (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、ボルシェは車両に含まれている可能性のある高懸念物質 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

▶ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

無線機器 (EU 地域外)

検査マークおよび適合宣言書

アルバニア、バーレーン、ボスニアヘルツェゴビナ、フランス領ギアナ、ジョージア、ジブラルタル、グアドループ島、アイスランド、イスラエル、コートジボワール、クウェート、マケドニア、マルティニーク島、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、ニューカレドニア、ノルウェー、レユニオン、スリランカ、セントルシア、スイス、トリニダード&トバゴ、トルコ



Argentina



CNC ID: C-24063 (MIB3)

CNC ID: H-17001 (Homelink)

CNC ID: C-23466 (ConBox High Offline)

H-22302

H-21037

Australia



Belarus



Brazil



00971-18-02930 (Key PK3)

02393-19-05364 (BCMevo5)

05224-19-12227 (MIB3)

05031-16-06324 (Homelink)

09087-19-07978 (ConBox High offline)

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-002453 (BCMevo5)

DTA-004048 (Conbox-High offline)

DTA-002281 (Key PK3)

DTA-003655 (MIB3)

カナダ

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:

IC: 2694A-BCMEVO5 (BCMevo5)

IC: 2701A-PK3 (Key PK3)

IC: 4112A-ADHL5D (Homelink)

IC: 6434A-P1 14 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and These devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) These devices may not cause interference; and
- (2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

(1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et

(2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

中国

本设备包含型号核准代码(分别)为:

CMIT ID: 2016DJ6564 (Homelink)

CMIT ID: 2019AJ10240 (MIB3)

CMIT ID: 2019CJ6265 (conBox High)

的无线电发射模块

コスタリカ

SUTEL 00922-2018 (Key PK3)

SUTEL 02922-2019 (MIB3)

SUTEL 05901-2019 (BCMevo5)

SUTEL 07764-2016 (Homelink)

SUTEL 05107-2019 (ConBox High offline)

関税同盟(アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、ロシアなど)



Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011 ЕАЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018, действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации

продукцииИФГУП Ордена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12V 400mA

Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011 ЕАЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018, действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации продукцииИФГУП Ордена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»



Модель: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12V 400mA

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B (Key PK3)

NCA APPROVED: ZRO-M8-7E3-12B

NCA Approved: ZRO-M8-7E3-X79 (MIB3)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-15A (BCMevo5)

NCA APPROVED: ORG-4H-7E3-X98 (ConBox High offline)

Great Britain



Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to The Radio Equipment Regulations 2017. The full text of the relevant Declaration of Conformity is available at the following website:

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017:

Porsche Cars Great Britain Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE
United Kingdom

Hong Kong

HKCA 1035 : 自動車用レーダー : ライセンス免除のラ
ジオ装置



インド

ETA-1759/18-RLO(NE) (PK3)
ETA-SD-20190601822 (MIB3)
ETA-SD-20201208973 (Homelink)
ETA-SR-20180387 (BCMevo5)
ETA-SD-20190500710 (ConBox High offline)

インドネシア



Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya



55538/SDPPI/2018
2208



63118/SDPPI/2019
2692



イスラエル

モデル名 : TSS RE 4Uf / TSS SG 4G5b
メーカー : Huf Electronics Bretten

Jamaica

This products have been Type Approved by Jamaica:
SMA – PK3
SMA – BCMevo5

日本





ヨルダン

TRC/LPD/2017/615 (キー PK3)

TRC/34/6858/2020 (BCMevo5)

TRC/34/7206/2020 (ConBox High オフライン)

TRC/SS/2019/155 (MIB3)

マレーシア



CIDF19000029 (キー PK3、BCMevo5)

メキシコ

IFETEL : RCPAUMI19-2202 (MIB3)

IFETEL : RCPHEBC18-2099 (BCMevo5)

IFETEL : RTIVWCO19-1185 (ConBox High オンライン)

IFETEL : RLVPOPK17-1947 (キー PK3)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

- Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privityna reglementarii echipamentului radio: GT Sport Auto Ltd., General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova. Calea lesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

モンゴル



APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A18000286



APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A17000167

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 17800 ANRT 2018
Date d'agrément: 24/10/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
Date d'agrément: 13/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15845 ANRT 2018
Date d'agrément: 19/02/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15019 ANRT 2017
Date d'agrément: 26/10/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19571 ANRT 2019
Date d'agrément: 26/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24106 ANRT 2020
Date d'agrément: 20/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 21854 ANRT 2020 Date d'agrément: 02/01/2020
--

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7350/19

AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 19505 ANRT 2019 Date d'agrément: 25/04/2019
--

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/6363/18

ナイジェリア

Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission
--

OMAN - TRA
D172338
TRA/TA-R/8752/19

オマーン

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/4813/17

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7524/19

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/5196/18

パキスタン



OMAN - TRA
D172249
TRA/TA-R/6358/18



パラグアイ



- NR : 2016-11-I-000293 (HomeLink)
- NR : 2019-09-I-000226 (MIB3)
- NR : 2017-12-I-0000410 (キー PK3)
- NR : 2014-10-I-000305
- NR : 2019-07-I-0335 (ConBox High オフライン)
- NR : 2018-10-I-000492 (BCMevo5)

フィリピン



南アフリカ

 A-2017/2491
認証済

 TA-2016/2568
認証済

 TA-2019/978
認証済

 TA-2018/3465
認証済

 TA-2020/5209
認証済

 TA-2019/1853
認証済

 TA-2020/6392
認証済

 TA-2019/550
認証済

 TA-2018/3465
認証済



カタール

承認基準：CRA/SM/2019/R-7872 (ConBox High オフライン)

承認基準：CRA/SM/2019/R-7764 (MIB3)

承認基準：CRA/SM718/R-7460 (HomeLink)

承認基準：CRA/SM/2018/R-7340 (BCMevo5)

承認基準：CRA/SA/2017/R-6610 (PK3)

セルビア



シンガポール

Complies with
IMDA Standards
DB103787

Complies with
IMDA Standards
DB107205

South Korea


Key (PK3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Marquardt GmbH

기자재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-C-MQU-PK3

제조사/제조국가:
Marquardt GmbH/독일




Communication Management (MIB3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Aptiv Services Deutschland GmbH

기자재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-R-DDg-MIB3TOPKR1

제조사/제조국가:
Aptiv Services Deutschland GmbH /독일




Body Control Module (BCMevo5) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Hella GmbH & Co. KGaA

기자재의 명칭(모델명):
미약 권력강도 무선기기

인증번호:
R-R-HLA-BCMevo5

제조사/제조국가:
Hella GmbH & Co. KGaA /독일




TPMS (TSSRE4Uf) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기자재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-C-HEB-TSSRE4Uf

제조사/제조국가:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



TPMS (TSSSG4G5b) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기자재의 명칭(모델명):
TPMS ECU E5.5 433MHz

인증번호:
R-R-HEB-TSSSG4G5b

제조사/제조국가:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일




CONBOX-HIGH 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH

기자재의 명칭(모델명):
LTE

인증번호:
R-C-T8G-CONBOX-HIGH

제조사/제조국가:
HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

(English Translation: These equipment have been tested for compliance with the intended use in a commercial environment. If the equipment is used in a domestic environment, it may cause radio interference.)

Taiwan



低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應立即停用, 並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。本器材須經專業工程人員安裝及設定, 始得設置使用, 且不得直接販售給一般消費者 電磁波警語標示: 「減少電磁波影響, 請妥適使用 輸入電源需使用所附的 5A 保險絲於產品前端做

タイ



HomeLink®: この通信装置は NTC の技術要件に準拠しています。

Turkey

TELSİZ EKİPMANLARI YÖNETMELİĞİ (2014/53/AB)

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalatçısı*:

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş. Şekerpınar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayırova/Kocaeli

*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

ウクライナ

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019年4月以降の無線機器のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言書の全文は、以下のウェブサイトから確認いただけます：

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>



アラブ首長国連邦

TRA
REGISTERED No:
ER66073/18

DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER61595/18

DEALER No.
65993/17

TRA
REGISTERED No:
ER58762/17

DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER71148/19

DEALER No.
43253/10

TRA
REGISTERED No:
ER72174/19

DEALER No.
DA62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER72288/19

DEALER No.
Harman/Becker
Automotive Systems

TRA
REGISTERED No:
ER80171/20

DEALER No.
Harman/Becker
Automotive Systems

TRA
REGISTERED No:
ER77661/19

DEALER No.
DA65993/17

United States of America

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: IYZ-PK3 (PK3)

FCC ID: NBG-BCMEV05 (BCMevo5)

FCC ID: NZL-ADHL5D (Homelink)

FCC ID: XPY-JODYW164 (MIB3)

FCC ID: T8GA270 (MIB2)

FCC ID: T8GP114 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. These devices may not cause harmful interference, and
2. These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

ウズベキスタン



ベトナム



索引

番号と記号

◇ ボタンの設定	143	格納式リヤスポイラー		軽量バッテリー	174
暗証コード	157	展開 / 格納	82	検知ライト	85
迂回	154	革製品		言語	
運転席		お手入れの諸注意	191	設定	143
オドメーター	105	給油		個人画面	147
タコメーター	103	フィルター フラップ位置の表示	103	故障	
トリップメーター	105	燃料	215	キーの電池	28
パワー & ドライブ画面	103	緊急ブレーキ機能		パワーウィンドウ	30
ライト調節	42	作動	72	緊急時のフィルターフラップの操作	217
警告灯およびインジケーターライト	109	緊急ロック解除		故障時電話	187
車両 & 情報画面	103	ラゲッジコンパートメントリッド	32	データ通信	187
水温計	103	緊急操作		作動	187
速度 & アシスト画面	102	フィルターフラップ	217	故障診断用ソケット	6
燃料計	103	携帯電話		交通標識の防眩機能	85
応急処置セット	169	Bluetooth® を介した接続 (新しい電話)	165	交通標識検出	
横方向の加速度		Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話)	165	速度制限警告	101
表示	105	Bluetooth® を介した接続 (別の電話)	165	交通標識識別	
音楽		収納	165	カーブ警告	101
USB を介した外部機器の接続	146	電話の接続	165	ディスプレイ	101
アームレスト内のインターフェース	146	経由地を入力する (ナビゲーション)	153	速度制限	101
お気に入りの保存 / 編集	149	計器照明		工具セット	
再生	148	遅延消灯の設定	42	取り外しと収納	170
対応するデータ形式	228	明るさの調節	42	高圧洗浄機	
画面		警告および情報メッセージ	122	取扱説明書	187
お手入れの諸注意	192	PCM	137	高速道路ライト	85
パワー & ドライブ	103	エンジン	127	合金製ホイール	
車両 & 情報	103	ドライビングシステム	135	お手入れの諸注意	191
速度 & アシスト	102	安全	123	作動不良	
灰皿		車両	131	ウィンドウ停止位置の保存	30
開く	172	警告灯	109	始動	
掃除する	172	警報システム		エンジン	75
開閉操作とロック		ON/OFF を切り替える	26	時刻と日付	
パーソナル設定の保存と呼び出し	58	機能説明	26	設定	143
外部 WiFi ホットスポット	158	機能表示	26	自動ライトコントロール	
格納式スポイラー		室内モニタリングシステムと傾斜センサーを OFF にする	26	設定	83
作動原理	82	軽修理		自動内気循環モードの設定	
		バンクしたとき	209	エアコンシステム	56
		車両が動き出さないように固定する	209	識別番号	220
		車両のけん引	179	車台番号	220

車内で取扱説明書を開く.....	118	シートヒーター、シートベンチレーター、シート位置の調整.....	143	設定	
車幅灯.....	83	ジャッキモードの設定.....	143	パーソナル設定の保存と呼び出し.....	58
車両		タイヤの種類とサイズの設定.....	197	車両.....	143
キーによるロック.....	36	タイヤ空気圧モニタリング (TPM).....	196	洗車.....	188
キーによるロック解除.....	35	パーソナル ボタンへの保存.....	58	走行プログラム.....	73
緊急ロック.....	37	ボイス コントロール システムの設定.....	143	モード スイッチで選択.....	73
緊急ロック解除.....	37	マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン割り当て設定.....	143	を PCM で選択.....	73
車内からのロック.....	37	ロック オプションの設定.....	143	設定.....	73
車内からの車両のロック.....	37	空気圧偏差の呼び出し.....	196	走行時間の表示.....	108
車両ジャッキモード.....	143	警告音とパークアシストの音量設定.....	143	送風口	
車両データバンク.....	220	言語設定.....	143	設定.....	55
車両ドア		実施.....	143	足元の温度	
開く.....	37	出荷時の状態にリセット.....	143	設定.....	56
車内からのロック解除.....	35	単位の設定.....	143	遅延消灯の設定.....	85
車内からの開閉操作とロック.....	37	日付と時刻の設定.....	143	着信に応答する / 拒否する.....	164
車両のお手入れ.....	188	収納オプション.....	166	駐車	
Race-TEX.....	192	フロントアームレストの小物入れ.....	167	Porsche Doppelkupplung (PDK).....	76
アンダー コーティング.....	189	収納ボックス		駐車場	
ウィンドウ.....	190	フロントアームレスト内で開く.....	167	パークアシスト.....	90
エアバッグ.....	192	収納オプション.....	166	通知.....	142
シートベルト.....	192	充填容量.....	221	呼び出し.....	142
シール.....	191	ウォッシュャー液.....	221	絞り込み.....	142
デコラティブ フィルム.....	189	燃料.....	221	通知センター.....	142
ファブリック ライニング.....	192	渋滞アップデート (ナビゲーション).....	154	停止	
プラスチック部品.....	190	縦方向の加速度		エンジン.....	75
ヘッドライト.....	190	表示.....	105	エンジンの自動停止 (オートスタート / ストップ機能) (PDK 装備車).....	69
革製品.....	191	出荷時の状態		エンジンの自動停止 (オートスタート / ストップ機能) (マニュアルトランスミッション装備車).....	69
高圧洗浄機の使用.....	187	車両設定をリセット.....	143	停止表示板.....	169
合金製ホイール.....	191	助手席ミラー		電池の切れたキー	
車両の保管.....	192	格納 / 復帰する.....	65	車両の始動.....	28
生地.....	192	調節.....	65	電話	
洗車.....	188	消火器.....	12	Bluetooth® を介した接続.....	165
塗装.....	189	寸法.....	221	Bluetooth® を介した接続 (新しい電話).....	165
保護フィルム.....	190	接続		Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話).....	165
車両の保管.....	192	データ接続の確立.....	158	Bluetooth® を介した接続 (別の電話).....	165
車両ホットスポット.....	158	接続ステータス.....	165	SOS 通報時の番号データ通信.....	165
車両識別番号.....	220	接続ステータス.....	165	インストールメント パネルの通話情報.....	165
車両設定				お気に入りの保存 / 編集.....	165
PCM 表示の調整.....	143				
インストールメント パネル表示の調整.....	143				

デバイス マネージャー.....	145	標準空気圧	
収納.....	165	選択.....	197
接続ステータス.....	165	不凍液	
設定を行う.....	165	ウォッシュャー液の割合.....	218
通話中の各種機能.....	165	クーラント.....	182
番号をダイヤルする.....	164	平均速度および平均燃費の表示.....	108
連絡先の編集.....	165	保護フィルム	
電話の収納.....	165	お手入れの諸注意.....	190
塗装		保存	
お手入れ.....	189	パーソナル設定.....	58
お手入れの諸注意.....	189	補給.....	216
つや出し (ポリッシュ).....	189	放送局を選局 / 保存.....	148
汚れ、染みの除去.....	189	方向指示灯.....	86
傷の補修.....	189	コンフォート インジケーター.....	86
保護する.....	189	操作.....	86
登録および有効化		目的地の入力 / 検索.....	151
My Porsche への登録.....	156	輸送 (鉄道、船舶など)	
盗難防止機能.....	26	車両の固定.....	180
道路交通案内.....	154	連絡先 (電話).....	164
内気循環ボタン.....	56	A	
内気循環モード		A/C MAX ボタン	
の ON/OFF の切り替え.....	56	エアコン システム.....	54
内蔵 SIM カード		ABS (アンチロック ブレーキ システム)	
データ接続の確立.....	158	機能説明.....	95
日付と時刻		Android Auto.....	138
設定.....	143	Google アシスタント.....	139
燃費.....	222	Apple CarPlay	
燃料		Siri.....	140
オクタン価.....	215	Apple CarPlay.....	140
残量警告.....	103	iPod と Apple CarPlay の切り替え.....	141
燃料タンクの容量.....	221	AUTO BLIP (自動スロットル ブリッピング機能)	
品質.....	215	ON / OFF.....	81
補給.....	216	B	
燃料インジケーター.....	103	Bluetooth®	
燃料計.....	103	デバイス マネージャー.....	145
発進		電話の接続.....	165
ローンチ コントロール (PDK 装備車).....	79	C	
ローンチ コントロール (マニュアルトランスミッ ション搭載車).....	81	CO2 排出.....	222
発進アシスタント.....	38	Connect.....	156
		D	
		DAB	
		周波数帯の設定.....	148
		F	
		FM	
		周波数帯の設定.....	148
		G	
		G-Force ディスプレイ.....	105
		Google アシスタント.....	139
		I	
		ISOFIX システム.....	46
		ISOFIX システム タイプのチャイルド シート取り付 け.....	50
		トップテザー.....	50
		L	
		LED ヘッドライト装備ポルシェ ダイナミック ライト シ ステム (PDLS).....	85
		LED マトリックスヘッドライト搭載のポルシェ ダイナ ミック ライト システム プラス (PDLS Plus).....	85
		M	
		My Porsche	
		Porsche ID を使って登録.....	156
		サービスの設定.....	157
		P	
		PASM (ポルシェ アクティブ サスペンション マネージ メント).....	92
		シャーシ設定の選択.....	92
		PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター.....	40

PCM

Android Auto	138
Apple CarPlay	140
MyScreen	147
MyScreen の設定	147
PCM の WiFi ホットスポットを利用	158
お手入れの諸注意	192
キーボード	117
スタートメニュー	147
スタート画面の設定	147
スマート サービス	160
ダッシュボードのタッチスクリーン	116
テキストと文字の入力	117
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	108
ホーム画面の設定	147
メニューを開く	117
外部 WiFi ホットスポットの利用	158
時刻の表示または温度の設定	117
通知	142
表示の調整	143
PCM での制限速度の設定	108
PCM での速度警告の設定	108
PCM でマニュアルを開く	118
PCM の操作	
ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使用	117
PCM ホットスポット	158
Porsche Doppelkupplung (PDK)	76
ステアリング ホイールでのギヤ シフト	78
セレクター レバー位置	76
PSM (ボルシェ スタビリティ マネージメント)	93
機能説明	93
R	
Race-Tex	
お手入れの諸注意	192
S	
SIM カード	
電話の使用	164

T

TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	194
TRACK モード	73

U

USB を介した外部機器の接続	146
USB 接続	146

W

WiFi

PCM の WiFi ホットスポットを利用	158
デバイス マネージャー	145
外部 WiFi ホットスポットの利用	158

ア

アームレストの接続	146
アームレスト内のインターフェース	
USB	146
あいすさんしーるどのそうちゃく	99
アカウント	58
アッパー ベンチレーション パネル	55
アップデート	
インストール	155
ダウンロード	155
失敗	156
アプリ	159
WiFi 経由で PCM に接続	159
ボルシェトラック プレジジョン アプリ	159
アルミニウム リム	
お手入れの諸注意	191
アンダー コーティング	
お手入れの諸注意	189
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	
機能説明	95
アンビエント ライト	42
調節	42

イ

イグニッション ロック	
機能説明	75
イモビライザー	26
インジケーター ライト	109
インストールメント パネル	103
オドメーター	105
オプションの選択と機能の作動	104
クロノ ストップウォッチ	161
サービス インターバルの表示	108
タイヤ空気圧モニタリング システム	194
タコメーター	103
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	108
トリップメーター	105
パーソナル設定の保存と呼び出し	58
パワー & ドライブ画面	103
メニュー概要	105
ライト調節	42
概要	102
警告灯およびインジケーター ライト	109
車両 & 情報画面	103
車両情報の表示	108
水温計	103
操作	103
速度 & アシスト画面	102
燃料計	103
表示の調整	143
インターネット	
データ接続の確立	158
インテリア ライト	
アンビエント ライト	42
調節	42
ウ	
ウィンタータイヤ	
一般情報	208
ウィンドウ	
お手入れの諸注意	190
キーによる開閉 (リモート コントロール)	30
フロント ウィンドウ デフロスター	57

リヤウィンドウヒーターの ON/OFF を切り替える	57	エンジン		オンボード コンピューター	
閉鎖操作	30	オイルの補充	186	タイヤ空気圧モニタリングシステム	194
停止位置の保存	30	始動	75	ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	108
ウォッシュャー液		自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (PDK 装備車)	69	メニュー概要	105
充填容量	221	自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (マニュアルトランスミッション 装備車)	69	オンライン サービス	
不凍液	218	駐車	75	データ接続の確立	158
エ		冷却システム	103	オンライン ソフトウェア アップデート	
エアサスペンション (PASM)	92	エンジン オイル	184	インストール	155
エアコン システム		フィルター キャップ	186	ダウンロード	155
A/C MAX モードの ON/OFF の切り替え	54	一般的な情報	185	失敗	156
ON/OFF の切り替え	54	消費量	184	オンライン ナビゲーション	151
エアコンの種類の設定	56	追加	186	お気に入りの保存 / 編集	
オート エアコン コントロールを ON にする	54	エンジン コンパートメント リッド (サービス フラップ)		メディア	149
パーソナル設定の保存と呼び出し	58	エンジン データ	221	電話	165
フロント ウィンドウ デフロスター	57	オ		お手入れの諸注意	187
自動内気循環モードの設定	56	オイル	184	PCM	192
上部ベンチレーション パネル	55	フィルター キャップ	186	Race-Text	192
送風口の設定	55	一般的な情報	185	アンダー コーティング	189
足元の温度設定	56	消費量	184	ウィンドウ	190
内気循環モードの ON/OFF の切り替え	56	追加	186	エアバッグ	192
風量調節	56	オート スタート / ストップ機能		カーペット	191
エアコンのタイプ		エンジンの自動始動 (PDK 装備車)	69	シートベルト	192
の設定	56	エンジンの自動始動 (マニュアルトランスミッション 装備車)	69	シール	191
エアバッグ		エンジンの自動停止 (PDK 装備車)	69	タッチスクリーン	192
お手入れの諸注意	192	エンジンの自動停止 (マニュアルトランスミッション 装備車)	69	ディスプレイ	192
警告灯	41	前提条件	68	デコラティブ フィルム	189
助手席エアバッグの ON/OFF	49	例外	69, 70	ファブリック ライニング	192
エマージェンシー キー	28	オートマチック カミング ホーム ライト	85	フロア マット	191
エミッション コントロール (チェック エンジン)	109	オートマチック トランスミッション	76	画面	192
エミッション コントロール 警告灯	109	オクタン価、燃料	215	革製品	191
エレクトリック パーキング ブレーキ		オドメーターの表示とリセット	105	合金製ホイール	191
ブレーキ テスト スタンドでの点検	193			車両の保管	192
解除	72			生地	192
緊急ブレーキ機能	72			洗車	188
警告灯	72			塗装	189
作動	72			保護フィルム	190
発進時のパーキング ブレーキ自動解除	72			カ	
				カーペット	191
				お手入れの諸注意	191

ガソリン					
オクタン価	215				
残量警告	103				
燃料計	103				
品質	215				
キ					
キー	27				
エマージェンシーキーを取り出す	28				
パーソナル設定の保存と呼び出し	58				
バッテリーの交換	28				
車両のロック	36				
車両のロック解除	35				
キー (リモートコントロール)					
ウィンドウの開閉	30				
キーボード	117				
ギヤチェンジ					
マニュアルトランスミッション	80				
ク					
クーラント	182				
クーラントレベルの点検	183				
クーラントの補充	183				
クラッチ					
マニュアルトランスミッション	80				
クルーズコントロール	99				
ONにする / OFFにする	100				
クルーズコントロール	99				
コントロールのキャンセル	101				
コントロールの再開	101				
ディスプレイ	100				
一般的な安全に関する指示	99				
各操作部	100				
警告メッセージ	99				
作動	100				
作動原理	99				
目標速度の変更	100				
クロノストップウォッチ	161				
クロノモードスイッチ	73				
けん引					
けん引フックを緩めます	180				
けん引ロープまたはけん引バーの使用	179				
一般的な情報	178				
けん引フックを緩めます					
工具セット内	170				
コ					
コーナリングライト					
ダイナミックコーナリングライト	85				
コマンドの例	122				
サ					
サービスインターバルをインストールメントクラスターに表示する	108				
サービスポジション	99				
サマータイヤ					
収納スペース	209				
サンバイザー	64				
シ					
シート					
シート位置の調節	61				
バックレストを前方または後方へ倒す	63				
フロントシートの調節	61				
ベビーキャリア	48				
シートヒーターをON/OFFにする	63				
シートベルト					
インストールメントクラスターの警告灯	60				
お手入れの諸注意	192				
シートベルトプリテンショナー	59				
ベルトバックルを解除してシートベルトを外す	60				
警告メッセージ	60				
着用	60				
注意	59				
シートベルトプリテンショナー	59				
シート位置の調節	61				
シールド / シールセット					
パンクしたタイヤ用	210				
シール					
お手入れの諸注意	191				
シフト					
Porsche Doppelkupplung (PDK)	76				
シャーシ設定	226				
選択	92				
ジャッキ					
車両のジャッキアップ	217				
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	176				
外部電源 (リチウム バッテリー)	176				
しり	140				
ス					
スタートメニュー	147				
ステアリングコラムロック	27				
ステアリングホイール					
◇ボタンの設定	143				
調節	57				
ステアリングホイールのロック解除およびロック	27				
ストップウォッチ	161				
スノーチェーン					
一般情報	209				
スボイラー	82				
作動原理	82				
スポーツエキゾーストシステム	74				
スポーツモード	73				
スマートサービス	160				
スマートフォン					
Bluetooth® を介した接続	165				
収納	165				
スモーカーズパッケージ	172				
スロットルブリッピング機能					
ON/OFF	81				
セ					
セーフロック	36				
キーで無効にする	36				
セレクターレバーポジションインジケーター	77				

センターアームレスト フロント小物入れ.....	167
センター コンソール フロント小物入れ.....	166
センター ボルトの緊急締め付けの実施.....	207
セントラル ロッキング システム	
キーによる車両のロック.....	36
キーによる車両のロック解除.....	35
パーソナル設定の保存と呼び出し.....	58
車内からの開閉操作とロック.....	37
設定.....	37
ソ	
ソース [メディア] の選択.....	148
タ	
ダイナミック コーナリング ライト.....	85
タイヤ.....	194
ウインター タイヤ [一般情報].....	208
シーラント.....	210
スノーチェーン [一般情報].....	209
タイヤバルブ.....	199
タイヤモビリティシステム - TMS.....	210
タイヤの種類とサイズの設定.....	197
タイヤ空気圧の点検.....	194
タイヤ空気圧プレート.....	220
タイヤ交換 [一般情報].....	199
タイヤ表記.....	198
トレッドの深さ.....	199
パフォーマンス空気圧または標準空気圧の選択.....	197
パンク修理.....	210
空気圧偏差の呼び出し.....	196
収納スペース.....	209
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング (TPM) に登録.....	197
タイヤ シーラント 取り外しと収納.....	170
タイヤ シーラント / シール セット パンクしたタイヤ用.....	210

タイヤバルブ タイヤ.....	199
タイヤ モビリティ システム - TMS.....	210
タイヤ空気圧 インストールメント パネルで確認.....	194
システムの学習.....	197
を点検.....	194
タイヤ空気圧プレート.....	220
タイヤ空気圧モニタリング (TPM).....	194
呼び出し.....	196
設定.....	196
登録.....	197
タイヤ空気圧警告灯.....	109
タイヤ空気圧表.....	224
タイヤ充填コンプレッサー 取り外し.....	170
収納.....	171
タコメーター.....	103
ダッシュボードのタッチスクリーン.....	116
タッチスクリーン お手入れの諸注意.....	192
表示の調整.....	143

チ

チェック エンジン [エミッション コントロール].....	109
チャイルド シート	
ISOFIX システム タイプの取り付け.....	50
トップテザー.....	50
取り付け.....	48
助手席エアバッグの ON/OFF.....	49
正しい使用.....	43
正しい取り付け位置の使用.....	46
適切な体重およびサイズ グループの使用.....	44

ツ

ツアーを計画する [ナビゲーション].....	153
ツール.....	170

テ

ディスプレイ お手入れの諸注意.....	192
データ接続	
デバイス マネージャー.....	145
外部 WiFi ホットスポット.....	158
確立 [内蔵 SIM カード].....	158
車両ホットスポットの利用.....	158
テキスト メッセージの表示および編集.....	150
テクニカル データ	
CO2 排出.....	222
シャージ設定.....	226
タイヤ空気圧表.....	224
ホイールおよびタイヤのサイズ.....	224
充填容量.....	221
燃費.....	222
デコラティブ フィルム お手入れの諸注意.....	189
デジタル スピードメーター.....	103
デジタル取扱説明書	
アプリ.....	2
オンボード.....	2
テスト スタンド ブレーキテスト.....	193
デバイス マネージャー.....	145
ト	
ドア	
キーによるロック.....	36
開く.....	37
緊急ロック.....	37
緊急ロック解除.....	37
車内からの開閉操作とロック.....	37
ドア ミラー	
格納 / 復帰する.....	65
調節.....	65
ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える.....	57
ドアの緊急ロック.....	37
ドアの緊急ロック解除.....	37

トップテザー		ハザードライト	87	ヒューズ	
ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	50	ハザードライトのON/OFF	87	ヒューズボックス	212
トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	50	バックレストを前方または後方へ倒す	63	ヒューズの割り当て	212
ドライビングデータの表示(トリップ情報)	108	バッテリー		ヒューズの交換	212
トラベルモード		お手入れ(リチウムバッテリー)	175	フ	
ライト	88	ジャンパーケーブルによるエンジンの始動(リチウムバッテリー)	176	ファブリックライニング	
トランスミッション		バッテリーに関する警告(リチウムバッテリー)	174	お手入れの諸注意	192
Porsche Doppelkupplung (PDK)	76	リチウムバッテリー	174	ファンクション オン デマンド (FoD)	
スロットルブリッピング機能	81	軽量バッテリー	174	アクティベーションの失敗	145
マニュアルトランスミッション	80	交換(リチウムバッテリー)	178	ダウンロードおよび作動	144
トリップメーターのリセット(Trackビュー)	108	車両エレクトリカルシステムの警告(リチウムバッテリー)	176	購入	144
トリップメーターのリセット(クラシックビュー)	106	取り付け位置(リチウムバッテリー)	174	停止	144
トリップメーターの表示とリセット	105	取扱説明書(リチウムバッテリー)	174	フィルターフラップ	
トレイ(電話)	165	充電(リチウムバッテリー)	176	位置の表示	103
トレッドの深さ		接続後の作業(リチウムバッテリー)	176	緊急操作	217
タイヤ	199	バッテリーの交換		フットブレーキ	
ナ		キー	28	安全に関する指示	71
ナビゲーション	151	パニティーミラー	64	プラグソケット(12V)	173
インストルメントパネルのマップビューおよびナビゲーション情報	154	パフォーマンス空気圧		フルードおよび燃料	221
ツアーを計画する	153	選択	197	ウォッシュ液	221
トリップ概要	154	パワーウィンドウ		燃料	221
經由地を入力する	153	ウィンドウの開閉	30	プレイリストを開く	148
交通渋滞の迂回	154	車両キーによるウィンドウの開閉(リモートコントロール)	30	ブレーキ	
設定	155	停止位置の保存	30	テストスタンド	193
地図コンテンツの設定	153	パワーウィンドウ停止位置の保存	30	フットブレーキ	71
地図画面の表示/設定	154	ハンドブレーキ(エレクトリックパーキングブレーキ)		ブレーキパッドとブレーキディスク	71
道路交通案内を表示	154	作動	72	ブレーキパッド警告灯メッセージ	72
目的地の入力/検索	151	自動解除	72	一般的な安全に関する指示	71
		手動解除	72	慣らしと清掃	71
		ヒ		緊急ブレーキ機能	72
		ビデオ		ブレーキフルード	
		対応するデータ形式	228	ブレーキフルードレベルの点検	181
				ブレーキフルードの交換	182
				フロアマット	
				お手入れの諸注意	191
				フロントウィンドウ	
				デフロスター	57

フロントウィンドウウォッシャーシステム		タイヤ表記	198	ボルシエトラックプレジジョンアプリ	159
充填容量	221	パンク修理	210	ボンネット(サービスフラップ)	33
不凍液	218	交換(セントラルホイールロック付き)	200		
フロントウィンドウワイパー	96	収納スペース	209	マ	
お手入れの諸注意	190	ホイールおよびタイヤのサイズ	224	マップ(ナビゲーション)	
フロントウィンドウのワイパー作動とウォッシャーシステム	97	ホイールのお手入れ	191	を呼び出す	151
レインセンサーをONにする	97	ボイスコマンドの発話	121	設定	153
ワイパーブレード	98	ボイスコントロール	119	マニユアルトランスミッション	
ワイパーブレードの交換	99	Googleアシスタント	139	シフトアップインジケーター	80
ワンタッチ機能	97	オンラインモード	119	スロットルブリッピング機能	81
フロントシート		コマンドの例	122	マルチファンクションステアリングホイール	
バックレストを前方または後方へ倒す	63	ボイスコマンドの発話	121	◇ボタンの設定	143
調節	61	ボイスコントロールの使用	120	ボタン	103
		自然な音声コマンドを発話	121	マルチファンクションステアリングホイールのファンクションボタン	103
ハ		設定	122, 143	マルチファンクションステアリングホイールのボタン	103
ヘッドライト	88	ボイスコントロールによるリストの使用	121	マルチファンクションステアリングホイールのボタン	103
お手入れの諸注意	190	ボイスコントロールのヘルプ	122	マルチファンクションステアリングホイールのボタン	103
トラベルモード	88	ボイスコントロールの使用	120	マルチファンクションステアリングホイールのボタン	103
バルブの交換	88	ボイスコントロール設定	122	割り当て設定	143
調節	88	ボイスメールを聞く	164	マルチモデルマップ	122
ヘッドライト校正、オートマチック	85	ホットスポット			
ベビーキャリア	48	PCMのWiFiホットスポットを利用	158	ミ	
ベビーシート	48	外部WiFiホットスポットの利用	158	ミラー	
助手席エアバッグのON/OFF	49	ボルシエアクティブサスペンションマネージメント(PASM)	92	ドアミラーヒーター	57
ベルト		機能説明	92	ドアミラーの格納/復帰	65
お手入れの諸注意	192	ボルシエコネク	156	ドアミラーの調節	65
シートベルトプリテンショナー	59	サービス概要を表示	158	パニティーミラー	64
注意	59	セキュリティコード	157	ルームミラーの自動防眩機能のON/OFF	66
ホ		データ接続の確立	158		
ホイール	194	ユーザー(Porsche ID)のログイン	156	メ	
ウインタータイヤ(一般情報)	208	ユーザー(Porsche ID)の管理	158	メッセージ	150
スノーチェーン(一般情報)	209	リモートアクセス権限の付与	158	メッセージ(SMS)の表示/編集	150
センターボルトの緊急締め付けの実施	207	管理と設定	158	メディア	148
タイヤシャーラント	210	車両でのユーザー(Porsche ID)のログイン	157	USBを介した外部機器の接続	146
タイヤバルブ	199	ボルシエコミュニケーションマネジメントシステム(PCM)		アームレスト内のインターフェース	146
タイヤモビリティシステム-TMS	210	ダッシュボードのタッチスクリーン	116	お気に入りの保存/編集	149
タイヤ空気圧プレート	220	車両でマニュアルを開く	118	ソースを選択	148
タイヤ交換(一般情報)	199	ボルシエスタビリティマネージメント(PSM)	93	検索	148
				再生	148
				設定の変更	150

対応するメディアおよびデータ形式	228
放送局を選局 / 保存	148
メディアを再生する	149
メンテナンス	
エンジン オイルの補充	186
モ	
モードスイッチ	73
モバイルデータ (接続)	158
ラ	
ライト	
LED ヘッドライト搭載の PDLs	85
LED マトリックスヘッドライト搭載の PDLs Plus	85
OFF にする	84
アンビエントライト	42
インテリアライト	42
インテリアライトの遅延消灯の設定	42
エクステリアライト	83
エントリー機能 / イグジット機能	85
オートマチック カミングホーム ライト	85
オートマチック ヘッドライト較正	85
お手入れの諸注意	190
コーナリングライト	85
ダイナミック コーナリング ライト	85
ダイナミック ハイ ビーム ヘッドライト	85
ダイナミック ハイ ビーム ヘッドライトの ON/OFF	86
トラベルモード	88
パーキングライトの ON/OFF	86
ハイ ビーム ヘッドライトの ON/OFF	86
ハザードライト	87
パッシングライト	85
バルブの交換	88
フォグライト機能	85
ヘッドライトパッシング	86
リヤフォグライト	83
ロービーム	83
悪天候時走行用ライト	85
一般的な安全に関する指示	84

雨天時の機能	85
概要	83
警告メッセージ	84
検知ライト	85
交通標識の防眩機能	85
高速道路ライト	85
高速道路機能	85
自動ライトコントロール	83
車幅灯	83
状況に応じたライトコントロール	85
状況に応じた配光	85
遅延消灯の設定	85
方向指示灯	86
ライトバルブ	88
ラゲッジコンパートメント	169
開く	31
緊急ロック解除	32
閉じる	32
ラゲッジコンパートメントリッド	
開く	31
緊急ロック解除	32
閉じる	32
ラジオ	148
オンラインラジオ	148
お気に入りの保存 / 編集	149
周波数帯の設定	148
放送局を選局 / 保存	148

リ

リモートコントロール	27
リモコン	
車両のロック	36
車両の解除	35
リヤウィンドウ	
ヒーターの ON/OFF	57
リヤフォグライト	83
配光調整	85

ル

ルームミラー	
減光	66
自動防眩機能の ON/OFF	66
調節	66
ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF	66

ロ

ロービーム	83
ロータリー プッシュ ボタンとボタンの操作	117
ローンチコントロール (PDK 装備車)	79
ローンチコントロール (マニュアルトランスミッション搭載車)	81
ロック	
キーによる車両のロック	35, 36
セーフロック	36
車内からの車両のロック	37
車両の緊急ロック	37
ロック オプション	
の設定	143
ロック解除	
キーによる車両のロック解除	35
ラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除してリッドを開く	31
車内からのロック解除	35
車両の緊急ロック解除	37

ワ

ワイパー ブレード	
お手入れの諸注意	190
交換	98
ワイヤレスインターネット アクセス	158